

九番 神田 孝平

十一番 楠本 正隆

十二番 榎村 正直

十四番 田邊 太一

十七番 福原 實

十九番 河田 景與

二十番 林 友幸

二十五番 西村 貞陽

二十七番 渡邊 清

二十八番 箕作 麟祥

三十番 柴原 和

顯元 五

出淵 五

○第四百三十號 西村 貞陽
○第四百二十九號 渡邊 清
○第四百二十八號 箕作 麟祥
○第四百三十號 柴原 和

三十一番 上杉 茂憲

三十三番 關口 隆吉

三十五番 鍋島 直彬

三十七番 津田 眞道

四十番 三浦 安

四十一番 西 周

四十二番 長岡 護美

四十五番 神山 郡廉

內閣委員 番外 參事院議官 安場 保和

同 番外 參事院議官 補牧 朴眞

同 番外 參事院員外議官 補白根 專一

○第三十一番 內閣委員 番外 參事院議官 安場 保和
○第二十二番 同 番外 參事院議官 補牧 朴眞
○第一十三番 同 番外 參事院員外議官 補白根 專一

午前第十時二十分開場

○議長 第四百二十八號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク

○三十一番 上杉茂憲 本官モ三案ヲ併セテ廢棄センコトヲ望ム抑モ第四

百二十八號議案ハ戸長ヲ官選ニシ及ヒ増給スル明文ヲ掲ケサルモ其旨趣ハ此ニ外ナラス然ルニ其給料ノ如キ國庫ヨリ支辨セハ則チ可ナルモ奈何セン今日之ヲ爲ス能ハス然ラハ則チ此改正ハ寧口之ヲ行ハサルニ如カス他ノ二案ニ至テモ亦之ヲ非認セサルコトヲ得ス内閣委員ハ町村會ヲ今日ノ見狀ニ放任ス可ラスト言フモ本案ハ甚タ嚴肅ニ失シ自然ニ乖背セントス又然ク費目課目ヲ明掲スルハ其實今日ト異ナル無キモ之ヲ法律ニ明記セハ自然ニ多額ヲ徵收スルノ懼レ有リ要スルニ此三案ハ一時ノ弊害ヲ防クニ成レル

モ本官ヲ以テ之ヲ觀レハ却テ將來ニ數多ノ弊害ヲ滋生ス可キヲ知ルナリ

○十二番 榎村正直 現問題ハ姑ラク本案ノ發布ヲ緩ウセント云フニ在リ

而シテ其所說ノ要點ハ曰ク別ニ法律ヲ作りテ戸長ノ事務ヲ分任ス可シト而シテ第二案ニハ曰ク町村團樂會ノ慣習ヲ破リ以テ協議ノ美風ヲ失フ第三案ニハ曰ク費用ヲ増加スル憂ヒ有リト其姑ラク發布ヲ緩ウス可シトハ抑モ幾許ノ時日ヲ俟ツ可シト云フニ在ル乎得テ解ス可ラス戸長ノ事務ヲ分任スル如キモ今日ノ見狀ニ於テ行ハル可キニ非ス夫レ今日ハ二十戸乃至三十戸ノ小村ニモ一戸長ヲ置クカ故ニ之ニ厚給ヲ與フル能ハス隨テ人物ヲ得ル能ハス三四村乃至七八村ヲ併合シテ一戸長ヲ置ケハ或ハ適任ノ人物ヲ得テ厚給ヲ

與フルヲ得ントス聞ク或ル地方ハ見ニ數町村ヲ聯合セル爲メニ適任ノ戸長ヲ舉ルヲ得タリト又第二案ハ以テ町村團樂會ノ慣習ヲ破ルト云フモ向キニ區町村會法ヲ創定セシ時ニ於テ業已ニ之ヲ破レリ但シ一町村ニ要用ナル橋梁堤防ノ如キ各町村ヲ限リ其費用ヲ負擔ス可キ者ハ町村會ニ在テ其賦課額ヲ議スルモ其議決セル所ヨリモ一層堅牢ナル橋梁ヲ架シ堅固ナル堤防ヲ築ントスル場合ニ在テハ團樂會ヲ開キテ以テ各自ノ出金額ヲ定ム故ニ此第二案ヲ發スルモ是等ハ今日ト異ナル無シ又第三案ハ以テ費用ヲ増加スル憂ヒ有リト云フモ本官ハ其何ノ故ナルヲ知ラス思フニ是レ「町村費ヲ以テ支辨スヘキ云云」ト言ヘルニ出タル可キモ教育費ナリ衛生費ナリ其他今日ト雖モ皆地方稅ヲ以テ支辨スルニ非ス或ル議官ハ數町村ヲ

聯合シテ一戸長ヲ置クトキハ見ニ一町村内ノ商議ニ決スルヲ得ル者モ爲メニ數町村ニ商議セサルヲ得スト云フモ是レ併合ト連合トヲ混視セルニ由ルナラン併合ナレハ各般ノ事項都テ之ヲ同一ニシ連合ナレハ一戸長ノ下ニ居ルモ各町村別ニ商議スルヲ得ルナリ故ニ此點ニ在テモ亦絶テ支障ヲ見ス要スルニ本案ノ發布ヲ緩ツス可シトスル諸說ハ一モ其理由ヲ證明スルニ足ラス本官ハ却テ速ニ之ヲ發布セント欲スルナリ請フ其理由ヲ陳セン夫レ今日ハ府縣會アリ町村會アリ以テ一府縣一町村ノ經濟ヲ議ス而シテ町村ハ府縣ニ比スレハ素ヨリ小ナリト雖モ一國政治ノ由テ起ル所ナレハ決シテ忽諸ニ付ス可ラス現行ノ區町村會法ハ漫然ニ從前ノ慣習ヲ破ルヲ無ク年月ヲ逐ヒ改正ヲ加フル意ヲ以テ之ヲ作レリ當時ノ目的タル

既ニ此ノ如シ且ヤ本案ノ成レルハ數年ノ經驗ニ由ル蓋シ人民ノ智識進歩スルニ隨ヒ其奸智モ亦與ニ進歩スルヲ以テ區町村會法ノ茫漠タルヲ奇貨トシ放恣ノ論說ヲ唱フル者アリ本官昨年數縣ヲ巡視セルニ戸長ハ多ク其任ニ適セス町村會ハ一議事ノ爲メニ空ク數十日ヲ費ス有リ見ニ或ル地方ハ七圓五拾錢ノ金額ヲ議スル爲メニ三十拾五圓ヲ費ヤセリト云フ豈其會法ヲ改正セスシテ可ナランヤ又戸長以下給料及戸長職務取扱諸費ハ其幾分ハ地方稅ヨリ其幾分ハ町村費ヨリ支辨ス可キヤ之ヲ區別スル極メテ難シ加之是等ノ金額ヲ以テ購買セシ物品ヲ賣却スルニ當リ其價直金ハ之ヲ何レニ復セン乎是亦得テ區別ス可ラス曩者町村會議員ハ是等ニ異議ヲ容レザリシモ近時ニ至テハ然ラス然ルヲ今日仍ホ團樂會ヲ是トシ協議費ヲ

可トスルハ抑モ時勢ニ合セサル迂說ト謂フ可シ願クハ各位細カニ地方ノ實況ヲ察シ以テ本案ヲ賛成センコトヲ但シ本官ト雖モ此各法案ニ對シテ異見ナキニ非サレトモ是等ハ修正ヲ加ヘテ足ル其大體ハ三案共ニ之ヲ是認ス因テ現問題ニハ左袒セサルナリ

○二十八番

纂作
麟祥

三十五番ノ三案共ニ姑ラク發布ノ時機ヲ俟ツ可シ

トスル動議ハ究竟廢案說ニ外ナラス本官モ第一讀會以來同感ヲ懷ケルヲ以テ既ニ之ヲ賛成セリ抑モ本官等ノ此說ヲ爲スニハ二理由ノ在ル有リ一ハ町村會法ヲ嚴肅ニシ府縣會ニ類スル者ト爲シ且新ニ費目ヲ設ケテ協議費ノ名稱ヲ破ルヲ非認シ一ハ此法案ニハ明記セサレトモ町村ノ聯合ヲ廣大ニシ官選戸長ヲ置キテ之ニ厚給ヲ與フルヲ非認スル是ナリ原來併合ト聯合トノ相同シカラサルハ言フ

ヲ俟サレトモ町村ニハ各自ニ一種固有ノ慣習風俗ヲ存スル者ニシテ法律ヲ以テ聯合ヲ命スルハ得策ニ非ス修正案ハ原案ノ町村會議員選舉權被選舉權ノ資格ニ係ル制限ヲ削去セリ是レ原案ニ比スレハ圓滑ナルニ似タレトモ到底大同小異ノミ仍ホ嚴肅ニ失スルヲ免レス是レ調査委員ノ一人スラ之ニ不同意ヲ唱へ而シテ三十五番ノ動議モ出タル所以ナリ蓋シ現問題ノ利害ハ既ニ論シ盡クセルヲ以テ各官ノ取舍ニ任ス可キモ內閣委員及ヒ十二番ノ辨スル所ニシテ本官等反對論者ト雖モ亦同意スル者無キニ非ス嚮日竊ニ三案ノ說明書ヲ觀ルニ「從來協議費中土木費ノ怠納者ハ明治十年第七十九號布告ニ據リ處分スルノ公規ナルモ云云土木費ト謂ヒ又其他ノ費用ト謂フモ共ニ是レ其區町村ノ經費ニ外ナラサレハ其怠納者ヲ處分

スルノ法モ亦均ク同一ナラサルヲ得ス」ト言ヘル有リ是レ內閣委員ノ頻頻ニ說ク所ニシテ第二案第九條但書ノ明文ハ之カ爲メニ設ケタルナル可シ又現行區町村會法第二條ヲ舉ケ會則ハ町村ノ自ラ之ヲ草スルニ任セ府知事縣令ハ裁定ヲ與フルニ止マル是ヲ以テ其會則ノ實施以後ニ意外ノ障礙ヲ來ス有ルモ町村自ラ起案スルニ非サルヨリハ之ヲ改正スル能ハス又其第三條ノ完備ナラサル爲メニ七圓五拾錢ノ費用ヲ議スルニ三拾五圓ヲ糜消セル如キ及ヒ說明書中ニ戸長以下給料ト戸長職務取扱費トヲ分別セル所以ヲ示セル如キノ各件ハ本官輩モ亦之ヲ非視セス故ニ獨リ土木費ノミナラス其他ノ費目モ十年第七十九號布告ニ據ル者ト爲スハ別ニ單行布告ヲ以テ之ヲ定メ其他區町村會法ノ第二條第三條ヲ改正シ戸長職務取扱

費ヲ分別スルニ止ムレハ則チ可ナルモ本案ノ町村會ヲ府縣會ト同
 ウシ協議費ヲ地方税ノ如クスルハ甚タ不可ナリ是ヲ以テ再付託委
 員ヲ設クルモ可ナレトモ斯ノ如ク修正セハ幾ント廢案ニ均キヲ以
 テ寧ロ議長ヲ經テ本官等ノ本案ヲ非視スル理由ヲ太政大臣ニ通牒
 スルヲ優レリトス

○九番 神田 孝平

本官モ廢案說ニ左袒ス請フ簡單ニ其理由ヲ陳セン抑モ
 本官ハ始メテ本案ヲ觀テ忽チ惡感觸ヲ生セリ其原由ハ多般ナルモ
 費用ヲ増加ス可シトスル一點殊ニ大ナリトス然レトモ此點ハ各位
 ノ論辨ニ詳盡セシヲ以テ復タ贅セス尙ホ本官ハ或ハ邪猜ナルヲ知
 ラサレトモ本案ハ收斂法ニ非サル乎ト疑フナリ既ニ地租三分一ナ
 ル地方税ノ制限ヲ廢シ土木費ノ國庫ヨリ支辨セシ者ヲ地方税ニ負

擔セシメタレハ地方税ハ又之ヲ町村費ニ負擔セシム加之教育衛生
 警察ノ諸費モ政府ハ之ヲ府縣ニ歸シ地方ハ之ヲ町村ニ歸シ而シテ
 其息納者ハ直チニ公賣處分ニ付スル如キ即チ本官ノ心ヲ安セサル
 所以ナリ今日國用ノ多端ナルハ已ムヲ得サレトモ或ハ不急ノ經營
 ナキニ非ス歐米各大國ト比肩セントシ若クハ數倍ノ大國ナル支那
 ト抗衡セントスル如キ恐クハ我カ民力ノ耐ル所ニ非サラン到底地
 租三分一以内ノ制限ヲ解タル以上ハ或ハ有限ノ民財ヲ徵シテ無限
 ノ事業ヲ起スニ非サル乎トノ嫌疑ヲ免レス因テ本案ニハ同意ヲ表
 スル能ハス

○番二番 牧朴 眞

昨日來本案ニ對スル駁議ヲ聽クニ曰ク區町村會法ハ
 宜ク舊ニ仍ルヘク寧ロ昔日ノ團樂會ニ復スルモ可ナリ曰ク區町村

費規則ハ嚴肅ニ失ス協議費ノ方法ヲ可トス曰ク戸長ノ事務ヲ他ニ分任セシメハ足ル敢テ此改正ヲ要セスト其他區町村費規則ヲ立テ費目課目ヲ載スルハ不可ナリト云フモ此一點ハ大體ニ關セス要スルニ廢案論ハ嚴法ヲ設クルヲ須ヒス區町村ノ經費ハ今日ノ現行ニ沿フ可ク戸長ノ職務ハ分任セシム可シトノ三點ニ歸ス本員聊カ此三點ニ對シ辨明スル所有ラントス抑モ町村會ハ明治十一年以來各府縣ニ之ヲ開ケリ然ルニ其規則ハ各府縣ノ適意ニ出テ往往ニ支障アルヲ以テ十三年ニ區町村會法ヲ發布セシモ其第二條ニ「區町村會ノ規則ハ其區町村ノ便宜ニ從ヒ」ト言ヘル明文ヲ掲ケタルニ因リ仍ホ障碍アルヲ免レス反對論者ハ會則ハ宜ク町村ノ便宜之ヲ定ムルニ委スヘシト云フモ其便宜ハ實際二三議員ノ便宜ニシテ一町村ノ

便宜ニ非ス且其團樂會ノ體裁ニ復セント云フ如キハ劇變ナリ本案ハ劇變ニ非ス寧口現行法ノ破綻ヲ彌縫スル者ト謂フ可シ苟モ會議アル以上ハ之カ檢束法ナカル可ラス既ニ之レ有リ而シテ其完備ナラサルヲ補整スルハ何ノ妨ケカ之レ有シ今日區町村費規則ノ設ケ無キモ苟モ區町村會ヲ開設セル地方ニ在テハ課目費目ヲ定メサル莫シ且ヤ協議費タレハ怠納者アルモ置テ問ハサル乎ト云ハハ決シテ然ラス畢竟區町村ニ必要スル費用ナレハ必ス之ヲ徵收スルナリ或ル論者ハ本案ハ以テ町村協議ノ慣行ヲ破ルト云フモ今日自ラ進ミテ出金スル者ハ概シテ議事ニ關スルニ非ス又協議費ノ名稱ニ因ルニ非ス又土木費ノ怠納者ノミ公賣處分ニ付スルノ非ナルハ反對論者ナル二十八番スラ既ニ之ヲ許セリ今夫レ怠納者ヲ被告ト爲シ

テ裁判所ニ訟フルハ煩勞ニ耐ヘス然レトモ未納ノ金額ハ徵收セサル可ラス是ヲ以テ他ノ費目ノ怠納者モ土木費ノ怠納者ト同シク公賣處分ニ付スル者ト爲ササルヲ得ス又戸長ノ職務ヲ分任セシム可シトハ一理ナキニ非サレトモ此ノ如キハ地方ノ組織ニ變動ヲ來スノミナラス彼ノ學務委員衛生委員ヲ置クスヲ町村ニ幾許ノ費用ヲ負擔セシムルナレハ今日ニ在テ之ヲ爲スハ町村ニ一層ノ負擔ヲ増サシメントス又論者ハ戸長ヲ官選ト爲シ及ヒ町村ヲ聯合スルハ不可ナリト云フモ今日ト雖モ皆必ス公選ニ出ルニ非ス内務卿ノ内訓ニ因テ前ニハ之ヲ公選ニ舉ケタルモ一昨年以來ハ官選ニ出ル者漸ク多キヲ加ヘリ且一町村ニ一戸長ヲ舉ントセハ多クハ適任者ヲ得ス嘗テ内務卿ハ各府縣ノ長官ヲ招集シテ其意見ヲ諮問セシニ町村

聯合ト戸長官選ヲ可トスルハ皆一轍ニ出テ巡察使ノ復命モ亦之ニ同シ究竟此三案タル共ニ實際ニ已ム可ラサル者タルヲ以テ各位ノ之ヲ領會センコトヲ望ム

○二十七番 渡邊清 取決ニ先タチ一言セン問題賛成者ハ或ハ本官等ト第四百二十八號議案ノ解釋ヲ異ニセルニ似タリ抑モ今日ノ戸長ハ町村ノ事務ト行政ノ事務トヲ兼任シ而シテ地方税ト協議費トヲ以テ此費用ニ充ルモ其區別ヲ立ルハ頗ル難シ是ヲ以テ戸長及ヒ書記ノ給料旅費ヲ地方税ヨリ戸長役場費ヲ町村費ヨリ支辨スル者ト區別セルハ將來ノ紛議ヲ防クニ於テ最モ得タル者トス第四百二十八號議案ノ要旨ハ全ク此ニ在ル可シ是レ本官等ノ本案ニ對スル見解ナリ又第四百三十號議案ノ課目ヲ税目ノ如ク解スル論者アルニ似

タルモ課目トハ區町村費ヲ課スル目ナレハ決シテ稅目ト同視ス可
 キニ非ス又町村團樂會ノ慣行ヲ存シ以テ舊來ノ良風美俗ヲ破ラサ
 ルヲ望ムト云フモ見ニ今日町村人民ハ籠絡スルニ易キ者ヲ戸長ニ
 舉ケ以テ會議ノ權ヲ專ラニセンコトヲ望ム是ヲ以テ町村ノ聯合ヲ
 廣大ニシ以テ此弊患ヲ防カサル可ラス且假令町村ヲ聯合スルモ一
 町村ノ共有米金及ヒ鎮守神社祭典費ノ如キハ各町村別ニ之ヲ議ス
 可キナリ故ヲ以テ本案ハ舊來ノ慣行ヲ破ルノ虞ナキノミナラス今
 日ノ弊患ヲ救フノ要アリ然ルヲ若シ今日ノ現狀ニ放任セハ却テ反
 對ノ結果ヲ見ル可キナリ又土木費ノ外ナル費目ノ怠納者モ十年第
 七十九號布告ニ據テ處分センニハ會法ヲ改ムルモ亦緊要ナリトス
 蓋シ逐次ニ郡區制度ヲモ改良シテ爭訟勸解ノ如キハ郡區長ノ兼任

ニ歸セシメ其他改正ヲ要スル件項モ少ナカラサル可ク而シテ這般
 ノ改正ハ其端緒ト爲ル可シ但シ下付原案ハ疵瑕ナキニ非ス本官等
 ノ修正案ヲ提出セシハ之カ爲メナリ因テ原案ノ逐條議ニ涉ラハ本
 官ハ修正案中ノ各點ヲ摘ミ逐次ニ修正說ヲ提出セントス

○議長 昨日以來數回ノ討議ヲ經タルモ本案ハ實際ニ至重ノ關係ヲ
 有スルヲ以テ姑ク其決議ヲ緩ウシ午餐ノ爲メニ閉會セン

午後零時十分閉場

午後第一時二十七分開場

退席

七番

官本 小一

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○十二番^{棋村}正直 現問題ハ第四百二十八號議案ニ關スル者ナレトモ他ノ二案ト相ヒ牽連スルヲ以テ三案共ニ昨日以來頻頻ノ議論ヲ來セリ或者ハ町村團樂ノ慣行ヲ破ルト駁論スレトモ其團樂會ノ情況ハ區町村會ヲ各地方ニ開設セル時ニ於テ既ニ破レタルハ本官午前ニ之ヲ辨シタリ然レトモ猶ホ未タ盡ササル有ルヲ覺フ因テ聊カ之ヲ補辨シ併テ建議ヲ爲サントス抑モ十三年ニ區町村會法ヲ發布シテ團樂會ニ換タルヤ其利益頗ル大ニシテ其殊ニ著明ナルハ農民暴動ノ一原因ヲ絶チタル是ナリ夫レ農民暴動ノ原因ハ多クハ戸長ノ會計ニ關ス然ルニ區町村會ヲ開設セル以來其暴動ヲ見ルノ稀ナルハ此會ノ功效ト謂フ可シ昨日修正案ノ廢滅セシ所以ヲ考フルニ原案ハ何様ニ修正ヲ加フルモ採取ス可ラストスルニ非ス二十八番ノ區

町村會法ノ第二條第三條ヲ改ムルハ可ナリ區町村費ノ怠納者ヲ第七十九號布告ニ據テ處分スルモ亦可ナリ但シ是レ單行布告ヲ以テス可シト云ヘルハ一理アレトモ第二條第三條ヲ改正スル以上ハ第八條モ亦必ス改正セサル可ラス故ニ本官ハ更ニ再ヒ修正委員ヲ選定シテ此三案ヲ付託センコトヲ望ム然ラハ則チ單行布告ト爲スノ說ヲ採ルモ其他ノ修正ヲ加フルモ共ニ便利ナル可シ因テ之ヲ建議ス

○三十番^{柴原}和

本官ハ昨日闕席セルヲ以テ議場ノ景況ヲ知ラサレトモ現問題ハ第四百二十八號議案ニ對スル廢棄說ナルモ頗ル他ノ二案ト關係ヲ有ス内閣委員ノ説明ニ據レハ三案共ニ必用ナルニ似タレトモ原案ノ如ク區町村會ヲ府縣會ト同シク堂堂タル議會ト爲セ

ハ行政上ニ支障ヲ致サントス因テ第一讀會ニ此旨趣ヲ陳ヘ以テ寧
 口廢案ニ付スルコトヲ是認セシニ爾後調査委員ヲ置クニ決シ本官
 モ誤テ其選ニ當レリ乃チ本官等ハ幾ント廢案ニ均シキ意思ヲ以テ
 之ヲ修正セシナリ試ミニ其一二ヲ舉ンニ區町村費規則ノ教育費衛
 生費等ノ費目ヲ削レルハ若シ之ヲ存セハ或ハ其要用ナキ時ニモ費
 金ヲ徵收スルノ恐レ有ルニ由ル「段別割」ノ文字ヲ削レルハ法律上
 ニ載ス可ラサル者ナレハナリ又區町村會ハ務メテ今日ニ實行スル
 所ト大差異ナカラシムルヲ要シ原案第十一條ヲ一層ニ寛和ニ出シ
 メタリ此他第八條第九條ヲ削レルハ其精神タル廢案ニ付スルト異
 ナラス然ルニ此修正案ハ既ニ議場ニ排斥セラレ今日原案ニ據テ議
 スル以上ハ寧口廢案說ニ左袒ス

○二十八番筈作
麟祥

十二番ハ修正委員ヲ選定セント建議シ本官モ亦其

意ナキニ非ス然ルニ十二番ハ原案ヲ是認シ而シテ本官ハ幾ント廢
 案ニ均シキ修正ヲ欲ス只今三十番ハ修正案ヲ以テ原案ヲ廢棄スル
 ニ均シキ者ナリト論スレトモ本官ヲ以テ之ヲ觀レハ稍ヤ其嚴格ナ
 ルヲ寛和ナラシメタルニ過キス若シ今一層寛和ナラシメタルナラ
 ハ本官モ或ハ之ニ左袒ス可キノミ要スルニ修正委員ヲ選定スルハ
 十二番ト同意ナルヲ以テ其建議ヲ贊成ス幸ニ建議ヲ可決セハ這般
 ハ政府ノ急務ト爲セル各點ノミヲ摘ミテ修正スルヲ得ヘキナリ

○十一番楠本
正隆 本官ハ斷然ニ廢案ニ付スルヲ可トス抑モ數町村ヲ合
 セテ部落ヲ爲シ以テ之ニ議會ヲ開クヤ協議ノ美風ハ之カ爲メニ滅
 絶ス可ク又町村用掛ヲ置ケハ町村ノ費用ヲ増加ス可シ將來ヲ推考

スルニ二十三年ヲ期シテ國會ヲ開設スル聖詔ノ在ル有リ宜ク町村ニ自治ヲ許スヘキハ今後ノ政治ノ方鍼ナルニ却テ其協議ノ慣習ヲ破ル如キノ法律ヲ發スルハ之ヲ劇變ト謂ハスシテ何ソ本官ハ第一案ヲ非視セサレトモ三案連帶セルヲ以テ獨リ此レノミヲ是決ス可ラス又本官ハ課目即チ税目ナリトハ明言セサレトモ是レ税ヲ徵スル目ナレハ之ヲ税目ト稱スルモ可ナランノミ又段別割ノ一事ハ法律中ニ揭示ス可キ者ニ非ス且夫レ十二番ノ修正委員ヲ選定スル建議ハ顧慮ノ餘ニ發シタルナランモ熟考スルニ二十八番ノ意見ノ如ク本案ヲ單行布告ト爲セハ內閣ノ目的ヲ達スル能ハサル可シ蓋シ精神ヲ異ニスルトキ其修正ノ方向モ隨テ異ナル可キヲ以テナリ是ヲ以テ本官ハ斷然ニ本案ヲ廢棄シ現行法ニ改正ヲ加ヘテ其弊ヲ防

クヲ可ナリト信ス今者廢案ノ理由ヲ具シテ以テ上奏セハ內閣モ亦曉ル所アル可ク然ル後チ更ニ其法案ヲ本院ニ下付スルモ未タ晚カラス假令修正委員ヲ置クモ精神ヲ異ニスル修正ハ幾回之ヲ加フルモ遂ニ功益ナキヲ以テ本官ハ其建議ニ同意セサルナリ

○四十番 三浦安

現問題ハ第四百二十八號議案ニ對スル者ナレトモ他ノ二案ニ牽連スルヲ以テ自然一貫シテ之ヲ論シ昨日以來其可否未タ決セス抑モ本官ノ第一案ヲ存シ第二案第三案ヲ廢セント望ムハ既ニ陳述セル者ノ如シ但シ區町村會ニシテ簡單ノ議案ヲ議スルニ數多ノ時日ヲ費ス如キハ素ヨリ不可ナリ府縣會スラ開會日數ニ制限ヲ立ル有レハ區町村會ニモ亦制限ヲ立ルハ當然ナリ故ニ本案ハ之ヲ廢シ現行區町村會法ノ已ム可ラサル者ノミヲ改正スルヲ得タ

リトス十二番ノ建議ハ修正委員ヲ置クニ在レハ其權力ニ限り有り
 蓋シ若シ區町村會ノ規則ヲ立ルハ區町村ノ便宜ニ委シ將タ府知事
 縣令ノ指定ニ委スル歟又凡ソ區町村費ノ怠納者モ公賣處分ニ付ス
 ル歟ヲ豫定スルニ非サレハ則チ修正ニ困シム可シ是ヲ以テ其建議
 ノ若シ投票ヲ用ヒテ再付託調査委員ヲ選定スルニ在レハ之ニ左袒
 ス可キモ修正委員ヲ選定スルニ在レハ之ニ左袒スル能ハサルナリ

○四十二番 長岡護美 十二番ノ建議ヲ賛成ス本官ハ昨日廢案說ヲ提出シ
 タレトモ現行區町村會法第二條第三條等ヲ改正スルヲ必用ナリト
 考フルヲ以テナリ

○三十番 柴原和 本官モ若シ一層廢案ニ近キ修正ヲ得ルハ大ニ望ム所
 ナレハ十二番ノ建議ヲ賛成ス

○二十七番 渡邊清 十二番ノ建議ニ左袒ス嚮キニ本官等ノ修正案ヲ提
 出セシモ尙ホ未タ盡ササル所アルヲ知レハナリ

○議長 十二番ノ建議ヲ決スルニ先チ一言セン前日選定セシハ全部
 付託調査委員ナリ然ルニ修正委員ナレハ唯其修正ヲ委託スル者ニ
 シテ調査委員ノ例ヘハ第一案ヲ存シテ第二案第三案ヲ廢シ又ハ三
 案共ニ之ヲ廢シ若クハ三案共ニ修正スル等其意見ニ從ヒ之ヲ爲ス
 ノ權力アル如キニ非ス十二番ハ何レノ委員ヲ設ケントスル耶

○十二番 榎村正直 修正委員ナルモ二十八番ノ陳ル如キ修正ヲモ加フ可
 キナレハ本官ハ修正委員ヲ選定スルヲ欲ス或ハ再付託委員ト言ヒ
 シヤヲ知ラサレトモ若シ之レ有ラハ失言ナリ

○議長 十二番ノ建議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十人

○議長 少數ナルヲ以テ十二番ノ建議ハ消滅ス

○二十八番 箕作麟祥 十二番ノ建議消滅セシハ修正委員ナレハ廢案說ヲ

提出スル能ハサルニ由ルナラン是ヲ以テ本官ハ更ニ全部付託再調

査委員ヲ選定センコトヲ建議ス而シテ其人員ハ五名ト爲シ前例ニ

沿ヒ投票ヲ以テ之ヲ指選セン

○十二番 榎村正直 二十八番ノ建議ヲ賛成ス修正委員ヲ選定ス可ラサル

以上ハ調査委員ヲ選定スルノ已ム可ラサレハナリ

○四十番 三浦安 本官モ調査委員ヲ選定スル建議ノ出ル以上ハ喜テ之

ヲ賛成ス

○議長 二十八番ノ建議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十四人

○議長 多數ナルヲ以テ再調査委員ヲ選定スルニ決ス其委員ハ投票

ヲ以テ指選セヨ

○議長 得票多數ハ十一點十二番 榎村正直 二十八番 箕作麟祥 九點十一番 楠本正隆

三十三番 關口隆吉 四十番 三浦安 ナルヲ以テ此五名ヲ再調査委員ト爲ス此

三案ハ重要ノ者ニシテ僅僅一行ノ文案ヲ議スルニ數日ヲ費ヤセシ

ナレハ之ヲ調査ヲ加フルモ亦容易ナラサル可シ然レトモ來月ハ府

縣會ノ開期ニ當リ且此法案ノ成立スルト否トニ關シテハ實際頗ル

地方官ノ考慮ヲ要ス可キヲ以テ各地方官ハ日夜其成果ノ報道ヲ俾

望スト聞ク各委員此旨趣ヲ領シ務テ速ニ調査ヲ了セヨ本日ハ散會

セン

午後第二時三十五分閉場

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including phrases like '議案' and '議事']

元老院會議筆記明治十七年三月二十一日

禁傍聽

○第四百二十八號議案 地方稅規則第三條第二讀會 三月十三日續會

○第四百二十九號議案 區町村會法改正ノ儀 同

○第四百三十號議案 區町村費規則制定ノ儀 同

議長 佐野常民

出席議員

二番 渡邊 洪基

四番 本田 親雄

七番 官本 小一

八番 井田 讓

九番 神田 孝平

十一番 楠本 正隆
 十二番 榎村 正直
 十三番 大久保一翁
 十四番 田邊 太一
 十七番 福原 實
 十八番 大給 恒
 十九番 河田 景與
 二十番 林 友幸
 二十四番 大鳥 圭介
 二十五番 西村 貞陽
 二十六番 野村 素介

二十七番 渡邊 清
 二十八番 箕作 麟祥
 三十番 柴原 和
 三十一番 上杉 茂憲
 三十二番 鷺尾 隆聚
 三十三番 關口 隆吉
 三十五番 鍋島 直彬
 三十六番 細川潤次郎
 三十七番 津田 真道
 四十番 三浦 安
 四十一番 西 周

四十二番 長岡 護美

四十五番 神山 郡廉

内閣委員 番外一番 參事院議官安場 保和

同 番外二番 參事院議官補牧 朴真

同 番外三番 參事院員外議官補白根 專一

午前第十時十五分開場

○議長 第四百二十八號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク前日三案ヲ再調査委員ニ付託シ其提出セル報告案ハ各位ニ配付シタルヲ以テ既ニ熟讀セルナラン因テ朗讀ヲ略ス

三月十三日第四百二十八號第四百二十九號第四百三十號議案第二讀會ニ於テ全部付託再調査委員ノ選ニ當リタルニヨリ反覆審議ノ

上遂ニ之ヲ廢棄スルニ決セリ抑該三議案ハ戸長及ヒ戸長役場書記給料旅費ハ地方稅ヨリ支出シ戸長役場費及ヒ町村用掛給料旅費ハ全ク之ヲ協議費ヨリ支辨セシメ且ツ區町村會法ヲ改正シ併セテ區町村費ノ新法ヲ設ケントスルニアリ要スルニ近來戸長ノ職務益繁忙ヲ來タセシモ其給料薄少ナルヲ以テ適當ノ人ニ乏シキカ故ニ從來地方稅ヨリ支出セシモノヲ分割シテ町村ニ賦課シ法律ノ制定ヲ以テ數町村ヲ聯合シ其聯合町村ノ費用ヲ以テ戸長ノ給料ヲ厚クセントスト是レ殆ント了解スルニ苦シム何ソヤ徵收ノ名ヲ異ニスルト雖モ均シク人民ノ負擔ニシテ均シク議會ノ決議ニ委スレハ増減亦豫定スヘカラス到底國庫ノ支給ヲ仰クニアラサルヨリハ之ヲ増サント欲スルモ得ヘカラサルナリ況ンヤ嚴格ナル法律ヲ設ケテ町

村協議ノ慣習ヲ破リ又町村ヲ聯合シテ一戸長役場ヲ置キ行政區一
 般ノ形ヲ養成セントス是レ民情ニ戻ルノミナラス戸長ハ恰モ小郡
 長ノ如ク各町村ノ用掛ハ現今ノ戸長ニ均シク到底役場役員ノ増加
 ヲ爲シ其費用モ從テ多夥ヲ要シ且町村從來ノ慣習ヲ破ルコト論ヲ
 埃タサルナリ又區町村會法ヲ改正スルノ趣意ハ現行會議法ノ如キ
 ハ放任ニ失シ往々不整頓ノコトアルモ府知事縣令ニ於テ之ヲ匡正
 スルコト能ハス依テ弊害モ亦尠ナシトセス故ニ更ニ府縣會規則ニ
 倣ヒ之ヲ改正シ以テ之ヲ檢束シ流弊ヲ矯正セントスルニアリ然ル
 ニ區町村會ノ性質タル集合シテ一町村ヲ爲セル人民ノ協議ニ止マ
 リテ府縣會ト同一視スヘカラス今放任ノ弊ヲ除カント欲セハ現行
 區町村會法中第一條ニ於テ其公共ニ關スル事件ノ一句ヲ除キ區町

村會ハ協議費ヲ以テ支辨スヘキ事件及其經費ノ徵收方法ヲ議定ス
 ルモノト明示シ第二條第三條及第八條ノ地方ノ便宜ニ從ヒ府知事
 縣令ノ裁定ヲ受クルニ止マリシモノヲ改正シテ區町村會及聯合會
 水利土功會規則ハ總テ府知事縣令ノ定ムル所ト爲サハ從來ノ任放
 ヲ檢束スルニ足ルヘシ故ラニ府縣會同一ノ嚴格ナル法律ヲ制定ス
 ルニ及ハサルナリ又區町村費ノ規則ヲ制定スルノ趣意ハ地方稅ト
 協議費ノ目ヲ區別セントスルニ在リト雖モ從來慣行ノ實際ニ於テ
 自カラ其區別アラシ實際區別シ難キモノハ法律ヲ設クルモ亦區別
 スルヲ得ス又費目課目ヲ定メテ之ヲ法律上ニ掲クルカ如キハ最モ
 町村人民協議ノ本質ニ戻ルモノト云フヘシ故ニ今新法ヲ設ケ協議
 費ヲ區町村費ト改稱シ其目ヲ掲クルモ其要用ヲ見ス若シ協議費ノ

怠納者處分ニ苦シマハ明治十四年第二十四號布告中土木費ノ怠納者トアルヲ費用ノ怠納者ト改正シ明治十年第七十九號布告ニ據リ處分セハ民事裁判所ニ訴ル如キノ不都合ヲ除クヘシ以上開陳スル所ハ是レ本官等カ三議案ヲ廢棄シ更ニ内閣ノ再考ヲ請ントスル所以ナリ抑法律ノ體裁ヲ整頓センカ爲メ屢現行ノ法令ヲ廢シ嚴格ナル規則ヲ設ケ之カ爲メニ會議ノ冗費ヲ増シ町村費用ノ増課ヲ生シ人民ヲ疲弊セシムル如キハ恐クハ其得失相償ハサルニ至ラン加之町村從來ノ慣行ヲ破リ人心ノ激變ヲ招クハ本官等ノ最モ安ンセサル所ナリ依テ理由ヲ具シ此段報告ニ及候也

全部付託再調査委員

議官 三浦 安

議官 關口 隆吉

議官 榎村 正直

議官 箕作 麟祥

議官 楠本 正隆

議長佐野常民殿

明治十七年三月十九日

○十一番楠本正隆 本官等ハ再付託調査委員ノ任ニ當リ其決議セル要旨

ハ報告案ニ載スルヲ以テ復々贅セス思フニ均ク廢案ヲ是認スル論者ト雖モ此報告案ニ載スル理由ニ對シテハ或ハ意見ヲ異ニスル有ンモ大意既ニ同シクハ賛成センヲ望ム其他各官ニ在テモ大體ノ旨趣ヲ認メテ取舍ヲ決セヨ

○十二番榎村正直 本官モ再付託調査委員ノ一人ナレトモ此報告案ハ本

官ノ意見ト相反ス因テ此ニ其理由ヲ陳ヘ以テ各位ノ清聴ヲ煩ハサ
 ン抑モ戸長以下ノ給料及ヒ戸長職務取扱ノ諸費ヲ地方税及ヒ協議
 費ヨリ支辨スルノ失當ナルハ本官等地方在職ノ日ニ於テ既ニ稔知
 スル所ナリ加之苟モ町村費ヲ徴スルニ其何事ニ支辨スルヲ示サス
 又其徴收スル課目ノ何者ナルヲ示ササルハ茫漠タルヲ免レス區町
 村會法モ已ニ多年ノ經驗ニ因テ今日實ニ其改定ス可キヲ知ル聞ク
 内務省ハ數々官吏ヲ地方ニ派遣シ以テ實地ノ利害ヲ探查セシムト
 且此三案ハ内務省昨年ヲ以テ地方官ヲ招集シ審議ヲ經テ制定セル
 者ニシテ内閣モ之カ發布ヲ必要ト爲セルヲ知ル然ルニ果シテ其必
 要ナラサル著明ノ理由アル乎過日以來反對論者ノ陳述セル如キハ
 未タ以テ廢案ニ付ス可キ理由ト爲スニ足ラス夫レ區町村會法ハ各

地方大抵府縣會規則ニ擬倣シテ之ヲ設定シタルモ概シテ其裁制ヲ
 闕ク是ヲ以テ或ハ十八歳ノ少年者ヲ町村會議員ニ舉ル有リ加之府
 縣會議員ト區町村會議員トヲ兼帶セル者ノ如キ府縣會ノ裁制ヲ受
 ルニ困シムヤ區町村會ノ裁制ヲ設ケサルヲ奇貨トシ過激ノ言論ヲ
 吐キテ人聽ヲ棟カシ其會場ハ恰モ白面書生ノ演說場ノ如キ看ヲ呈
 セシムル有リ區町村費モ亦其制限ヲ立テサルヲ以テ各區町村隨意
 ニ課徴スル弊患ヲ見ル有リ今日見狀既ニ此ノ如シ論者ハ仍ホ他ニ
 放任シテ可ナリト謂フ耶此報告案ニ從來地方税ヨリ支出セシモノ
 ヲ分割シテ町村ニ賦課シ云云是レ殆ント了解スルニ苦シムト云フ
 モ社會氣運ノ進步スルニ隨ヒ府縣會ノ議定ニ付スル經費金額ノ報
 告書八年ヲ逐フテ精密ナルヲ要シ區町村人民モ常ニ此ニ注目スル

ニ至レリ然レハ則チ地方税ヲ以テ支辨スル者ト區町村費ヲ以テ支辨スル者トヲ別ツハ緊要ナラスヤ又「徵收ノ名ヲ異ニスルト雖モ均シク人民ノ負擔ニシテ均シク議會ノ決議ニ委スレハ増減亦豫定スヘカラス」ト云フモ凡ソ目的ナキニ事ヲ議スル能ハサレハ戸長ノ給料ヲ定ムルニモ某村ハ人家幾軒段別幾許ト其多少ニ因テ之ヲ決ス可シ町村ヲ聯合スルモ亦然ラン何ソ増減ヲ豫定ス可ラサル有ンヤ又「嚴格ナル法律ヲ設ケテ町村協議ノ慣習ヲ破リ」ト云フモ見ニ戸長役場費ノ如キ一町村ノ全體ニ關係スル者ハ町村會之ヲ議定シ團樂會ヲ開クハ其一部ノ出金額ヲ定ル場合ニ於テスルノミ然レハ則チ町村協議ノ慣習ハ業已ニ破レタリ決シテ本案ヲ發スルニ因テ之ヲ破ルトハ謂フ可ラス又「到底役場役員ノ増加ヲ爲シ」ト云フモ町

村用掛等ノ役員ハ今日見ニ之レ有リ惟タ法律ニ其明文ヲ掲ケサルノミ況ヤ本案ノ目的ハ戸長ノ員數ヲ減スルニ在レハ隨テ役場ノ個數モ増スコト無ル可シ又「區町村會法ヲ改正スルノ趣意ハ現行會議法ノ如キハ放任ニ失シ云云府縣會規則ニ倣ヒ之ヲ改正シ以テ之ヲ檢束シ流弊ヲ矯正セントスルニアリ」ト云フモ現行法ノ實ニ放任ニ失セルヲ以テ今之ヲ矯正セントス徒ラニ檢束ヲ加フルニ非ス又「區町村會ノ性質タル集合シテ一町村ヲ爲セル人民ノ協議ニ止マリ」ト云フモ原來區町村ノ全體ニ負擔ス可キ事項有リ然ラサル事項有リ其全體ニ關スル費用ヲ協議ニ任スルハ不可ナリ又「今放任ノ弊ヲ除カント欲セハ現行區町村會法中第一條ニ於テ其公共ニ關スル事件ノ一句ヲ除キ區町村會ハ協議費ヲ以テ支辨ス可キ事件及其經費ノ

徵收方法ヲ議定スルモノト明示シト云フモ其怠納者ヲ處分スルニ
 八十年第七十九號布告ニ據ント云フ其旨趣ノ矛盾スル實ニ甚シ論
 者ハ本案ヲ評シテ嚴格ニ過ルト云ヘルモ報告案ノ如クハ本官ハ任
 放ト嚴格トヲ混シタル者ナリト云ンノミ論者ハ鄉村社祭典費ノ怠
 納者モ同シク公賣處分ニ付シテ可ナリト爲ス耶又第二條第三條及
 第八條ノ地方ノ便宜ニ從ヒ府知事縣令ノ裁定ヲ受クルニ止マリシ
 モノヲ改正シテ區町村會及聯合會水利土功會規則ハ總テ府知事縣
 令ノ定ムル所ト爲サハ從來ノ任放ヲ檢束スルニ足ルヘシト云フモ
 本案第二案第六條第七條ノ場合即チ議員ノ招集ニ應セス若クハ議
 定ス可キ議案ヲ議定セサル等ノ場合ニ於テ町村費ヲ徵收スル如キ
 ハ是レ議權外ニ馳ルヲ以テ紛雜ヲ來スヲ免レス故ニ此手段ヲ以テ

シテハ從來ノ任放ヲ檢束スル能ハス現行區町村會法第十條ニ「第
 三條及ヒ第八條ニ掲ケタル集會ヲ要スルキ其關係アル區町村若ク
 ハ人民中異議アリテ其集會ニ應セサルキハ府知事縣令之ヲ府縣會
 ニ付シ云云」ト言ヘルモ原來水利土功ニ關係アル人民ト云ヘハ或
 ハ數町村ニ涉ル有リ或ハ然ラサル有リ之ヲ府縣會ノ議ニ付スルハ
 失當ナリ故ニ第二案ハ此病ヲ除ケリ然ルヲ報告案ノ云フ所ニ從ヘ
 ハ此病ヲ除ク能ハス又「區町村費ノ規則ヲ制定スルノ趣意ハ地方稅
 ト協議費ノ目ヲ區別セントスルニ在リト雖モ從來ノ慣行ノ實際ニ
 於テ自カラ其區別アラント云フモ這般區町村費規則ヲ制定スルハ
 獨リ地方稅ト協議費トヲ區別スルノミナラス區町村ノ全體ニ負擔
 ス可キ費用ト其一部ニ負擔ス可キ費用トヲ區別スル爲メニス蓋シ

此ノ如ク區別ヲ立ルハ彼鄉村社祭典費ノ怠納者モ土水費ノ怠納者ト同ク公賣處分ニ付スル如キ失當ヲ防制セントスルナリ又「法律ノ體裁ヲ整頓センカ爲メ屢現行ノ法令ヲ廢シ嚴格ナル規則ヲ設ケ之カ爲メニ會議ノ冗費ヲ増シ町村費用ノ増課ヲ生シ云云本官等ノ最モ安ンセサル所ナリ」ト云フモ法律ノ整頓セサルハ決シテ好ム可キコトニ非ス報告案ノ旨意タル法律ヲ整頓セハ費用ヲ増スト爲セルニ似タルモ彼ノ僅ニ六七圓ヲ徵スル議事ノ爲メニ三拾圓餘ノ費用ヲ要セル等ハ畢竟法律ノ整頓セサルニ由ル加之其怠納者ヲ公賣處分ニ付スル能ハス且ヤ訴訟規則ヲ改正セシ以來訴訟入費頗ル多額ヲ要シ到底其得以テ其失ヲ償フ能ハス爲メニ區町村費ニ缺少ヲ致シ已ムヲ得ス他人ニ資借シテ之ヲ補充スルヨリ區町村ノ負債ハ稍

ク増加ス是亦畢竟法律ノ整頓セサルニ由ル其レ此ノ如シ苟モ法律ヲ制定スル以上ハ地方官ナリ戸長ナリ其職ヲ盡スニ妨ケサルヲ期スルヲ要ス然ルニ地方稅ハ徵收スルヲ得ルモ町村費ハ徵收スル能ハス而シテ強テ之ヲ徵收セントスルモ得失相償ハサルヲ奈何セン論者或ハ是等ノ事項モ府知事縣令ノ裁定ニ任セハ可ナリト云ハンモ甲ハ職權内ニ屬ストシテ斷行スル事項モ乙ハ上司ニ稟議セサレハ決行セサル有ン而シテ今日ノ地方官ハ前途ニ障礙ヲ見ルモ斷行セントスル如キ者ハ寔ニ稀ナリ故ヲ以テ法律ハ苟モ繁細ニ涉ラサル限りハ務メテ完備ヲ望マサル可ラス是ヲ以テ前修正案ニ均キ修正ヲ加フルカ若クハ何様ノ修正ヲ施スモ必ス内閣ノ旨趣ヲ貫徹セシメンコトヲ望ム是レ本官ノ此報告案ヲ非視スル所以ナリ

○二十八番箕作麟祥 本官モ再付託調査委員ノ一人ニシテ初ヨリ廢案說ヲ執ル者ナリ之ニ反シテ十二番ハ原案ニ修正ヲ加ヘ以テ議定セント云フ而シテ此廢存ニ關スルニ様ノ理由ハ第二讀會以來數次議場ニ出現シタルヲ以テ復々贅セス今惟此報告案ニ關シ一言セントス抑モ本案ニ載ル理由ニハ再付託調査委員ニシテ均ク廢案ヲ是認スル者ト雖モ尙ホ多少其意見ヲ異ニスル有リ然ルニ是レ廢案ノ諸理由ヲ記列セルニ過キササルヲ以テ幸ニ之ニ可決セハ此諸理由ヲ折衷シテ議長ヨリ上奏センヲ望ム要スルニ本官等ノ主旨ハ專ラ本案ノ末文ニ載スル「抑法律ノ体裁ヲ整頓センカ爲メ」云云以下ノ一段ニ存ス若クハ或ハ現行區町村會法第一條第二條第三條第八條ヲ改正スル法案及ヒ土木費ノ外ナル費目ノ怠納者モ十年第七十九號布告

ニ據テ處分スル法案ヲ提出ス可ク廢棄ニ付スルハ深切ナラスト批難スル論者アラシモ是レ宜ク別ニ意見書ヲ提出スヘキノミ原案ニ對シテ言フ可キノ事ニ非ス且假令此等ノ法案ヲ提出セサルモ内閣ニ於テ本院ノ決議ヲ是認シ以上ニ陳ル所ノ改正ヲ要セハ其法案ヲ作ルハ容易ナルノミ敢テ請フ此報告案ノ理由ニ對スル少小ノ意見ハ之ヲ措キ以テ大體ニ同意センコトヲ

○二番渡邊洪基 本官ハ嚮ニ調査委員ノ選ニ當リ修正案ヲ提出シタレトモ未タ完備ナラサルヲ以テ之ヲ斥ケ遂ニ再調査委員ヲ置クニ決シ而シテ其提出セル報告案ハ原案ヲ廢棄セント云フニ在リ抑モ此報告案ノ非ナルハ十二番ノ之ヲ詳說セシモ尙ホ本官ノ意見ヲ略陳セシ第一案ノ得失ヲ考フルニ戸長ノ給料甚タ菲薄ニシテ隨テ人物ヲ

得ル能ハス然ルニ其事務ハ徴兵ナリ戸籍ナリ租税ナリ實ニ煩雜且ツ困難ナル者ニシテ弊害モ亦少シトセス此等ハ到底今日ノ見狀ニ放任ス可キニ非ス又第二案ノ得失ヲ考フルニ其以テ舊貫ヲ破ルト云ヘル駁說アルモ之ヲ憂フルハ已ニ晚シ從前ハ會議ノ設ケ無ク町村人民ハ行政官ノ顧問ニ具ハリシノミ然ルニ今日ハ府縣會アリ區町村會アリ國會モ亦將サニ開設セントス苟モ是等ノ議會ヲ興ス以上ハ必ス其會則ヲ立サル可ラス是ニ於テ府縣會規則ナリ區町村會法アルモ此區町村會法ハ半ハ區町村ノ協議ニ委スル旨趣ヲ以テ制定セル者トス然ルニ凡ソ真正ノ協議ハ決シテ行ハル可キニ非ス例スルニ本院議官ヲ以テ編成スル僅僅三五名ノ調査委員スラ仍ホ協議スルノ甚々難キカ爲メニ多數決ノ會則ニ從フ如キ以テ証スルニ

足レリ然レハ則チ苟モ公安ヲ害セサル限りハ區町村會ト雖モ畫一ノ會法ヲ設ケテ之ヲ檢束セサル可ラス又第三案ノ得失ヲ考フルニ若シ法律ヲ以テ區町村ノ費目ヲ豫定スルニ非スンハ區町村會ハ費目ヲ定ル標準ヲ得サルニ困マン是レ以テ第三案ノ必要ナルヲ知ル可シ且夫レ其費目ヲ豫定スルモ土地ノ利害ハ東西同一ナラサルヲ以テ惟タ全國ニ通用ス可キ費目ヲ示スノミ論者動モスレハ輒チ町村協議ノ美風ヲ破ルト云フモ蓋シ協議ハ是等ノ事項ノ定マレル後ニ成立スル者ナレハ決シテ之ヲ定ムルト否トニ關セス加之今日は等ノ事項ヲ定ムルハ政治ノ經綸ニ於テ實ニ已ム可ラサル者トス但シ原案ハ多少支障アルヲ以テ本官モ第一讀會ニ幾ント廢案ニ均シキ說ヲ陳ヘシモ全ク之ヲ修正スル方途無キニ非ス是ヲ以テ前日本

官等ノ提出セル修正案ノ消滅セシ時ニモ姑ク原案ニ同意ヲ表シタリ今此報告案ノ末文ニ今日ノ弊患ヲ矯救スル方途ヲ載スルモ未タ以テ原案ノ缺漏ヲ補フニ足ラス故ニ本官ハ此報告案ヲ棄テ以テ原案ニ據テ修正說ヲ提出セント欲スルナリ

○二十七番 渡邊清

本官モ此報告案ヲ非視スルヲ以テ聊カ意見ヲ陳セシ今日地方ノ弊害ハ町村以下ノ施政ニ在リ故ニ急ニ之ヲ矯正スルヲ緊要ナリトス内閣ノ下付セル三案ハ多少支障アルモ亦敢テ修正ヲ加フ可ラサルニ非ス且夫レ原案ヲ廢棄スルニハ十分ニ審議シ實際ノ事情ヲモ探查セサル可ラス然ルニ此報告案ニ載スル理由ハ啻ニ明備ヲ缺クノミナラス恐クハ厭フ可キ結果ヲ生セン原來戸長ノ事務ハ法律ノ完備ナラサル爲メニ障礙ヲ見ルヤ多シ殊ニ其最モ著

シキハ戸籍法ノ整頓セサル爲メニ徵兵事務ノ紛擾ヲ致ス是ナリ又其協議費ヲ徵收スル事務モ亦甚タ繁雜ニシテ少額ノ金圓ニ關スル町村會議ニ多額ノ費用ヲ消シ且其徵收ノ往復ニ多額ノ費用ヲ要スル如キ各官ノ熟知セル所ナル可キニ原案ヲ非視スルハ實ニ解ス可ラス又此報告案ヲ一辨センニ法律ノ制定ヲ以テ數町村ヲ聯合シト云フモ町村ヲ聯合スルハ郡區町村編成法第一條ノ許ス所ナリ決シテ此法律ニ由ルニ非ス又其聯合町村ノ費用ヲ以テ戸長ノ給料ヲ厚クセントス是レ殆ント了解スルニ苦シムト云フモ戸長ノ給料ヲ裕厚ニスルニハ町村ヲ聯合セサルヲ得ス是レ一町村ノ費用ヲ以テセントスルニ非ス又區町村會ノ性質タル集合シテ一町村ヲ爲セル人民ノ協議ニ止マリト云フハ所謂團練會ヲ指スナラン斯ノ如

ク町村協議ノ風俗ヲ尙フ論者ニシテ却テ今日放任ノ弊害ヲ除ント欲セハ現行區町村會法第一條ヲ改正ス可シト云ヒ其第二條第三條第八條ノ府知事縣令ノ裁定ヲ受ケシムル者ヲ改正シテ府知事縣令ノ制定スル所ト爲サハ能ク檢束ヲ加フルニ足ル可シト云ヒ而シテ協議費怠納者ノ處分ニ苦マハ十年第七十九號布告ニ據リ處分ス可シト云フ夫レ今日ノ協議費タル其實ハ町村費ニシテ論者ノ所謂協議費ニ非ス若シ從前ノ所謂協議費ヲ是トセハ寧ロ町村會ヲ廢シテ團樂會ニ復スルコトヲ主張ス可キニ一方ニハ現行法ニ據テ協議ニ委スルヲ可トシ一方ニハ其費用ノ怠納者ヲ公賣處分ニ付セント云フハ抑モ何ソヤ再調査委員ノ一人ナル二十八番ハ本案ノ主眼ハ末文ノ「抑法律ノ体裁ヲ整頓センカ爲メ」云云以下ニ在リト云フモ是

レ所謂席上論ノミ原案ハ實際ノ弊害ヲ矯正センコトヲ欲スル者ナリ且此一段ノ言論ノ如キ原來內閣ニ對シテ不敬ニ涉ル者トス因テ請フ本案ハ之ヲ舍テ全ク原案ニ據テ逐條ニ修正ヲ加ヘ嘗テ本官等ノ提出セル如キ修正說ニ決定センコトヲ

○外二番眞 教朴

本員ハ第一讀會以來屢原案ノ旨趣ヲ陳ヘ以テ廢案

說ヲ駁シタレトモ今又此報告案ノ出ルヲ見ルハ憾ム可キナリ抑モ三案ヲ發布スル要旨ハ十二番二十七番二番既ニ之ヲ詳說セリ再調査委員ノ論スル所ヲ聽クニ本案ノ主眼ハ全ク末文ニ在リト云フ然ルニ凡ソ法律ノ體裁ヲ整頓スル爲メニ屢法令ヲ廢シ且嚴格ノ規則ヲ設ケ及ヒ町村費用ヲ增課スル等ハ獨リ反對論者ノ好マサルノミナラス本員等モ之ヲ好マス內閣モ亦之ヲ好マサルヤ必セリ夫レ

法律ハ實際ノ弊害ヲ矯正スル爲メ已ムヲ得サルニ之ヲ制設シ又之ヲ改正スル者ニシテ決シテ徒ラニ之ヲ制設シ又之ヲ改正セサル可キハ言フ俟タス此三案ニ於ルモ固ヨリ然レリ然ルニ末文ノ一段ヲ理由ト爲シテ之ヲ廢棄ニ付セント云フハ實ニ驚愕ニ堪ヘサルナリ又其第一案ニ對シテ國庫ノ支給ヲ仰クニ非サルヨリハ之ヲ増スヲ得スト云ヒ到底役場役員ヲ増シ其費用モ隨テ多額ヲ要シ併セテ町村ノ慣習ヲ破ルト云フモ是レ或ハ前後撞着ヲ免レス何トナレハ既ニ國庫ノ支給ヲ仰カサレハ能ハスト云フヤ裏面ヨリ之ヲ解スレハ若シ國庫ヨリ支給セハ町村ノ慣習ヲ破ルモ可ナリト云フニ同シケレハナリ且ヤ第一案ト雖モ強テ慣習ヲ破ラントスルニ非ス二十七番等モ論スル如ク數町村ニ一戸長ヲ置クハ今日見ニ能フ可キ所ナ

リ要スルニ是レ地方ノ便宜ニ應シ町村ニ聯合ヲ命スルニ外ナラサルノミ又其第二案ニ對シテ現行區町村會法第一條ニ於テ「其公共ニ關スル事件」ノ一句ヲ削除シ第二條第三條第八條ニ於テ區町村會聯合水利土功會規則ハ總テ府知事縣令ノ制定スル者ト改正セハ從來ノ任放ヲ檢束スルニ足ラント云ヘルヲ以テ之ヲ考フルニ是等ノ條件ヲ改正スルハ廢案論者モ敢テ非視セサルニ似タリ加之廢案論者ハ原案ヲ評シテ嚴格ニ過クト難スレトモ第二第三第八ノ各條ヲ其意ノ如ク改正セハ却テ嚴格ニ陷ラントス其他嚴格ナル條文ハ第二案中ニ一モ之レ無シ尙ホ第二案ヲ通觀スルニ第一條第二條第三條ニ載スル旨趣ハ廢案論者モ之ヲ是認シ第四條ハ現行法ト文字稍ヤ同ク旨趣モ亦同シ第五條モ亦現行法ト異ナラス第六條第七條ハ現

行法ト異ナルモ之ヲ設クルハ實ニ已ムヲ得サルニ出ツ何ヲカ已ムヲ得スト言フ現行法ニハ議會ニ停止若クハ解散ヲ命セシ以後ノ處分法並ニ議員ヲ選舉セス若クハ議員ノ招集ニ應セス若クハ議員ノ議定ス可キ議案ヲ議定セサル場合ノ處分法ヲ掲ケス實際頗ル支障ヲ感ス是レ新ニ第六條第七條ヲ設クルノ已ムヲ得サル所以ナリ第八條第九條第十條ハ現行法ニ載セサル者ニ係ル故ニ廢案論者ハ或ハ之ヲ以テ嚴格ニ過クト爲スヤヲ知ラサレトモ是等ノ條件ハ第二案ノ精神ニ非ス惟タ之レ有ルヲ可トスルニ過キス故ヲ以テ若シ強テ之ヲ非視セハ宜ク修正ヲ加フヘキナリ第十一條ハ今日ノ實況ニ應シテ法文ニ明示セルノミ敢テ創始セル者ニ非ス第十二條第十三條第十四條ニ載スル檢束法ハ廢案論者モ非視セサル所ナルハ報告

案ニ據テ之ヲ知ル其レ然リ大體區町村會ニ幾分ノ檢束ヲ加フルヲ望ムハ廢案論者モ同感ナルニ似タルニ却テ其廢案ニ付スルヲ望ムハ何ノ故ソ又其第三案ニ對シテ區町村費規則ヲ制定スル旨趣ハ地方稅ト協議費トヲ區別スルニ在レトモ從來ノ慣行ニ於テ實際自ラ其區別ノ在ル有ン若シ實際ニ區別ス可ラサル者ハ法律ヲ設クルモ亦之ヲ區別スルヲ得ス且ヤ費目課目ヲ定メテ法律ニ掲クルハ尤モ町村人民協議支出ノ本質ニ戻ル若シ協議費怠納者ノ處分ニ苦シマハ十四年第二十四號布告ノ「土木費ノ怠納者」ト言ヘルヲ費用ノ怠納者ト改メ以テ十年第七十九號布告ニ據テ處分セハ民事裁判所ニ訴ル煩勞ヲ除ク可シト論スレトモ見ニ各町村會ニ在テ費目課目ヲ議定シ而シテ團樂會モ亦往往ニ行ハルルニ非スヤ然レハ則チ第三

案ヲ視テ人民協議ノ本質ニ戻ルトハ謂フ可ラス且ヤ人民協議ノ本質ニ戻ランコトヲ恐ルル廢案論者ニシテ區町村費用ノ怠納者モ十年第七十九號布告ニ據テ處分セント云ヘルハ自家撞着タルヲ免レス蓋シ區町村會アリテ區町村費規則ナキハ車ニシテ一輪ヲ缺クニ同シ然ルニ廢案論者ハ何ヲ以テ之ヲ制設スルヲ是認セサル乎公賣處分ノ區域ヲ廣ムルハ本案ノ創ムル所ナルモ今日ハ少額ナル費用ノ怠納者モ戸長ハ一一之ヲ民事裁判所ニ訴フルニ非サレハ徵收スルヲ得ス然ルニ近時訴訟規則ヲ改正セルヲ以テ訴訟入費頗ル多キヲ致シ拾錢ノ訴訟ニ五拾錢乃至壹圓ノ費用ヲ要スル如キ行政上吏民共ニ不便ナリ故ニ之ヲ改正スルハ廢案論者モ非視セサル所ナルニ却テ原案ヲ廢棄セント云フハ解ス可ラス若シ夫レ今日實際ノ景

況ニ關シテハ二十七番十二番ノ既ニ之ヲ詳說セル有リ本員モ一昨年以前ハ職ニ地方ニ在テ親ク其事務ヲ執リ且一昨年ハ内閣ノ命ヲ奉シテ畿内西國ノ地方ヲ巡回シ又昨年ハ奥羽ノ地方ヲ巡回セシニ本員ノ最モ感觸ヲ起シタルハ戸長役場ノ事務ノ整頓セサルト町村會ノ弊害甚タ多キトニ在リ今日ノ戸長ヲ以テ今日ノ行政事務ヲ執ラシムルハ決シテ望ム可キニ非ス今日町村會ノ弊害タル若シ見狀ニ放任セハ後來何等ノ結果ヲ生スルヤヲ測知ス可ラス是レ即チ這般三案ヲ下付セル所以ナル可シ然ルニ今之ヲ廢棄ニ付セハ内閣諸公ハ其レ之ヲ何トカ言ハン原案ノ條項ニシテ非視スル者アラハ宜ク修正ヲ加フヘシ大體原案ノ精神ト同感ナル各議官ニシテ此ニ出テス反テ廢棄ニ付セントスルハ本員等其意ノ在ル所ヲ解スルニ困

シム切ニ望ム修正ヲ加フルモ廢棄ニ付スル無ラシコトヲ

○議長 討議未タ盡キサルモ時己ニ午ヲ過ルヲ以テ少時退場セン且告ク午後ニ續會ヲ開クモ未タ報告案ニ對シテ可否ノ決ヲ取ラス本席ハ前問題即チ三十五番ノ原第一案ニ係ル廢棄說ノ決ヲ取ラントス是レ本會ハ第二讀會ノ續會ナレハ議事規則ニ據テ逐條ニ之ヲ議ス可ク且此報告案ニハ原三案ヲ列子テ廢棄ノ理由ヲ載スルモ原三案共ニ旨趣ヲ異ニシ號數モ亦同シカラサルヲ以テナリ各位散會セヨ

午後零時四十五分開場

午後第二時十分開場

退席 十三番 大久保一翁

同 十八番 大給 恒

同 二十六番 野村 素介

同 三十六番 細川潤次郎

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○二十八番 箕作 麟祥 本官等再調査委員トシテ報告案ヲ提出セシニ内閣

委員ハ原案ヲ主持シテ之ヲ辨駁シ其他反對ノ論說ヲ聞クモ其既ニ廢案ヲ非視スル以上ハ復タ恠ムニ足ラス然ルニ一事ノ解セサル有リ過刻閉場ニ際シ議長ハ演告シテ討議ノ終ルヲ俟チ三十五番ノ廢案說ニ對シテ取決セント云ヘル者是ナリ蓋シ前會ニ於テ三十五番

ノ廢案說已ニ問題ト爲リシモ議論一ニ歸セス遂ニ本官等ノ建議ニ因テ再調査委員ヲ置クニ決セシ以上ハ其說自ラ已ニ消滅ニ屬セリ且ヤ第二讀會ニ在テ一議官動議ヲ發シ他ノ一議官之ヲ賛成セハ以テ議場ノ問題ト爲スハ各位ノ熟知スル所ノ如シ口頭ヲ以テスルト文書ヲ以テスルトノ異ナルモ報告案ハ五名ノ連署セル者ニ係レハ其効力タル問題ト爲スニ餘リ有リ然ルニ若シ三十五番ノ說ニ對シ取決セハ報告案ハ各位ノ參考ニ供セシニ過キサルカ如シ但シ三五番ノ說モ本案ト同シク廢案ヲ望ムニ在レハ孰レニ據テ取決スルモ其結果ハ同一ナレトモ試ニ例セハ其動議ノ修正ヲ望ムニ在リテ而シテ報告案ヲ提出セル者ト爲セハ之ヲ如何ン仍ホ其動議ニ據テ取決ス可シト爲サン乎議事規則ハ言ヲ俟タス慣例ト雖モ未タ曾テ

有ラサル所ナリ但シ原案ハ三號ニ分テルヲ以テ一回ニ取決セハ或ハ混雜ヲ生スルヲ知ル可ラス故ヲ以テ議長ノ之ヲ分チテ取決スルハ聞クヲ得レトモ三十五番ノ說ニ對シテ決ヲ取ルハ解スル能ハス若シ強テ取決センニハ今朝以來內閣委員並ニ反對論者ノ駁難シ本官等ノ辨護セシハ徒勞ニ歸セントス夫レ已ニ報告案ニ對シテ論辨スル有ルヲ觀レハ滿場議官モ報告案ヲ問題視シテ然セルナル可シ然ルモ尙ホ報告案ニ對シテ取決ス可ラサル明確ノ理由アラハ之ヲ東閣ニ付スルモ可ナレトモ此等ノ事例ハ將來ニ關係ヲ及ホス者ナレハ願クハ議長ノ之カ説明ヲ與ヘンコトヲ是レ獨リ本官ノ領解セサルノミナラス各官中ニモ亦同感者アルヲ信スルナリ

出席

三十六番 細川潤次郎

○四十二番長岡護美 敢テ建議ス本官モ二十八番ト同感ナレトモ議長ノ

説明ヲ與フルヤ他ノ議官亦意見ヲ陳ル有レハ遂ニ議場ノ整頓ヲ害
セントス因テ本日ハ閉場センコトヲ望ム

○議長 四十二番ノ建議アレトモ時晷未タ晩カラサルヲ以テ二十八
番ノ質問ニ答ヘン

○四十番三浦安 本官モ二十八番ト同感ナリ議長ノ明示ヲ乞フ

○議長 再調査委員ノ報告案ニ對シテ取決ス可ラサル理由ハ二者ア
リ元來數箇ノ下付原案ニ對シテ同時ニ其存廢ヲ決ス可ラス然ルニ
報告案ハ三案ヲ連帶シテ之ヲ論セリ且ヤ議官中ニモ或ハ其一ヲ廢
シ其一ヲ存セント欲スル無キヲ保セス縱ヒ之レ無キモ第二讀會ニ
三案ヲ合シテ取決スルハ會法ニ悖ル是レ一ノ理由ナリ過刻二十八

番モ陳ル如ク均ク廢案ヲ是認スル議官ト雖モ仍ホ其理由ヲ異ニス
而シテ若シ廢案ニ決セハ議場ニ多數ノ同意ヲ得タル理由ヲ具シテ
上奏セサル可ラス然ルニ本案ニ據テ取決シ若シ之ニ可決セハ廢案
ノ理由ハ此案ニ載スル如シト謂ハサルヲ得ス然レハ則チ各議官ノ
意見ニ反セン是レ一ノ理由ナリ縱令報告案ニ據テ取決セサルモ過
刻以來再調査委員ノ報告シ且ツ辨論セル有レハ其議場ノ公共物タ
ルハ言ヲ待タス且夫レ各位ノ知ル如ク未タ問題ノ決定セサル間ニ
他ノ動議ヲ發スルハ會法ノ許ササル所ナリ前會ニ特別建議ニ因テ
再調査委員ヲ選定セシモ三十五番ノ廢案說ノ其問題ト爲リタル後
チ未タ其決ヲ取ラサレハ既ニ消滅シタル者トハ看ル可ラス況シテ
此報告案ハ問題說ヲ賛成セルト同一ナルヲヤ會法ニハ其明文ナキ

モ建議ノ出ル有レハ先ツ之ヲ決シ而ル後ニ本問題ヲ議スルハ議場ノ整頓ニ緊要ナリトス是レ三十五番ノ問題說ニ對シ取決セントスル所以ニシテ然ク取決スルモ報告案ヲ以テ議場ノ公共物ト爲サストスルノ顧慮ハ要セサル可シ

○二番渡邊 洪基 三十五番ノ廢案說ハ原案ト共ニ再調査委員ニ付託セリ
帝ニ然ルノミナラス本官等ノ意見モ亦併セテ之ニ付託セル者ト信ス然レハ則チ三十五番ノ動議ハ已ニ消滅ニ歸セリト謂フ可シ但シ本日ハ第二讀會ナルヲ以テ各條ニ決ヲ取ルハ當然ナレトモ原來報告案ノ原三案ヲ連帶シテ意見ヲ載セシハ畢竟本官等ノ原三案ヲ連帶シテ付託セシニ出タレハ敢テ之ヲ責ム可ラス今若シ三十五番ノ動議ニ復シテ之ヲ議セハ必ス混雜ヲ生セントス請フ先ツ報告案ノ

採舍ヲ取決センコトヲ

○二十八番笑作 麟祥

議長ノ說明セル原三案ヲ連帶シテ決ヲ取ル可ラストスル第一ノ理由ハ之ヲ領承ス說ノ如ク報告案ハ原三案ヲ連帶シテ可否ノ意見ヲ登載セルニ因リ分離シテ取決スルハ可ナレトモ三十五番ノ提出セル修正說ハ問題ト爲リ本案ハ然ラストスルニ至テハ疑ヒ無キニ非ス且其説明中ニ本案ハ問題說ヲ贊成セル者ト觀ルモ可ナリト云ヘルモ抑モ報告案ヲ提出セルハ三十五番ノ動議ヲ贊成スル旨趣ニ出タルニ非ス本官等ハ原三案ニ對スル廢棄修正ノ全權ヲ各官ヨリ付託サレタルニ由ル且若シ三十五番ノ動議ヲ仍ホ存立スル者ト爲セハ議場ニ二個ノ問題ノ存立スルニ似タリ今試ニ其動議ノ修正說ナルニ本案ヲ提出セル者トセハ之ヲ如何ン尙ホ問題

説ハ存立スト云フ乎此ノ如キハ萬モ其理ナキヲ信ス又今朝以來報告案ニ關シテ辨論ヲ經タレハ其已ニ議場ノ公共物タルハ言ヲ待タスト云フモ三十五番ノ動議ニ據テ取決セハ報告案ハ公共物ト爲ラスシテ唯是レ參考書タルニ過キス蓋シ此點ニ關シテハ四十番二番モ同感ナルカ如シ要スルニ此一事タル議事規則ニ重大ノ關係アルヲ以テ議長ノ再諭ヲ煩スモ若シ仍ホ甘服セサル議官アラシニハ必ス混雜ヲ生ス可シ因テ此ニ報告案ト三十五番ノ廢案説ト其孰レヲ問題ト爲シテ論ス可キ歟ヲ起立ニ問ハンコトヲ建議ス

○二番 渡邊 洪基 報告案ハ其問題ト爲スヤ否ヤノ取決以前ニ在ルニ因リ二十八番ノ建議ノ如クスルハ支障ヲ致サン故ニ三十五番ノ廢案説ハ消滅セリト看ル可キヤ否ヤノ決ヲ取ンコトヲ望ム

退席

三十二番

鷺尾 隆聚

○議長 二十八番ノ意見モ一理ナキニ非ス然ルニ本席ノ二十八番等ト意見ヲ異ニスルハ特別建議ニ因テ付託委員ヲ置ケルトキ現問題ノ之カ爲メニ消滅ニ歸シタルヤ否ヤト云フノ一點ニ過キス而シテ此一點ニ關シ直ニ衆議官ノ意見ヲ問フモ可ナレトモ是レ會法ノ大體ニ係レハ本席モ尙ホ熟考ヲ加ヘテ更ニ意見ヲ陳ントス又前キニ本席ノ陳辨セルハ報告案ヲ舍テ三十五番ノ廢案説ニ據ル可シト云フノ旨趣ニ非ス直ニ報告案ニ據テ決ヲ取ル可ラサルヲ告ケタルノミ且告ク前陳ノ理由ナルヲ以テ前問題ノ消滅セルヤ如何ハ暫ク之ヲ措キ更ニ便法ヲ以テ原第一案ニ據リ取舍ヲ決セン

○二番 渡邊 洪基 只今議長ノ演告スル如クセハ原第一案ニ對シテ更ニ廢

○棄ナリ修正ナリ一ノ動議ヲ發シ其賛成者ヲ得タル後ニ非サレハ問題ト爲ス可ラサルニ似タリ敢テ議長ノ明諭ヲ煩ハス

○議長 前ニ三十五番ノ廢案說出テ又再調査委員ノ報告案出タルナレハ原第一案ニ對シテ取決スルモ可ナラン

○二十八番 箕作麟祥 只今議長ノ演告セルハ三十五番ノ動議ヲ廢消シ報告案ノ可否ヲ決セント云フニ在ルヤ

○議長 特別建議ヲ以テ付託委員ヲ選定セル時ニ於テ現問題ノ消滅ニ歸シタルヤ否ヤヲ取決スルヲ罷メ更ニ便法ヲ用ヒテ原第一案ニ據テ取決セントスルナリ

○四十番 三浦安 三案連帶ノ報告案ヲ以テ一併ニ取決セサルハ之ヲ領承ス蓋シ一條ヲ分離シテ取決シ或ハ數條ヲ連帶シテ取決スル如キ

是レ議長ノ權内ニ在ルヲ以テ此點ニ關シテハ素ヨリ異議ヲ容レス然ルニ三十五番ノ動議ノ存廢ヲ決セス本官等ノ提出セル報告案ヲ措閣シ而シテ原案ニ據テ取決スルトキハ議長自ラ問題ヲ發シテ取決スルニ類シ假令便法ト云フモ紛議ヲ免レサラン故ヲ以テ本官ハ付託委員ヲ置ケル時ニ於テ問題說ノ消滅ニ歸セルヤ否ヤヲ取決スルヲ必要ナリト信ス議長ハ特別建議云云ト演告セルモ付託委員ヲ選定セル以上ハ特別建議ハ既ニ其終局ヲ告タリ然レハ則チ爾來ハ惟タ内閣下付原案ノ存スルノミ是ヲ以テ付託委員ハ原案ヲ目的ト爲シテ報告案ヲ作り各議官モ原案ニ對スル意見ヲ委員ニ通知スルニ止マレリ到底付託委員ヲ置ケル以上ハ總テ最前ト面目ヲ易タルナリ故ニ其便法ニハ甘服スル能ハス本官ハ既ニ反對論者ニ對シテ

反駁セント欲セシモ中間議事法ニ關シテ此ノ如キ紛議ヲ發シタルニ因リ已ムヲ得ス一言スルコト爾リ

○議長 付託委員ヲ置ケル爲メニ問題說ノ消滅ニ歸セル者ト爲セハ同一事項ヲ再議ニ付スルノ失體ヲ致サン故ニ本席ニ在テハ三十五番ノ動議モ尙ホ存立スト思惟ス蓋シ是レ會法ニ涉リ頗ル緊要事項ナルヲ以テ尙ホ熟考ヲ加ヘント欲スルナリ故ニ本日ハ一時ノ便法ヲ以テ取決スルヲ可トス

退席

二十四番

大鳥 圭介

○三十番 柴原和 嘗テ土地欺隱處分ノ法案ヲ議スル時ニ調査委員ヲ選定シ爲メニ前決議ヲモ變更セル成例アリ其他ノ慣例ニ從フモ三十五番ノ動議ハ存立セサル者トス因テ議長ノ之ヲ廢消ニ付シ去ンコ

トヲ望ム

○三十五番 鍋島直彬 本案ハ人民ノ利害ニ密接ノ關係ヲ有スルヲ以テ急施ヲ要スルニ拘ラス數十日ヲ閱シテ仍ホ決議ニ至ラサルハ固ヨリ已ムヲ得サレトモ今日午後ノ會議ハ議事規則ニ係ル辨說ノミニシテ毫モ本論ニ入ラス然ルニ其議事ノ例ヲ將來ニ及ホス有ルヲ以テ議長ノ更ニ考慮セル後ニ之ヲ決セントスルハ一理アルモ若シ之ヲ措キテ他ニ決ヲ取ルトキハ恐クハ紛雜ヲ生セン本日ハ時晷既ニ午後ノ三點ニ達シタレハ此ニ閉場シ詳細ニ議事規則ヲ調査セル後ニ更ニ開場スルヲ可トス因テ之ヲ建議ス

○七番 宮本一 本官モ三十五番ト同感ナリ

○議長 會則ノ論辨ノ爲メニ議事ヲ遷延スルハ恐クハ内閣ニ對シテ

○失體ニ涉ラン因テ便法ヲ用ヒント欲シタルナリ然レトモ四十二番
ノ閉場セント建議スル有ルヲ以テ之カ決ヲ取ン此建議ニ同意スル
者ハ起立セヨ

起立者十七人

○議長 多數ナルヲ以テ本日ハ此ニ閉場シ明日例刻ヨリ續會ヲ開カ
ン各位散會セヨ

午後第三時十三分閉場

元老院會議筆記明治十七年三月二十二日

禁傍聽

○第四百二十八號議案 地方稅規則第三條第二讀會 三月二十一
日ノ續會

○第四百二十九號議案 區町村會法 同

○第四百三十號議案 區町村費規則制定ノ儀 同

議長 佐野
常民

出席議員

二番 渡邊 洪基

四番 本田 親雄

七番 官本 小一

八番 井田 讓

九番 神田 孝平

十一番 楠本 正隆

十二番 榎村 正直

十三番 大久保一翁

十四番 田邊 太一

十九番 河田 景與

二十番 林 友幸

二十四番 大鳥 圭介

二十五番 西村 貞陽

二十七番 渡邊 清

二十八番 箕作 麟祥

三十番 柴原 和

元未湖會編年所...

三十一番 上杉 茂憲

三十三番 關口 隆吉

三十六番 細川潤次郎

三十七番 津田 真道

三十九番 伊集院兼寛

四十番 三浦 安

四十一番 西 周

四十二番 長岡 護美

內閣委員 外 參事院議官安場 保和

外 參事院議官補牧 朴真

外 參事院員外議官補白根 專一

午前第十時開場

○議長 本日ハ三議案第二讀會ノ續會ヲ開ク昨日本席ヨリ再調査委員ノ報告案ハ通常ノ報告案ト異ナルヲ以テ之ニ據テ取決セサル可キヲ告ケ且其問題案如何ニ關シ各議官ト意見ヲ異ニシ遂ニ散會セシニ爾來熟考スルニ二十八番四十番等ノ云ヘル如ク報告案ヲ區別シテ取決ス可ヲサルニ非ス然ルニ昨日本席ノ之ヲ否ト爲セシハ下付原案ハ既ニ三箇ニ分レ其通牒文等モ殊ナルニ報告案ハ一括シテ廢棄ノ理由ヲ載セタルト第二讀會ハ逐條議ニ係ルノ正則ナルトヲ以テナリ然レトモ前陳ノ如ク之ヲ區別シテ取決スルヲ得ル以上ハ昨日ノ演告ヲ取消シ報告案ニ據テ取決セントス然レハ則チ再調査委員ノ報告案ハ参考書ニ類スト云ヘル里慮モ消滅ニ歸ス可シ元來

下付原案ハ殊ニ緊要事件ニ係ルヲ以テ議論百出シ爲メニ數回調査委員ヲ選定スルニ至レリ蓋シ調査委員ヲ置クハ法案ニ就テ其慣例ト現況トヲ稽查セサレハ問題ノ可否ヲ斷スル能ハサルカ如キ場合ニ在リ要スルニ是レ其報告案ヲ材料ト爲シテ以テ前問題ノ可否ヲ判スルカ爲メナリ然ルニ前日三十五番ノ廢案說問題ニ上レル時ニ際シ再調査委員ヲ選定セルニ因リ各官之ヲ以テ當時ノ問題ハ既ニ消滅ニ歸シタル者ト認メリ然ルニ本席ニ於テハ是レ少シク會則ニ違フカ如ク思フモ各官ノ意見ニ從フテ大ナル障碍ヲ見サル可シ又本席ノ昨日原案ニ據テ決ヲ取ント云ヘルニ對シ四十番ハ未タ問題ト爲ラサルニ取決スルハ失體ナリト云ヘリ原來第一讀會ハ議案ノ全部ヲ朗讀スルヲ以テ其全部ヲ問題ト爲シ第二讀會ハ逐條ニ朗讀

スルヲ以テ逐條ヲ問題ト爲ス而シテ之ニ對シ廢棄若クハ修正ノ動議ヲ發スル無レハ直ニ其可否ヲ起立ニ問フ是レ各官ノ熟知スル所ナリ故ニ昨日便法ヲ以テ原第一案ニ據テ取決セント云シハ未タ問題ト爲ラサルニ取決スルヲ指シテ便法ト謂シニ非ス各官若シ本席即今ノ此演告ニ對シ異議ヲ存セサレハ昨日ノ演告ヲ收銷シ更ニ報告案ニ據テ可否ヲ決セントス

○三十番柴原和

報告案ノ問題ト爲リシハ本官ノ大ニ満足スル所ナリ

然ルニ更ニ一疑義ヲ生スル有リ此三案ハ第一讀會ノ初ニ當リ二番ノ建議ニ由テ連帶シテ之ヲ議スルニ決シ而シテ前會ニ三十五番ノ廢案說正サニ問題ニ在ルニ際シ二十八番ノ建議ニ由テ再調査委員ヲ選定シ以テ之ニ三案ヲ付託スルコトトナレリ然レハ則チ三十五

番ノ廢案說ハ此時ニ於テ消滅シ三案ノ連帶ハ此時ニ於テモ亦行ハレタルヤ知ル可シ再調査委員ノ三案ヲ連帶シテ其意見ヲ報告セシモ蓋シ是カ爲メナラシ然ルニ議長若シ更ニ便法ヲ用ヒ報告案ヲ區別シテ取決セントナラハ是レ格別ニ屬スルモ各官中例ハ原第一案ハ之ヲ存シ第二案第三案ハ之ヲ廢セントスル如キ有ラハ先ツ其意見ヲ豫陳シ以テ報告案ノ否決ヲ待サル可ラス然ルニ只今議長ノ原第一案ハ前キニ書記官ノ朗讀ヲ經タルヲ以テ之ヲ問題ト看ルト云フモ是レ或ハ議事規則ニ悖ル無ラン乎敢テ説明ヲ煩サン

○議長 三十番ハ少シク本席ノ演告ヲ誤解セリ只今本席ノ書記官朗讀ト云云セシハ通常ノ場合ヲ謂フノミ尙ホ各官ニ一言セン抑モ此報告案ニ載ル廢棄ノ理由ハ即チ再調査委員ノ所見ニ係ル然ルニ昨

日二十八番ノ云ヘル如ク廢案論者中ニモ必ス多少意見ヲ異ニスル有ラン故ニ報告案ニ據テ決ヲ取り若シ之ニ可決セハ報告案ノ理由ト廢棄ノ理由ヲ異ニスル者アル可キヲ以テ其廢棄主義ノ爲メニ報告案ニ起立セシ議官ハ其意見ヲ記シテ本席ニ提出センコトヲ望ム是レ上奏ノ理由ヲ具スルニ要用ナルヲ以テナリ

○二十八番箕作麟祥 本官向キニ取決法ニ關シ議長ニ質疑セシカ今朝ニ至リ報告案ヲ三分シテ取決セントスル演告ヲ得テ疑義稍ク氷解セリ昨日以來議事法ノ論辨ニ許多ノ時間ヲ費シ報告案ノ可否ニ至テハ仍ホ未タ其論議ヲ盡サス是ヲ以テ四十番モ報告案ニ關シ尙ホ大ニ論議スル有ント云ヒ本官モ或ハ發言ス可シ然ルニ只今議長ノ演告中ニ原案廢棄ニ決スルモ廢案論者中報告案ト其理由ヲ異ニスル

有ラハ其意見ヲ記シテ議長席ニ提出セヨト云ヘリ說ノ如ク意見ヲ具シテ提出スルモ可ナレトモ會議筆記ノ在ル有レハ各其意見ヲ議場ニ陳フルノミニシテ別ニ意見ヲ具シテ提出セサルモ可ナラン故ヲ以テ此一事ハ各官ノ隨意ニ付シ其他ハ總テ演告ノ如クシ以テ速ニ本論ニ移ンコトヲ望ム

○議長 是レ本席ノ言ノ足ラサリシノ、必シモ書面ニ具スルニ限ラヌ議場ニ在テ發言スルモ素ヨリ不可ナル無シ

○四十番三浦安 取決ノ順叙ニ關シ本官モ昨日疑義ヲ陳ヘシニ今日議長ノ演告ニ因テ全ク了會シタリ本官ハ再付託調査委員ノ一人ナルヲ以テ反對論者ニ對シ一言セントス抑モ報告案ノ理由ハ未タ之ヲ悉ササルモ已ニ其大略ヲ明セシ如ク末文「抑」以下ノ一段ハ全體ニ

係ル意見ヲ括言セル者トス然ルニ二十七番ハ之ヲ指シテ内閣ニ對シ敬禮ヲ失スト難セリ本官等ハ原案ノ廢棄ヲ望ムニ切ナルヲ以テ其記述スル所ノ或ハ過激ニ涉ル無キヲ保セサルモ謂ラク敢テ敬禮ヲ失スル無シト其「法律ノ體裁ヲ整頓センカ爲メ」云云トハ下付原案ノ如キヲ指スノミ昨日番外二番ハ原案ノ頒布ヲ要スル所以ヲ説キ現行區町村會法第一第二第三第八條ヲ改正スルヲ原案ノ骨子ト爲スコトヲ論セリ是ニ由テ之ヲ觀ルモ其他ハ便次ニ改正ヲ加フル者タルヤ知ル可シ是レ「屢現行ノ法令ヲ廢シ」云云ト論スル所以ナリ蓋シ百般ノ事物ハ率ネ大政維新ノ前後ヲ以テ區畫ヲ立ル如キ政體ノ變更ニ遭遇シタレハ法令ヲ改廢スルモ亦已ムヲ得サレトモ一旦改正ヲ經タル以上ハ萬モ已ムヲ得サル者ノ外ハ務メテ變更セサ

ルヲ善シトス看ヨ府縣會規則ノ如キ全部ヲ改正セハ尤モ可ナルモ十四年十五年共ニ惟タ支障アル條項ノミヲ改正スルノミニシテ其全部ニ及ホササリシコトヲ是レ一旦制定セル者ハ苟モ輕易ニ變更セサル主義ニ出タルナリ其レ然リ區町村會法等モ亦宜ク唯タ支障アル條項ヲ改正スルノミニ止ムヘシ然ルヲ原案ノ如ク他ノ點ヲモ括合シテ新法令ヲ作ルヤ「屢現行ノ法令ヲ廢シ」云云ト論スルモ恐ラク過言ニ非サラン苟クモ此一段ヲ載スルヲ以テ内閣ニ對シ敬禮ヲ失スト謂フハ誣ルニ非サル無キヲ得ンヤ番外二番ハ再調査委員ノ現行區町村會法第一第二第三第八條ノ改正ヲ是認シ而シテ却テ原案廢棄ヲ唱フルハ解ス可ラスト云フモ其宜ク改正スヘキ條項ヲ改正スルハ本官等モ啻ニ之ヲ非視セサルノミナラス却テ之ヲ希望

スルナリ到底本官等ノ原案ヲ非視スル要點ハ改正ヲ要セサル條項ヲモ便次ニ改正スルヲ不可ナリト爲スニ在リ譬へハ原案ハ舊家屋ヲ毀撤シ少シク故材ヲ用フルモ新家屋ヲ構造セント爲シ本官等ハ舊家屋ニ修繕ヲ加ヘテ足レリト云フニ在リテ根元相同シカラス因テ寧ロ原案ヲ棄却シテ內閣ノ再考ヲ請ハント欲スルノミ決シテ漫然ニ廢棄ヲ唱フルニ非サルナリ又本案ニハ記載セサルモ本官ノ思考スル所ヲ以テスレハ區町村會法ヲシテ府縣會規則ノ如ク堂堂タル体格ヲ具セシムルハ今日尙ホ早シトス或ハ町村ハ施政ノ根本ナリ其根本立サレハ庶事成ラス故ニ區町村會ハ施政ノ根本視セサル可ラスト云ハンモ各位ノ知ル如ク各國共ニ其建國ノ體制ヲ異ニス歐米各國ハ概シテ下タル人民ヨリ事ヲ創メ先ツ村邑州等ヲ調整シ

テ而ル後チ上タル中央政府ニ及ホスモ我カ日本ハ之ニ反シ太政官省院府縣郡區役所戸長役場ト順次ニ上ヨリ下ニ及ホス國體ナレハ議會ノ如キ亦以テ區町村會ヲ根本ナリト謂フ可ラス然ルニ今日區町村會法ヲ府縣會規則ト同一ナル者ト爲サハ恐クハ嚴格ニ失セン今夫レ區町村內ノ老實者ニシテ西洋服ヲ披キ若クハ羽織袴ヲ着ケテ椅子ニ倚リ事ヲ議スル如キハ概シテ之ヲ好マス故ニ區町村會場ハ專ラ白面書生ノ集合所ト爲ラントス是ニ於テカ區町村ノ慣習利害ノ如何ヲ論スルヲ後ニシ徒ラニ議論ノ勝敗ヲ爭フニ至ル可シ蓋シ是等ノ弊患ハ堂堂タル議會ト雖モ或ハ之レ無キヲ免レス況シテ地方區町村ノ議會ニ於テヲヤ凡ソ區町村會ノ議事ハ動モスレハ體面ヲ張リテ實益ヲ後ニスル弊患ヲ生ス故ヲ以テ政府モ此ニ見ル有

リシカ區町村會法ハ十三年ノ創定ニ係リ其條項中未タ完備セサル者アルモ仍ホ之ヲ存シ以テ今日ニ及ヘリ若シ其法則ノ寬ニ過キ爲メニ國安ヲ害スル等ノ事實アラハ宜ク特ニ其闕漏ヲ補フテ以テ之ヲ防制スヘキノミ反對論者ナル十二番モ既ニ云フ今日地方議會ニ在テハ老實者ハ少年輩ノ爲メニ蹂躪セラルルノ傾キ有リト其レ然リ豈深ク戒慎セサル可ンヤ然ルニ原案ヲ發スルトキハ益ス其弊ヲ長スルヤ必セリ今試ミニ區町村會ノ爲メニ消費セル金額ヲ稽查スルニ十三年ニハ全國ヲ合セテ三拾六萬圓ナリ爾來其費額ノ年年ニ多キヲ加フルモ之ヲ減セサルヤ疑ヒ無シ然ルニ原案ノ如キ堂堂タル會法ヲ作り之ニ據テ會議ヲ開カハ其費額ハ百萬圓ニモ達ス可シ縱令此巨額ニ上ホルモ爲メニ大益ノ存スル有レハ可ナリ然ルモ恐

クハ之レ無ラン今日未タ町村會ヲ開カサル地方アルモ法律ノ認許スル時ナルニ其之ヲ開クヤ此ノ如キ堂堂タル會法ニ據ラシメントスルハ早計ニ失セスヤ且夫レ協議ノ一事ハ古來ノ慣習ニ由來シ甚タ緊要ナル者ナレハ此名義ハ務メテ之ヲ存セサル可ラス反對論者ハ協議會ト云ハハ町村鎮守神社ノ祭典費ヲモ議スル有リト云フモ是等ハ府知事縣令郡區長戶長等說諭シテ之ヲ停止セハ可ナリ番外ニ番ハ報告案ヲ指シテ漫ニ廢案ヲ主張スル者ノ如ク云ヘルヲ以テ本官一己ノ思想ヲ陳ヘテ之ニ答ヘ併セテ其他ノ反對論ヲ駁スルコト爾リ

○番三番白根
外三番專一

第一讀會以來原案可否ノ議論頻紛タリ內閣委員モ原案ヲ維持スル爲メニ交モ論辨ヲ試ミタレハ今復タ喋喋ヲ要セサル

モ只今四十番ノ言ヲ聽クニ番外二番ノ昨日ノ陳述ヲ誤領セルニ似
 タリ因テ番外二番ニ代テ之ヲ辨明シ併セテ少シク陳述スル有ント
 ス番外二番ノ論旨ハ之ヲ要スルニ現行區町村會法第一第二第三第
 八ノ各條ノ改正ハ原案ノ大主眼ニシテ其他ハ較ヤ緊要ナラサルモ
 是等ノ各條ト關係ヲ有スレハ隨テ改正ヲ要スト云フニ在リ決シテ
 便次ニ改正ヲ加ヘントスルニ非ス又四十番ハ報告案ノ末文ナル「抑」
 以下ノ文字ニ關シ縷縷辨解セリ其內閣ニ對シ敬禮ヲ欠ケルヤ否ヤ
 ハ人人ノ思想ニ委シ本員ハ敢テ之ヲ非視セサルナリ又四十番ハ番
 外二番ノ昨日再調査委員ノ原案ノ旨趣ヲ是認シ而シテ却テ廢棄ヲ
 唱フルヲ批難セルニ對シ家屋構造ノ譬諭ヲ引テ其廢案說ヲ唱フル
 理由ヲ辨解セリ若シ原案ハ新木材ヲ以テ家屋ヲ構造スル類ナラン

ニハ四十番ノ云ヘル如クナル可キモ其以テ調査委員ノ意見ト異ナ
 ル所ハ惟タ修繕ニ大小ノ差異アル如クナルノミ夫レ議案ノ外ニ涉
 リテ修正ヲ施スハ元老院ノ權限ニ屬セサルモ例ヘハ百條ノ議案ヲ
 約メテ一條ト爲ス如キハ敢テ能ハサルニ非サラン是ニ由テ之ヲ推
 セハ番外二番ノ論辨モ敢テ失當ナリト謂フ可ラス又區町村會法ヲ
 改正シテ嚴格ニ歸セシムレハ將來大ニ本會ノ費目ヲ増加セント云
 フモ畢竟冗費ヲ要スルハ規則ノ完備ナラサルニ由ル苟モ其完備ナ
 ラサルトキハ彼ノ一事件ヲ議スルニ九十餘日ヲ費セシ如キ弊害ヲ
 防制シ隨テ冗費ヲ省クニ至ル可シ故ニ本員ハ四十番ト反對ノ思想
 ヲ懷クナリ昨日二十八番ノ言ニ三十五番ノ動議モ本案ト同意ナレ
 ハ孰レニ據テ取決スルモ其實ハ異ナラスト雖モ會則上必ス本案ニ

據ラサル可ラスト云ヘリ説ノ如ク會則ハ重ンス可キ者ナレハ其當否ニ關シテ昨日ヨリ今日マテ頻頻議論アリシハ恠シムニ足ラス之ニ反シテ町村會ノ徒ラニ時日ヲ費スハ議員ノ日當行厨料ヲ得ル如キ些些タル利益ヲ貪ル歟若クハ爲メニ自家ノ營業時間ヲ闕クヲ厭ヒ會日ニ參集セサル等ノ事故ニ原由ス是レ宜ク費スヘキ時日ヲ費スニ非スシテ宜ク費スヘカラサル時日ヲ費シ隨テ費用ノ金額ヲ加フルニ至ル今若シ會法ヲ完備ナラシムレハ決シテ費用ヲ加フル憂ヒ無キナリ又四十番ハ本邦ハ外國ト國體ヲ異ニスルヲ以テ百般ノ施政ハ上ヨリ下ニ及ホスト云ヘリ其レ然リ然ルモ此カ爲メニ町村會ハ整頓セサルモ可ナリト謂フカ府縣會規則ノ如キモ種種ノ支障ヲ生セシヲ以テ先年之ヲ改正セリ區町村會法ト雖モ亦其支障ヲ生

スル以上ハ必ス之ヲ改正セサル可ラスト從前ハ各町村ニ五人組ナル者アリテ今日ニ比スレハ一層干涉ヲ事トセリ豈專ラ任放ニ付スルヲ以テ我カ建國法ニ適ヘリト謂ハンヤ又報告案ノ首段ニ「近來戶長ノ職務云云法律ノ制定ヲ以テ數町村ヲ聯合シ其聯合町村ノ費用ヲ以テ戶長ノ給料ヲ厚クセントスト」ト掲ケ恰モ本員等ノ此ノ如キ説明ヲ爲セシ者ニ似タルモ是レ決シテ然ラス況シテ法律ヲ制定シテ數町村ヲ聯合スルニ非サルコトハ前日二十八番ニ對シテ辨述セル如クナルヲヤ又其聯合町村ノ費用ヲ以テ戶長ノ給料ヲ厚クスル理由モ亦決シテ之レ無シ到底此一段ハ百讀千考スルモ其意ヲ解スル能ハス請フ各官ノ此文段ヲ以テ本員等ノ辨明ニ出ルト爲ス無ランコトヲ

○二十八番 箕作麟祥

本官ハ第一讀會以來數次廢案論ヲ唱へ過刻四十番モ亦其廢案論旨ヲ詳陳セルヲ以テ沈黙ヲ守ント欲セシモ只今番外三番ノ言ニ關シ一辨セサルヲ得サルニ至レリ番外三番ハ昨日日本官ノ陳辨中三十五番ノ廢案說モ本案ト同意ナレハ孰レニ據テ取決スルモ其實ハ異ナラスト雖モ會則上必ス本案ニ據ラサル可ラスト云ヘルニ關シ巧ニ辨ヲ舞シテ以テ費用ノ點ニ對シ四十番ヲ駁セルニ似タルモ昨日取決ニ關シ本官ノ云云セシハ畢竟會則ニ關係スルニ由ル原來本院ノ會議ト雖モ尙ホ商議會ヲ可トスル無キニ非ス然リ而モ堂堂タル中央議法院ニシテ商議會ヲ爲スノ失体ナルカ故ニ已ムヲ得ス議事規則ヲ設ケ一タヒ消滅セル動議ハ再ヒ提出スルヲ許サス第三讀會ニ發言ノ回數ヲ制限セル等ノ種種ノ檢束ヲ設ケリ凡

ソ商議會ニハ十分ニ思想ヲ吐露スルヲ得ルモ規律ノ整然タル會場ニ立テハ發言ヲ難ンスル如キハ蓋シ世間ニ其人少ナシトセス田舎人ニ在テハ殊ニ多ク此弊ヲ見ル但シ本院ノ如キハ已ムヲ得スト爲スモ區町村會ニ堂堂ノ會則ヲ設ケ嚴格ナル議事ヲ開クハ本官輩ノ甚タ取ラサル所トス今若シ嚴格ナル會法ヲ布クヤ町村會ニ在テハ白面書生三百代言人ノ徒ノミ喋喋トシテ暴論ヲ吐キ老實者ハ口ヲ箝シテ言フ無キニ至ル可シ又番外三番ハ報告案ノ首段ニ對シ百讀千考スルモ其意ヲ解セスト云ヘリ說ノ如ク數町村ヲ聯合スルコトハ法文ニ之ヲ掲クル無キモ輓近ハ戶長其人ニ非サル者尤モ多シ故ニ其員數ヲ減シテ其給料ヲ厚クシ以テ適當ノ人物ヲ得ントスルハ參考書ニ載スル所ナリ且ヤ町村聯合ノコトハ前日内閣委員ノ之ヲ

明言セルヲ覺フ思フニ是レ利害何如ニ關セス町村ヲ聯合スルニハ非サル可キモ今ヤ戸長ノ給料ヲ厚クシ適當ノ人物ヲ得ントスル目的ヲ定メ而シテ其金額ハ若シ之ヲ國庫及ヒ地方稅ニ取ルニ非サル以上ハ町村聯合會ヲ措キテ他ニ方途ノ存スル無カル可シ然レハ則チ自然ニ其聯合ヲ促スヤ必セリ蓋シ前日ト雖モ町村ヲ聯合スル無キニ非サルハ果シテ某議官ノ云ヘル如クナル可キモ是レ行政官ト區町村ト相議シテ此ニ至リシナラン然ルニ原案ハ間接ニ聯合ヲ命スル者ニシテ之ヲ發スル以上ハ勢ヒ必ス聯合ヲ促サントス是ヲ以テ此一段ヲ載セタリ決シテ妄想ニ出タルニ非ス但シ行文ノ拙劣ナルハ謹テ之ヲ謝スルノミ百讀千考スルモ其意ヲ解セスト云フニ至テハ本官敢テ默聽ニ付スル能ハス因テ聊カ之ヲ辨ス

○番一安場保和

過日以來原案ニ關シ頻頻ニ議論ヲ生シ而シテ其頒布ヲ要スル理由ハ本官等既ニ詳陳セルヲ以テ可否ハ衆議ノ決スル所ニ從ハント欲セシモ番外三番ノ四十番ニ對スル原案維持說ニ關シ只今二十八番ノ駁論ヲ聽クニ本官等ノ辨明ノ未タ足ラサル有ルヲ感スルヲ以テ尙ホ一言セン二十八番ハ云フ原案中ニ法律ヲ以テ數町村ヲ聯合スル明文ヲ掲ル無キモ其旨趣ノ此ニ存スルハ內閣委員ノ陳辨及ヒ參考書ニ於テ之ヲ知ルト然ルニ番外三番ノ旨意ハ想フニ法律ヲ制定シテ以テ數町村ヲ聯合シ戸長ノ給料ヲ厚クスル等ハ原案ノ本旨ニ非スト云フニ在ル可シ抑モ原第一案ハ明カニ地方稅ト町村費トノ區域ヲ示シテ以テ將來ノ紛議ヲ防キ戸長ノ管轄スル行政區域ヲ確定セントスル精神ニ成リ決シテ郡區町村ノ編成法ヲ

改正スルニ非ス然ルニ報告案ノ首段ニ云云セル所ハ解ス可ラス是レ原第一案ノ裏面ナル大臣ノ達書ニ町村ヲ聯合スト云ヘル説明ニ原因セルナランモ法律ノ制定ヲ以テ數町村ヲ聯合スト言フハ當ラス是レ蓋シ番外三番ノ百讀千考スルモ解スル能ハスト云フ所以ナラン又原案ノ大主眼ハ現行區町村會法第一第二第三第八ノ各條ヲ改正シ土木費ノ外ナル協議費ト雖モ其怠納者ヲ公賣處分ニ付セントスルニ在リ此點ニ關シテハ再調査委員モ既ニ同意ナリト云ヒ而シテ却テ原案ヲ指シテ嚴格ニ過ルト爲シ以テ廢案ヲ唱フルモ原來其大主眼ハ前陳ノ如ク其他ノ條項ハ此目的ヲ達スル爲メニ隨テ要用ナリトス然レトモ衆議以テ此他ノ條項ヲ改正スルハ要用ナラスト爲スナラハ宜ク修正ヲ加フヘシ内閣ハ此ノ如ク改正セサレハ

實際ニ弊害ヲ矯救スルニ足ラスト爲シテ然ルノミ然ルニ再調査委員ノ仍ホ廢案ヲ唱フルハ獨リ番外二番ノミナラス本官ニ在テモ亦其故ヲ解スルニ困シム是レ或ハ當初本官等ノ辨明ノ足ラサルヨリ原案ハ從來ノ慣習ト人民ノ困難トノ如何ヲ顧ミス一概ニ地方官ノ便宜ヲ圖ル者トスル感覺ノ早ク反對論者ノ心意ヲ確メタルニ由ナラン即チ本官等交モ其然ラサルヲ辨セシモ賢明議官ノ猶ホ或ハ先入主ト爲リ原案ノ旨趣ノ徹底セス以テ嘖嘖ノ駁論ヲ來セシニ非サルヲ得ンヤ今日ハ公共ノ費用モ協議費ノ名義ヲ冒スヲ以テ往往ニ怠納スル者アリ爲メニ公共事務ニ障礙ヲ生シ而シテ一方ヲ顧ミレハ土木費ノ怠納者ハ十年第七十九號布告ニ據テ公賣處分ニ付スルヲ得ルノ制裁ヲ立ツ均ク是レ町村全體ニ關スル費用ニシテ彼此其

制裁ヲ異ニスルハ權衡ヲ得タリト謂フ可ラス故ニ公共ノ費用ハ町村費トシテ之ヲ徵收シ町村内ノ鎮守神社ノ祭典費等眞ニ協議費ノ性質ニ係ル者ハ仍ホ之ヲ町村ノ協議ニ委セントス是レ町村費規則ノ制定ヲ要スル所以ナリ其他皆是レ今日ノ弊害ヲ矯救スルニ必要ナル改正ニ出ルノミ既ニ原案ノ大體ニ同意セル各位ナレハ其果シテ有要ナルヤ否ヤヲ再考センコトヲ切望ス

○三十番

柴原和

本官ノ過刻議長ノ演告ニ對シ異議ヲ容レタルハ本ト誤聽ニ出ツ因テ復タ贅セス本官ハ前キニ全部付託調査委員ノ選ニ當リ報告案ヲ提出セシニ其報告案ハ衆議官ノ斥クル所ト爲リ再ヒ調査委員ヲ選フニ至レリ回顧スレハ第一讀會ニモ陳述シタル如ク原案ハ大ニ疵病ヲ含メリ因テ本官等ハ前日殆ント廢案ニ近キ修正

ヲ加ヘテ之ヲ報告セシニ二十八番等ハ之ヲ駁シテ聊カ嚴格ヲ紓ヘタルニ過キス尙ホ一層之ヲ簡易ニシ以テ寛和ヲ得セシメサル可ラスト云ヘリ因テ二十八番ノ再調査委員ニ當選セルヲ以テ必ス其言ノ如キ好修正ノ出ル有ル可シト思考セシニ何ソ料ラン廢棄說ヲ報告セントハ本官ハ寧ろ原案ニ復リテ寛和ノ修正ヲ試ミ結局其意ヲ達スル能ハサレハ是ニ於テ廢棄ヲ唱フルモ亦未タ晚カラスト信ス故ヲ以テ本官ハ再報告案ニ對シテハ終始同意ヲ表セサルナリ

○十二番 榎村正直 既ニ沈黙ヲ守ント欲セシモ四十番ノ陳辨ニ對シ一言セサルヲ得ス四十番ハ若シ原案ノ行ハルルトキハ將來町村會ノ議場ニ立テ口ヲ開ク者ハ青年書生ノミ老實者ハ概シテ籍默言フ無キニ至リ隨テ慣習美俗ヲ破壊ス可シト云フモ見ニ町村會ノ景況ヲ觀

ルニ喋辨者ハ老成人ニ少ナク書生輩ニ多キヲ以テ町村會ニハ未丁年者ヲ舉テ議員ト爲ス者往往ニ之レ有リ隨テ町村ノ慣習美俗ヲ破壊スル等ノ弊害ヲ見ル是レ町村會法ノ府縣會規則ト異ニシテ從來其制限ヲ設ケサルニ職由ス故ニ四十番ノ將來ニ憂慮スル者ハ却テ見ニ今日ニ存在ス又四十番ハ町村會法ハ前年ニ頒布セルモ尙ホ未タ本會ヲ開設セサル地方アルニ非スヤト云フモ現行法ハ本會ヲ開カサレハ此ノ如クス可シトスル明文ノ存スル無キヲ以テ故ニ然ルノミ若シ能ク原案ヲ發セハ第十一條ノ制規ニ照シテ以テ各地方町村悉ク之ヲ開クニ至ラン又原第二案

○議長 十二番ニ告ク原第二案ニ關スル論辨ハ見問題即チ原第一案ノ可否ヲ決シ而ル後ニ之ヲ陳ルモ未タ晚カラス然ルモ尙ホ連帶シ

テ論及セサル可ラスト爲ス乎

○十二番 榎村正直 原第二案ニ關シテ論辨スルハ本官ニ始マルニ非ス本

官ハ四十番ノ論辨ニ原キ連帶シテ之ヲ排駁セサレハ盡ササルヲ以

○テ然スルナリ仍ホ之ヲモ許ササルヤ

○議長 可ナリ

○十二番 榎村正直 又原第二案ニ關シ四十番ハ協議費ナル名義ハ緊要ナ

リ存セサル可ラスト云フモ十年第七十九號布告ニ據テ處分スル費用ハ原案ノ如ク町村費ノ名稱ヲ付シテ法律上之ヲ他ノ費用ト區別スルノ優ルニ如カス又四十番ハ本邦ト西洋諸國トハ建國ノ体制ヲ異ニシ本邦ハ上ヨリ下ニ及ホス云云ト論セリ假令其國體ハ異ナルモ治民ノ法則ハ彼我其軌轍ヲ同ウスルナル可シ然ルニ四十番ハ我

國ニ在テハ町村以下ノ整頓セサル情狀ヲ明許スルニ似タルハ抑モ何ノ觀ル所アリテ然ル乎本官ハ却テ信ス我カ政府ノ人民ヲ愛撫スルニ深切ナルハ萬國ニ勝リ我カ人民ノ政府ヲ奉戴スルニ忠厚ナルモ亦萬國ニ勝レルヲ

○四十番 三浦安 本官又更ニ一言セサルヲ得サルニ會セリ

○議長 四十番ニ告ク第四百二十八號議案ニ關スル可否ハ午前ニ之カ決ヲ取ントス而モ尙ホ論辨ヲ要スル乎

○四十番 三浦安 本官ハ十二番ノ駁難ニ對シ十分ニ答辨セント欲スルナリ

○二十八番 箕作麟祥 建議ヲ爲ス四十番ハ十二番ニ對シ十分ニ答辨セント云ヒ而シテ午前ニ取決セサルモ障碍ナカラシテ午餐ノ爲メニ

一旦散會センコトヲ望ム

○議長 原第一案ニ關シテハ可否ノ兩說共ニ既ニ議場ニ貫徹セリト考フルヲ以テ午前ニ之カ決ヲ取ント欲スルモ四十番ハ尙ホ答辨ヲ要スト云ヒ且二十八番ノ建議セル所アレハ此ニ本會ヲ中止シ四十番ノ答辨ハ午餐後ニ讓ルヲ要ス一時散會セヨ

午後零時二十五分閉場

午後ノ會議ハ三月二十四日ニ延會ス

議事録
 第一號
 第二號
 第三號
 第四號
 第五號
 第六號
 第七號
 第八號
 第九號
 第十號
 第十一號
 第十二號
 第十三號
 第十四號
 第十五號
 第十六號
 第十七號
 第十八號
 第十九號
 第二十號
 第二十一號
 第二十二號
 第二十三號
 第二十四號
 第二十五號
 第二十六號
 第二十七號
 第二十八號
 第二十九號
 第三十號
 第三十一號
 第三十二號
 第三十三號
 第三十四號
 第三十五號
 第三十六號
 第三十七號
 第三十八號
 第三十九號
 第四十號
 第四十一號
 第四十二號
 第四十三號
 第四十四號
 第四十五號
 第四十六號
 第四十七號
 第四十八號
 第四十九號
 第五十號
 第五十一號
 第五十二號
 第五十三號
 第五十四號
 第五十五號
 第五十六號
 第五十七號
 第五十八號
 第五十九號
 第六十號
 第六十一號
 第六十二號
 第六十三號
 第六十四號
 第六十五號
 第六十六號
 第六十七號
 第六十八號
 第六十九號
 第七十號
 第七十一號
 第七十二號
 第七十三號
 第七十四號
 第七十五號
 第七十六號
 第七十七號
 第七十八號
 第七十九號
 第八十號
 第八十一號
 第八十二號
 第八十三號
 第八十四號
 第八十五號
 第八十六號
 第八十七號
 第八十八號
 第八十九號
 第九十號
 第九十一號
 第九十二號
 第九十三號
 第九十四號
 第九十五號
 第九十六號
 第九十七號
 第九十八號
 第九十九號
 第一百號

元老院會議筆記 明治十七年三月二十四日

禁傍聽

○第四百二十八號議案 地方稅規則第三條第二讀會 三月二十二日續會

○第四百二十九號議案 區町村會法改正之儀 同

○第四百三十號議案 區町村費規則制定之儀 同

議長 佐野 常民

出席議員

- | | |
|-----|-------|
| 二番 | 渡邊 洪基 |
| 七番 | 宮本 小一 |
| 八番 | 井田 讓 |
| 九番 | 神田 孝平 |
| 十一番 | 楠本 正隆 |

- 十二番 榎村 正直
- 十三番 大久保一翁
- 十七番 福原 實
- 十九番 河田 景與
- 二十番 林 友幸
- 二十四番 大鳥 圭介
- 二十五番 西村 貞陽
- 二十七番 渡邊 清
- 二十八番 箕作 麟祥
- 三十番 柴原 和
- 三十一番 上杉 茂憲

- 三十三番 關口 隆吉
 - 三十七番 津田 眞道
 - 三十九番 伊集院兼寛
 - 四十番 三浦 安
 - 四十一番 西 周
 - 四十二番 長岡 護美
 - 四十五番 神山 郡廉
- 内閣委員 番外 参事院議官安場 保和
 参事院議官補牧 朴眞
 番外 参事院議官補牧 二番

午前第十時開場

○議長 本日ハ第四百二十八號議案以下第二讀會ノ續會ヲ開ク前日

闕席セシ議官ニ告ク現問題ハ再付託調査委員ノ提出セシ報告案是レナリ

○十一番楠本正隆

本官等再調査委員ノ選ニ當リ反覆審議シテ意見ヲ報告セシニ偶マ議則上ノ論端多岐ニ涉リシモ其事纔ニ止ミ今ヤ既ニ報告案ノ可否ヲ議スルニ際セリ本官等ノ審議セシ所ノ者ハ具シテ此報告案ニ載セ且前會以來ノ陳辨ヲ以テ足レリトシ默シテ各位ノ議論ヲ諦聽セシモ其問題取決ノ方法ニ關シテ一言ヲ陳シ以テ議長ノ意見ヲ問ヒ尙ホ滿場ノ取舍ヲ乞ントス抑モ本官等ノ原案ニ對スル意見ヲ報告シタルヤ每一案ニ分別セシニ非ス即チ三案ヲ連帶セシナレハ今此ニ斷截シテ每一案ニ取決セハ大ニ其要領ヲ失ハントス蓋シ思フニ各位ニ於ルモ或ハ本官等ト意思ヲ同ウシ連帶取決ス

ルヲ望メル無キニ非サラン敢テ連帶取決センコトヲ望ム是レ枝葉ノ論ニ涉ル如キモ初メニ此一事ヲ決定スルニ非スンハ不可ナル有ントスルナリ

○八番井田讓

前會以來取決方法ニ關シ諸說紛々タリ是レ蓋シ前會ニ於テ議長カ二番ノ言ヲ容レ三案ヲ連帶シタルニ原由セリ故ニ本會ニ至ルマテ三案ヲ合シテ論議シ報告案ニ於テモ之ヲ合シテ其意見ヲ提出ス是レ十一番ノ更ニ三案ヲ連帶シテ取決センコトヲ切望セル所以ナラン蓋シ前キニ十二番ノ三案ヲ連帶シテ發言セシニ議長ノ制止スル所ト爲ルモ苟クモ連帶以テ議題ニ上ホスニ非スンハ之ヲ維持スルモ之ヲ駁撃スルモ到底能ハサラントス願クハ十一番ノ意見ノ如クセンコトヲ

○議長 十一番ハ改メテ三案ヲ合シ再調査委員ノ報告案ニ據テ初メニ其存廢ヲ取決センコトヲ建議セルヤ

○十一番 楠本正隆 其問題議論ニ涉ラハ數刻ヲ費ス可キヲ以テ先ツ其取決方法ヲ定メンコトヲ欲スルナリ

○二番 渡邊洪基 本官ハ十一番ノ特別建議ニ對シ述ル有ラントス抑モ第一讀會ニ於テ三案ヲ連帶スルコトニ決シ第二讀會ニ至ルモ仍ホ然リ從前ノ慣行ヲ以テスレハ修正委員ヲ設ケ其報告案ノ議場ニ上ルヤ議長ハ先ツ原案ヲ以テ議ス可キヲ將タ報告案ヲ以テ議ス可キヲ問ヒ其衆議ノ決スル所ノ者ヲ議題ト爲スヲ常例トス然ルニ本會ニ於テ其常例ニ據ル可ラサルハ報告案ノ廢棄說ニ係ルノ故ナルカ抑モ別ニ理由ノ在ル有ルカ思フニ議事ノ動モスレハ紛雜ニ涉ルハ

即チ其決定スル所無キカ爲メナラン故ニ本官ハ先ツ孰レヲ議題ト爲ス可キヲ決シ而ル後ニ徐徐其利害得失ノ議論ニ涉ランコトヲ欲ス若シ十一番ノ建議ノ如ク止タ三案ヲ連帶スルノミニ決セハ或ハ其廢棄說ノ行ハレサルニ會フヤ三案中ノ一二案ニ對シ廢棄說ヲ提出セントスルモ能ハサルノ結果ヲ生セン是レ最モ不便ナリトス願クハ速ニ報告案ニ據テ議ス可キヲ將タ原案ニ據テ議ス可キヲ判然ニ決定センコトヲ

○三十番 柴原和 本官モ規則ニ關シ一言センニ番ハ慣例ヲ說キ若シ議場ニ原案ト報告案ト並存スルトキハ先ツ其孰レヲ本案ト爲シテ議ス可キヲ決定スルヲ要用ナリト論スルハ理ナキニ非サルモ議長ハ已ニ報告案ニ據テ議ス可キヲ告ケリ是レ議長ノ職權ノ爲ス所ニ

シテ敢テ其是非ヲ論ス可キニ非ス唯怪シムハ二番ノ三案ヲ連帶スルトキハ若シ報告案ノ廢棄說ニ決セサルヤ甲ノ一案ヲ存シ乙ノ一案ヲ廢セント欲スルモ得ヘカラスト論セシモ本官ヲ以テ之ヲ觀レハ敢テ顧慮スルヲ須ヒスト信ス何トナレハ報告案ニ據テ連帶取決スルモ不同意者ハ起立ヲ表セスシテ可ナレハナリ若シ報告案ニシテ成立セサレハ甲乙案ニ對シ廢棄說ヲ出スモ修正說ヲ出スモ其所見ニ存ス然リ而シテ報告案ヲ區分スルノ不便ナルヲ云ヘハ前二十番ノ發言ニ對シ議長ハ問題ノ外ニ涉ルトシテ之ヲ制セシニ二十番ハ四十番ノ言ニ對シ應答スルナリト述ヘテ發言スルヲ得タレトモ往往斯ル遺憾ヲ免レス今ヤ議場ノ問題ハ報告案ニ在ルモ單ニ第四百二十八號ニ對スル一節ニ限り議ス可キ者ト爲スハ事ノ宜キヲ

得ス寧ロ報告案ニ據テ議セントナラハ十一番ノ說ノ如ク三案ヲ連帶シテ之ヲ議スルニ如カス畢竟報告案ハ三案ヲ連帶セル意見書ナレハ分別シテ之ヲ議スルハ首尾完全ナラサルノ憾ミ無キ能ハサルナリ

出席

三十六番

細川潤次郎

○二番 渡邊 洪基

三十番ハ報告案ヲ以テ問題ト爲リシ者ト思惟セルニ似タリ知ラス然ルヤ否ヤ本官ハ未タ其演告ヲ聞カサルナリ

○議長 未タ嘗テ報告案ノ全文ヲ舉テ直ニ其可否ヲ決セント述タルコト有ラス今ヤ十一番ノ建議ノ可否ヲ議場ニ問フ可キハ當然ナレトモ前日本席ノ演告セシ旨趣ノ議場ニ貫徹セサルヨリシテ十一番ノ建議ヲ來セシモ知ル可ラス故ニ更ニ其餘緒ヲ繼キテ詳陳セン抑

モ取決ノ順序ハ大ニ議事ノ整頓ニ關係スルヲ以テ初ヨリ慎重セサル可ラス前キニ本席ヨリ本案議決ノ次第ヲ演告セシニ各位別ニ異説ヲ立ル無キカ故ニ其承諾ヲ經タル者ト認メ以テ本日ノ會議ヲ開クニ至レリ思フニ三案ヲ連帶シテ之ヲ議スルヲ便利ナリトスルハ事實或ハ然ル可キモ是レ第一讀會ノ原案ノ全体ヲ通論スル時ニ大關係ヲ有スルニ止マリ本會ニ於ル如キハ敢テ然ラス何トナレハ本會ハ逐條ニ議決スル時期ニ當レハナリ畢竟三案共ニ一時ニ下付セラレタルヲ以テ動モスレハ一樣ノ看ヲ爲スモ仔細ニ點檢スレハ一案毎ニ太政大臣ノ通牒文ヲ副フ是レ以テ同一ノ者ト爲スコカラサル的證ナリ況ヤ其號數ヲ付スルニモ三案之ヲ異ニセリ亦以テ別案タルヲ知ル可シ元來第一讀會ニ三案ヲ連帶セシハ議事ニ支障セサ

ルニ由ル而シテ第二讀會ノ初メニ三十三番ヨリ建議シ全部付託調査委員ヲ選定シテ三案共ニ之ヲ付託セシニ其報告スル所ハ廢棄ニ非スシテ修正ナリシ是ヲ以テ慣例ニ從ヒ原案修正案孰レヲ本案ト爲スコキヤヲ議場ニ問ヒタルニ終ニ原案ニ據テ議スルニ決セリ故ニ第二讀會ノ定例ニ照シ第四百二十八號第四百二十九號ト逐次ニ議及セントスルニ際シ偶マ三十五番ノ廢棄說問題ト爲リ四十番ノ疑議ヲ發スル有リ其論趣ニ途ニ分レ二十八番ヨリ建議シテ再付託調査委員ヲ選定シ而シテ其報告スル所ハ即チ廢棄ナリ然ルニ此再付託調査委員中ニハ全廢スルト然ラサルトノ二說ニ分レリ是レ其議場ニ論辨スル所ヲ以テ之ヲ知ルニ足ル蓋シ其廢棄ノ理由ヲ述ルハ常例タルヲ以テ素ヨリ妨ケ無シト雖モ直ニ其全部ヲ舉ケテ可否

ヲ決スル能ハサル理由ハ前ニ演告シタル者ノ如シ況ヤ未タ朗讀ヲ
 經サル議案ヲ以テ問題ニ付スルハ逐條議ノ會規ニ悖戾スルノ不可
 ナル有ルヲヤ故ニ此報告案ノ一文章ニ成レルニ拘ラスシテ段落ヲ
 立テ以テ三案ヲ逐次ニ議決セントスルナリ思フニ報告案ニ於テモ
 自ラ三案ヲ次第シ各一ノ又ノ字ヲ以テ之ヲ分別セル者ノ如シ即チ
 首ニ第四百二十八號次ニ第四百二十九號次ニ第四百三十號ニ對ス
 ル事項ヲ述ヘ結末ニ至リ始メテ三案共ニ廢棄スルコトヲ括言セリ
 然ラハ則チ三段ニ分別シテ取決スルモ何ソ再付託調査委員ノ意見
 ニ反スト爲サンヤ且既ニ第一案ニ於テ充分ニ論究セハ他ハ自ラ類
 推スルヲ得ン蓋シ廢棄說ノ問題ト爲レル以上ハ勢ヒ一案ヨリ他案
 ニ議及スルモ事實已ムヲ得サルノミ曾テ本席ノ十二番ニ對シ注告

セシハ十二番ハ第四百二十八號ノ問題タルニ拘ラス專ラ第四百二
 十九號ノ事項ヲ論スル者ト認メタルニ由ル若シ第四百二十八號ヲ
 論スルニ際シ勢ヒ第四百二十九號ニ及フハ本ト牽連セル事項ナレ
 ○ハ敢テ制止ス可キニ非ス故ニ問題ハ三案ヲ合スルモ其取決ハ逐次
 ニ之ヲ爲シ即チ第四百二十八號廢棄ニ決セハ第四百二十九號第四
 百三十號ト逐次ニ取決セントス又若シ廢棄說消滅セハ原案ヲ以テ
 議題ト爲シ定規ノ如ク取決センノミ三案ヲ合シテ一時ニ議決セン
 トセハ論旨岐分シテ頗ル齊頓ニ困マントス是レ定規ニ適セサレハ
 ナリ假令特別建議ヲ爲セルモ未タ朗讀ヲ經サル第四百二十九號第
 四百三十號ヲ合セテ一時ニ其廢存ヲ決スルハ逐條議ノ旨趣ニ悖戾
 ス蓋シ若シ或ハ多數決ヲ以テスル議法ナレハ可ナルモ過半數決ヲ

以テスル議法ニハ不可ナラン故ニ三案共ニ布告案ヲ朗讀シ其後直ニ廢棄說ヲ問題ト爲シ一議案毎ニ取決セハ止タ三案ヲ一ニセサルノミニシテ其結果ハ更ニ異ナル無シ是レ敢テ議法ニ悖戻セス尙且十一番ノ建議ヲモ虚シウセシメサル可シ思フニ前日ノ演告ハ未タ盡ササル有リシナラン故ニ更ニ之ヲ辨ス要スルニ本席ノ所見ハ此ノ如キモ若シ強テ連帶取決ヲ望ムナラハ衆議ニ問フテ之ヲ決センノミ

○二番渡邊
洪基

本官ハ報告案ヲ問題ト爲サハ必ス之ヲ三案ニ配シ各別ニ取決ス可キ者ト信ス然ルニ十一番ノ建議ト議長ノ演告トハ頗ル疑ヒ無キ能ハス本官ハ未タ報告案ノ問題ト爲リシヲ知ラス前キニ取決云云ノ言論ハ是レ報告案ヲ以テ問題ト爲ス可キヤ否ヤヲ定ム

ル者ナラン若シ果シテ報告案ヲ以テ直ニ問題ト爲スナラハ三案ヲ分別シ各案ニ據テ取決スルハ當然ノ順序ナリ故ニ十一番ノ建議セシ如ク三案ヲ連帶シテ取決シ果シテ報告案ニ決セハ復タ一言ヲモ發スルヲ得ス敢テ請フ先ツ報告案ヲ問題ト爲ス可キヤ否ヤヲ決セシコトヲ果シテ報告案ノ問題ト爲ルヲ得ハ各案ニ據テ更ニ其廢否ヲ決セン若シ或ハ問題ト爲ルヲ得サレハ原案ヲ賛成スル者モ之レ有リ或ハ修正說ヲ提出スル者モ之レ有リテ其宜キニ從ハントス然ルヲ現況ニ於テ議セントセハ到底混雜ヲ免レサル可シ

○議長 二番ハ猶ホ本席ノ言ヲ領セサルカコトシ問題ト可否決トハ素ヨリ異ニシテ問題ハ可否決ヲ取ル題號ナリ問題未タ定マラスシテハ可否ノ議ス可キ無シ今ヤ第四百二十八號議案ヲ廢棄スル意見

實ニ問題ニ在リ各位此問題ニ對シテ其可否ヲ議セハ何ノ混雜カ之レ有ラン

○三十番柴原和

議長ノ言ヲ領ス然ルニ本官ハ第一讀會ニ二番ノ建議ニ決セシ如ク三案ヲ連帶セル報告案實ニ問題ニ在リト思惟ス慣例ニ依レハ過刻ニ番ノ云ヘル如ク原案報告案其孰レヲ本案ト爲シテ議スルヤヲ決ス可キモ今回ハ特殊ノ報告案タルニ因リ議長ノ職權ヲ以テ本問題ヲ定メタル者ト信セリ且ヤ開會ノ初ニ於テ議長ノ前會ニ闕席セシ議官ノ爲メニ述タル言ニモ現問題ハ報告案ナリト云ヘリ唯疑フ議長ノ前日ニ於テ朗讀ヲ省クト述ラレタルハ報告案ノ朗讀ヲ省ク者ト思料セシニ只今聞ク所ヲ以テスレハ原案第四百二十八號ヲ指シタルカ如シ前回本官等ノ調査委員ノ選ニ當レル時ニ

於テモ敢テ第四百二十八號ノミヲ付託セラレタルニ非ス三案共ニ付託セラレタリト認メテ之ヲ調査シ以テ其修正案ヲ報告セリ再回調査委員ニ付託セシモ必ス同一ナラン若シ這般三案ヲ合シテ意見ヲ提出セシヲ不是ナリトセハ前回ノ報告モ亦不是ナラン又若シ之ニ反シテ不是ナラストセハ其報告案ニシテ既ニ一タヒ問題ト爲レル以上ハ更ニ之ヲ三段ニ分別シ特ニ原案第四百二十八號ニ對シテ報告案ヲ取決スルノ理由ヲ見サラン本官ハ再調査委員ノ報告案ヲ無効ニ付センコトヲ惜シミ尙ホ後來ノ爲メニ敢テ議長ノ明解ヲ乞フ

○議長 報告案ハ議場ノ公共物ニシテ第四百二十八號ニ對スル報告案實ニ即今ノ問題タリ是レ原第一案ヲ議スル者ニシテ廢棄說問題

ト爲レルニ在リ蓋シ本席ニ於テハ報告案ノ全部ヲ舉ケテ問題ニ付セシコト無ク而シテ是レ十一番ノ三案ヲ合シテ取決センコトヲ要スル建議ニ對シテ演告シタル所ナリ三十番ハ本席ノ朗讀ヲ省ク云云ノ言ニ對シ論難セルモ朗讀ハ便宜之ヲ爲ス者ニシテ或ハ通牒文ヲ朗讀シ或ハ一議官ノ修正意見書ヲ朗讀スル有リ未タ必シモ朗讀セルヲ以テ議場ノ問題ト爲ル者ニ非ス本席ノ前會ニ報告案ノ朗讀ヲ省クト云シハ原案配付以後數多ノ日子ヲ經テ各位ノ檢閱既ニ熟スルヲ以テナリ要スルニ報告案ハ逐次問題ニ上ホルヲ得ヘキモ其取決ハ三案各別ニ之ヲ爲ササル可ラサルノミ

○二十八番 笑作 麟祥 本官ハ前日ノ議長ノ演告ハ明カニ領會セシモ本日ノ演告ハ少シク疑ヒ無キ能ハス蓋シ本日ノ演告ハ第四百二十八號

議案ヲ問題ト爲シ又報告案ヲ問題ト爲セル如ク兩者自ラ相ヒ衝突スル惑ヒ無キ能ハス本官ハ前日以來單純ニ思料スル所ハ報告案方サニ問題ニ在リ此報告案ニシテ可決セハ原案ハ廢棄ニ歸シ若シ否決セハ原案ハ存立スル者ト認メリ然ラハ則チ今日ノ問題ハ本官等ノ報告セシ廢棄說ニシテ此他別ニ問題タル者ナカラン故ニ議長ノ單ニ報告案ノ問題タルコトヲ演告セハ紛論乍チ定ランノミ

○議長 二十八番ノ言ノ如ク今ヤ再調査委員ノ報告セシ廢棄說問題ニ在リ其問題ニ對シ動議ノ出ル有リテ賛成者ヲ得ハ又更ニ一問題ト爲ランノミ即今ハ第四百二十八號ニ對スル廢棄說ノ外ニハ別ニ問題ノ存スル無キヲ知ル可シ

○二十八番 笑作 麟祥 本官ノ確信スル所ニ違ハス大ニ満足セリ論シテ此

○ニ至レハ今ヤ十一番ノ建議ノ一點ニ止マル即チ三案ヲ連帶シテ取
 決スルカ或ハ毎案ニ取決スルカノ二途ヲ定ムル有ルノミ本官ハ假
 令毎案ニ取決スルモ敢テ異議ヲ有セス要スルニ廢棄説ニハ起立ヲ
 表シ維持説ニハ起立セサルニ過キス其結果タル甚タ明白ナリトス
 ○三十番柴原和 前ニハ朗讀云云ト演告シ今更ニ第四百二十八號云云
 ト演告セルニ因テ疑ヒ有リシモ既ニ報告案ノ問題タルコトノ明白
 ナル以上ハ敢テ請フ十一番ノ建議ヲ取決センコトヲ

○議長 三十番ノ言ハ二十八番ノ言ト異ナリ報告案ノ議場ノ公共物
 タルハ論ヲ待サルモ問題ハ第四百二十八號ニ對スル廢棄説是レナ
 リ故ニ其取決ニ際セハ第四百二十八號議案ヲ廢棄スルニ同意スル
 者ハ云云ト告ケ以テ其可否ヲ起立ニ問フ可シ二十八番ノ意ハ此ニ

外ナラス若シ夫レ三案ヲ合シテ取決スルヲ要セハ更ニ議場ニ問フ
 テ其許否スルニ委センノミ

○四十二番長岡護美 本官ハ先ツ十一番ノ建議ノ多數ヲ以テ是決スルニ
 非サレハ報告案ハ未タ問題タルヲ得サル者ト信ス今若シ之カ決ヲ
 取ラハ恐クハ紛議ヲ生セン

○議長 報告案ヲ問題ト爲スモ妨ケ無シ假令席上ニ提出セル修正説
 ナルモ一議官ノ賛成ヲ得ハ問題ト爲ルヲ得ン況ヤ此報告案タル廢
 棄説ハ調査委員ノ報告スル所ニシテ既ニ同意五名ノ多キ有ルヲヤ

○二番渡邊洪基 議長ハ報告案ヲ三分シテ取決スルヤ

○議長 然リ

○二番渡邊洪基 然ラハ本官ハ其廢棄ス可ラサル理由ヲ陳述セン

○議長 未タ十一番ノ建議ノ結局ヲ見ス故ニ姑ク時機ヲ待ツヲ要ス
 ○四十番^{三浦} 十一番ノ建議ニ關シ議長ノ再辨ヲ煩ハセリ然ルニ本
 官等ノ提出セシ報告案ハ三案ヲ連帶セル者ニシテ是レ前キニ付託
 ヲ受タル旨意ニシテ三案共ニ同一ノ結果ヲ致セリ獨リ本官等ノ然
 ク認ムルノミナラス各位モ亦常ニ連帶シテ之ヲ議ス唯議長ノミ固
 ク執テ分別取決セントス蓋シ議長ノ前日ノ言ニ依レハ敢テ然ラサ
 ルモ若シ本日ノ言ノ如クンハ其初メ朗讀ヲ省ク云云ト演告セシ時
 ニ當リ分別取決スルコトヲ明告セサル可ラサラン果シテ然セハ各
 位ノ討論モ必ス第四百二十八號ニ對スルニ止リ敢テ紛雜ニ涉ル無
 ル可キノミ若シ前キニ十二番ニ對シテ議長ノ制止ヲ加フルニ非ス
 ンハ各位悉ク三案連帶セル者ト信セシナリ然ルニ今ニ及ヒ各案ニ

區別シテ問題ト爲スト云フニ至テハ本官等得テ解ス可ラス本官ノ
 前會議長ニ對シテ異議ヲ有セスト云シハ全ク三案ヲ連帶セル者ト
 信セシニ由ル而シテ十一番ノ三案連帶ヲ要スル建議ノ旨意ヲ領會
 スル能ハサリシモ畢竟此カ爲メノミ思フニ取決ノ順叙ヲ定ムルハ
 素ヨリ議長ノ權内ニ在ルモ本官ノ信認スル所ト異ナルヲ以テ聊カ
 一言ヲ述フ

○議長 四十番ノ陳述ニ依ルモ本席ノ演告スル所ハ未タ貫徹セサル
 有ルヲ知ル是レ仔細ニ辨明セサリシニ由ルナラン抑モ三案ヲ合シ
 テ一案ト爲シ以テ取決スル能ハサルハ前日ノ言モ今日ノ言モ敢テ
 異ナラス假令報告案ハ議場ノ公共物ナリト云フモ必ス一併ニ問題
 ニ付シ同時ニ取決セサル可ラストスル理由ナカラシ既ニ其案ヲ異

ニシ且其號數ヲ別テル者ナレハ各別ニ之ヲ問題ニ付シ以テ順次ニ
 取決スルハ當然ナラン然ルヲ若シ四十番ノ説ノ如クセハ却テ其取
 決ニ混雜ヲ生シ竟ニ議則ヲ亂ルニ至ラントス因テ初メニ第四百二
 十八號ニ對スル廢棄説ヲ決シ以テ順次ニ第四百二十九號第四百三
 十號ニ及フヲ要ス既ニ二十八番モ云ヘル如ク現問題ハ第四百二十
 八號廢棄説是レナリ

○八番井田讓

本官ハ十一番ノ建議ヲ賛成シ既ニシテ議長ノ縷々ノ演
 告ヲ得テ報告案ノ問題ト爲レルヲ認メ稍ヤ滿意セリ蓋シ前キニ議
 長ノ報告案ハ熟讀ヲ經タレハ朗讀ヲ省クト演告セル時ニ於テ早ク
 已ニ報告案ノ問題ト爲リシヲ知タルモ偶マ三十五番ノ説ノ現問題
 タルコトヲ言ヘルヨリシテ紛紛ノ議論生シ延テ今日ニ迫ヒシモ即

今ノ問題ハ報告案タルニ一定セシ以上ハ報告案ニ對シ充分ニ意見
 ヲ陳述ス可キ場合ニ會セリ然ルニ若シ三段ニ區別シテ之ヲ議セン
 トセハ殊ニ不便ヲ感ス何トナレハ本ト是レ連絡シテ成立シタル者
 ニシテ若シ之ヲ分別スルトキハ其氣脈ヲ斷スルノ憾ミ無キヲ得サ
 レハナリ且夫レ第四百二十八號ヲ議スルヤ勢ヒ第四百二十九號第
 四百三十號ニ牽連セサルヲ得ス又第四百二十八號ヲ議了シ他ノ二
 案ヲ論スルニモ仍ホ既決ノ第四百二十八號ニ遡リテ辨論セサルヲ
 得サル有ラン是レ勢ノ自ラ然ラシムル所トス然ルヲ其時ニ際シ議
 長若シ既決ノ議案ニ論及ス可ラスト制止スル有ラハ復タ奈何トモ
 ス可ラサラン本官深ク前後ノ得失ヲ考フルニ本ト三案ヲ連帶シテ
 提出セル報告案ナレハ依然之ヲ合シテ一ト爲シ以テ其範圍ヲ廣メ

彼此ニ涉リテ充分ニ討論スルノ得タルニ如カサルヲ信ス

○三十番柴原 是レ大ニ議事規則ニ關係スルヲ以テ鄭重ニ審査セサル可ス議長ノ言ヲ聞クニ連帶シテ之ヲ議スルハ妨ケ無キモ問題ハ必ス三案各別ニ區分シ今ヤ第四百二十八號ノミ問題ニ上レルナリト抑モ第一讀會ニ三案ヲ連帶シテ朗讀ヲ爲シ三案ヲ合シテ之ヲ議シタリ然ルニ本會ハ逐條議ニ係ルヲ以テ初案ヨリ逐次ニ議ス可キノ理由ナキニ非サルモ既ニ合シテ一ト爲シ以テ討議ヲ經タル者ナルヲ復タヒ三個ニ分別スルヲ以テ議則ニ適セリト云フニ至テハ本官ノ服セサル所ナリ元來取決ノ順叙ヲ立ルハ議長ノ職權ニ屬スルハ每次陳辨スル所ナルモ既ニ連帶討議スルニ決セシ者ヲ更ニ分別取決セントセハ必ス議場ニ間フヲ要セン況シテ調査委員ノ報告案

ニモ三議案ヲ廢棄シ云云ト言ヘルヲヤ報告案ハ三案ヲ一体ト爲シテ廢棄スル意見タルハ論ヲ俟タス然ルヲ分別シテ問題ニ付セントスルハ反テ會規ニ抵觸スル無キヲ得ルカ

○議長 然ラス若シ本席ノ演告セル如クセサレハ議則ニ悖戾セン抑モ第一讀會ニ連帶シテ之ヲ議セシハ其大体議ニ係ルヲ以テ惣括通論スルハ頗ル便宜ナレトモ始終一案ノ看ヲ做スハ不可ナリ内閣ノ下付セシ議案ハ實ニ三個ニシテ明白ニ區別ヲ存ス苟クモ第一讀會ノ大体議ニ連帶シタルヲ以テ第二讀會ノ逐條議ニモ連帶セサル可ラストスル議則ハ未タ之レ有ルヲ見ス且第二讀會ハ自ラ第二讀會ノ体式アリ條項ノ位地ヲ轉換シテ議スルタモ議長ノ專斷シ得ヘキ所ニ非ス况ヤ三案ヲ合シテ一案ト爲スヲヤ第四百二十八號ハ單行

案ナルモ第四百二十九號以下八十數條ヲ包具ス然ルヲ未タ其布告案タモ朗讀セスシテ早ク已ニ問題ニ在ル者ト爲スハ大ニ讀會規則ニ背反セントス

○三十番柴原和議長ノ演告セル旨意ハ之ヲ領解ス尙ホ一言センニ本官モ第二讀會ハ逐條議ニ係ルヲ以テ各條ニ對シ取決スルノ當然ナルヲ知ル然ルニ報告案ハ三案ヲ連帶セシ者ナルニ之ヲ問題ニ付セルニ拘ラス仍ホ原案ノ如ク三案ニ分別セントスルハ焉ソ怪訝セサルヲ得ンヤ

○二番渡邊洪基議長ノ演告ハ報告案ハ三案ヲ合シテ廢棄スル意見ナルモ原案ニ依テ三案ヲ區別シ以テ取決セント云フ者ノ如シ這ハ是レ衆議ニ據テ決定スルノ是ナルカ抑モ議長ノ專斷スルノ是ナルカニ

至テハ本官モ未タ吾心ニ決スル能ハサル所ナリ本會ハ逐條議ニ係ルモ原案ト報告案ト並存シ議長ハ報告案ヲ以テ問題ト爲セリ然ラハ則チ其報告案ヲ分別シテ問題ニ付スルノ可否ハ之ヲ衆議ニ決スルニ如カサラン然ラサレハ問題ト取決トニ關シテ混雜ヲ致スヲ免レサル可シ

○議長 二番ハ本席ノ演告ヲ以テ專斷ニ出タル如キ感ヲ爲スモ是レ敢テ然ラス前日各位ニ演告シ各位ノ同意ヲ得タリシ者ナリ若シ各位ニシテ分別取決スルヲ不是ナリトセハ本席ヨリ諮問セシ時ニ於テ異議ヲ立ツ可キノミ然ルニ既ニ異議ヲ聞カス是レ本席ノ看テ以テ議場ノ承諾ヲ經タル者ト做セル所以ナリ是レ豈之ヲ本席ノ專斷ニ出タリト云フ可ケンヤ

○二番洪基 議長ノ三案ヲ連帶シテ取決スル能ハスト云フハ既ニ之ヲ聞キ敢テ異議ヲ有セサルモ問題ヲ各個ニ區別ストハ演告セサルニ似タリ知ラス本官ノ誤聽ニ係ルヤ

○議長 若シ二番ノ聽取セル如クンハ之ヲ如何シテ可ナルヤ試ニ間シ一問題ニシテ三段ニ取決スルコトヲ得ヘキカ蓋シ一個ノ問題ニ對シ一回ノ取決ヲ爲スハ常例ナリ然ラスンハ第四百二十八號ニ對スル廢棄說ノ消滅シ適マ原案ニ復シテ更ニ修正說ノ出ルニ際セハ如何カ之ヲ處セントスルヤ

○二番洪基 三案ヲ連帶セシ問題ナレハ即チ三案ニ對シ其意見ヲ述フ可ク其取決ノ際ニ例ヘハ第四百二十八號ニ對スル廢棄說ノ消滅セハ原案ニ復スルナラン其時ニ於テ修正說ヲ提出スル有ラハ其動

議ニ對シテ可否ヲ論決センノミ

○議長 然ラハ尙ホ問題說ノ存スルニ拘ラス更ニ他ノ修正說ヲ提出スルヲ得ルト爲スヤ

○二番洪基 是レ常ニ慣例ニ於テ見ル所ナリ例ヘハ一條ノ問題タル時ニ於テ修正說出テ其一條ノ前後ニ分段シ其一半ニ對シテ可否ヲ決スルハ往往之レ有リ

○議長 是レ前後一二ト分截シテ每段ニ取決スルナリ敢テ合シテ之ヲ爲スニ非ス

○二番洪基 然リ是レ其之ヲ分截ス可キヤ否ヤヲ議場ニ問ヒ而ル後ニ取決スル慣例タルヲ覺フ少シク權理論ニ涉ルニ似タレトモ畢竟事ノ此ニ出サリシ爲メニ紛雜ヲ招キタリト信ス

○議長 本席ハ二番ノ言ノ如ク前日其事旨ヲ議場ニ演告シ各位ノ承諾ヲ經タル者ト信ス是ヲ以テ報告案ヲ三問題ニ分截シテ可否決ヲ取ントスルナリ

○議長 午餐ノ爲メニ退場シ午後更ニ開會セン各位散會セヨ
午後零時五分閉場

午後第一時十分開場

退席 二十五番 西村 貞陽

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○十一番 楠本 正隆 本官ハ議事ノ便ヲ圖ランカ爲メ午前ニ建議ヲ爲セリ
爾來猶種種ノ質問辨明ヲ經ルニ從ヒ議論紛紛タリシモ終ニ本官等

○ノ提出セシ報告案ノ問題タルニ確定セシハ甚タ喜フ所ナリ抑モ報告案ノ旨趣ハ三案ヲ連帶シテ廢棄ニ付スルニ在リ議長モ亦此報告案ニ對シ異見アラハ發言セヨト演告シタル以上ハ報告案ノ議場ノ公共物ト爲リシハ動カス可ラサル者トス是ヲ以テ三案同時ニ取決スルヲ望ムハ敢テ一己ノ意見ニ非ス夫レ單條スラ分段取決スル有ルハ議場ノ常例ナレハ今三案ヲ分別シテ各個ニ取決スルハ敢テ抗拒ス可キニ非ス然レトモ本官輩ノ精神ハ三案ヲ連帶シテ廢棄ニ付スルニ在ルヲ以テ他ノ議官ノ感觸如何ハ之ヲ知ラサレトモ報告案ハ三案ニ對シテ各別ニ論議ヲ須ヒス唯其順序ヲ逐フテ文章ヲ構成シタルノミ其レ然リ然レトモ假令三案ヲ分別シテ各個ニ取決スルモ報告案ノ旨趣ニ異同ヲ來スニ非サレハ本官ノ午前ノ建議ハ之ヲ

收銷センコトヲ請フ要スルニ本官ノ欣フ所ハ廢棄說タル報告案ノ問題ト爲リシニ在リ因テ更ニ特別ノ建議ヲ爲サン抑モ取決ノ方法ニ關シテ紛論ヲ來シ隨テ直ニ取決スルハ重大ノ議案ニ對シテ間然スル所無キニ非ス故ニ亦復タ調査委員ヲ特選シテ精密ニ調査セシメンコトヲ欲ス果シテ然セハ本官輩モ委員席ニ就キテ大ニ廢案ノ主義ヲ陳フ可キナリ切ニ各位ノ此特別建議ヲ贊成センコトヲ望ム

○議長 十一番ハ三案ヲ連帶セル報告案ヲ一問題ニ付スル建議ヲ收銷シ更ニ三案ヲ各個ニ分別スルハ同意ナレトモ議論ノ紛糾ニ涉ルヲ避シ爲メニ第三次ノ委員ヲ置キ其報告案ノ提出ヲ待テ開會セン

○コトヲ建議セルヤ

○十一番 楠本 然リ

○三十番 柴原 和

本官ハ十一番ノ建議ヲ喜フモ亦少シク疑ヒ無キ能ハス抑モ第二次ノ調査委員ヲ置キシハ第一次ノ調査委員ノ報告案ヲ否決シタルカ爲メナリ故ニ今又第三次ノ調査委員ヲ置ント云フハ第二次ノ報告案ノ否決シタル場合ニ於テス可キ者トス只今ハ第二次ノ報告案ノ黑白未タ判セサル時ナリ此時ニ當リ便宜委員ヲ置ク如キ異例ヲ立テ即チ議事規則ニ關スル紛議ヲ生セシ爲メニ此ノ如キ異例ヲ開カハ重子テ爲メニ議事規則ニ關スル紛議ヲ來タサン因テ議長ニ質ス抑モ此報告案ハ一併ニ取決ストハ一昨日議長ノ演告セル所ナリト覺フ然ルニ今日午前ニ報告案ヲ三分シテ先ツ第四百二十八號議案ヲ取決スト云フ如キハ本官甚タ之ニ惑フ各位ノ認否モ亦知ル可ラス故ニ十一番ノ建議ハ本官モ望ム所ナレトモ先ツ報

告案ノ黑白ヲ決シ若シ可決セハ之ヲ以テ内閣ニ上奏シ又若シ否決セハ十一番ノ説ノ如ク第三次ノ調査委員ヲ置ンコトヲ欲ス

○十一番 楠本正隆

三十番ノ説ク所ハ至當ナリ本官ノ建議ハ時機尙早キニ失ス蓋シ本官等ハ三案ヲ連帶シテ廢棄ニ付スル報告案ヲ提出セシニ議長ハ三案ヲ連帶シテ一時ニ取決ス可ラス是レ議場ノ公認スル所ナリト明言セリ然レハ則チ報告案ハ文章其體裁ヲ得サル爲メナラン議長ト各位トノ意見同一ニ歸シ且讀會規則ノ然ク定ムル所ナリトノ明示ヲ得タル以上ハ規則ニ反戾セスシテ充分ニ本官輩ノ精神ヲ貫徹セシメサル可ラス其之ヲ貫徹セシメンニハ報告案ノ文章ヲ改竄スルヲ要ス本官ノ第三次ノ調査委員ヲ置ント欲スルハ唯其文章ヲ改竄シテ規則ニ適合セシメンカ爲メナリ唯憾ム報告案ノ

文章ニシテ其體ヲ失ストセハ其提出ニ際シテ議長ノ之ヲ諭示シ以テ改竄ニ便セシメサリシヲ本官ノ建議ハ全ク前陳ノ理由ニ外ナラサルナリ

○二十八番 箕作麟祥

再調査委員ノ一人ナル十一番ハ第三次ノ調査委員ヲ置ク可シト建議シ而シテ其理由ト爲ス所ハ議長ノ三案ヲ連帶シテ問題ニ付ス可ラスト云ヒ規則ニ觸ルル書法ナリト云フヲ以テ其説ノ可否ヲ問ハス唯其文章ヲ改竄スト云フニ在レハ是レ即チ潤飾委員ヲ設クル者ニシテ本官ノ解スル能ハサル所トス抑モ此報告案ハ委員ノ協議シテ起草セル所ナルモ議長ノ職權ヲ以テ其決ヲ取ルニ之ヲ分段スルハ可ナリ且其文章ニ三箇ノ段落ヲ立タルハ稍ヤ意ヲ用ヒタル所トス故ニ本官ハ三十番ト所感ヲ同ウスルナリ十一番

若シ報告案ノ未タ意ニ滿タサル有リト云ハハ其建議ハ時機尙早シト謂ハサルヲ得ス若シ此報告案ノ消滅セハ乃チ其建議ヲ爲シテ可ナラン文體ノ議長ノ意見ニ違フト云フヲ以テ改竄委員ヲ置ント云フハ同意スル能ハス思フニ議長ノ裁決ハ承服セサル議官アリテ敢テ滿場ノ可認セシニ非ス議長ハ唯其職權ヲ行フノミ各位中ニモ連帶取決ヲ望ムノ多キヲ信ス内閣委員ハ報告案ヲ讀下スル能ハスト云フモ何ソ其意味ヲ解ス可ラサル有ランヤ

○八番井田 午前二十一番ヨリ三案ヲ連帶シテ決議ニ付ス可シトスル建議ヲ爲シ本官之ヲ賛成セシニ今其建議者タル十一番ハ之ヲ收銷セリ故ニ本官ハ更ニ三案ヲ連帶シテ決議ニ付ス可シトスル建議ヲ爲ス其理由ハ再三陳述セシ所ノ者ニ外ナラス初メ議長ハ三案ヲ

連帶シテ討論スルモ決議ハ一ノ報告案ニ據テ之ヲ定ムト云ヒシニ過刻ハ三案ヲ連帶シテ討論スルモ其主旨各異ナルヲ以テ一案毎ニ問題ニ付シテ取決スト云ヘリ果シテ然ラハ今ニ至ルマテ討論シタル所ハ悉ク雲散霧消ニ歸セントス其然ランヨリハ討論既ニ連帶ヲ以テシタレハ取決モ亦連帶ヲ以テスルヲ當然ナリトセン且其順次ヲ逐フテ議決スルトキハ或ハ第四百二十九號議案ニ至リ遡リテ第四百二十八號議案ニ論及セサルヲ得サルコト有リ言ハント欲シテ能ハサル障碍ニ遇ハントス是ヲ以テ既ニ十一番ハ其建議ヲ收銷シタルモ本官ハ敢テ各位ニ望ム本官ノ此建議ヲ賛成シテ議事ノ紛雜ヲ避シコトヲ

○議長 十一番ノ建議ハ未タ決ヲ取ラサルニ先タチ既ニ自ラ收銷シ

更ニ八番ヨリ同一ノ建議ヲ爲セリ此建議ハ決ヲ議場ニ取ル可キモ其陳述中稍ヤ過慮ニ渉ル者アリ即チ他案ニ議及スルハ假令連帶議ニ非サルモ決シテ本席ノ制止スル所ニ非ス唯同時ニ問題ト爲スコトヲ得サルノミ一議案ニ關シ他ノ議案ニ議及シ例ヘハ第四百二十九號議案ヨリ第四百三十號議案ニ議及シ若クハ第四百三十號議案ヨリ第四百二十九號議案ニ議及スルモ討議上ニ於テハ決シテ妨ケ無シ又只今以前ノ討議ハ雲散霧消ニ歸スト云フモ是レ決シテ然ラス第一讀會ニ大體ヲ總論シ第二讀會ニ條分縷析シテ細論スル如ク前ニ論シタル者ノ後ニ至テ無効ニ歸スルコト無ク亦敢テ混雜ヲ生セス其論旨ハ各位ノ記憶スル所ニシテ且之ヲ筆記ニ存ス但タ前議ト後議ト抵觸スル如キ第三讀會ニ於テ修整スル事例ハ往往ニ之レ

有リ故ニ第四百二十八號議案ノ問題中ニ第四百二十九號議案ヲ援引シテ之ニ論到スルハ素ヨリ不可ナル無キナリ

○八番 井田

議題ノ既ニ革新セル以上ハ前ニ述タル論議ノ雲散霧消

ニ歸スルハ自然ノ理勢ナリ何ソ本官ノ過慮ナリト謂ハンヤ今朝議長ノ演告セル所ヲ以テスレハ只今以前ニ議論シタル者ハ無効ニ歸シ更ニ新ニ第四百二十八號議案ノミヲ討議セサル可ラス是レ十二番議官ノ第四百二十九號議案ニ議及セシヲ議長ノ他號議案ニ論及ス可ラスト制止シタルニ據テ之ヲ徵ス可キナリ然レハ則チ本官ノ言ハ過慮ニ渉ルニ非スシテ他議案ニ論及スル能ハサルヲ恐ルルニ由ルノミ

○四十番 三浦安

十一番ハ議長ノ明示ニ從ヒ報告案ノ體裁ノ失當ナル

○ヲ以テ午前ノ建議ヲ收銷スト云フモ是レ讀會規則上ノ事ニ係リ其本旨タル意見即チ下付原案ニ對スル報告案ヲ收銷セント云フハ滿場議官ノ投票選定セル委員ニシテ自ラ其提出セル報告案ヲ斥ケ纔カニ其取決方法ノ爲メニ第三次ノ調査委員ヲ置ントスルハ枝葉ノ爲メニ根幹ヲ損スル者ト謂フ可シ又議長ハ滿場ノ公認ヲ得タリト言フモ本官輩ノ意見ハ之ニ反ス是ヲ以テ本官モ亦特別ニ建議ス議長ノ演告ハ三案ヲ分別シ即チ報告案ヲ三段ニ分別シテ取決スト云フニ在リ又他ノ一説ハ報告案ノ取決ハ三案ニ向テ一併ニ之ヲ爲サント云フニ在リ又他ノ一説ハ即チ只今ノ八番ノ建議說ナリ此三説ノ可否ヲ議場ニ問ハハ速ニ決定スルヲ得ントス然ラサレハ議長ハ云云ト明言セリト云ヒ各位ハ之ヲ聞カスト云ヒ實ニ際限ヲ見ル無

クシテ今日ノ暑影ヲ没シ盡スモ得テ決定ス可ラサラン既ニ取決方法ノ爲メニ三日ノ議論ヲ費シ以テ本題ヲ束閣スルハ遺憾ニ堪ヘス但シ本官ノ建議ハ特ニ本案ノ爲メニ發スル者ニシテ讀會規則ノ事ニ至テハ他日特ニ議場ヲ開キテ討議セハ可ナラン敢テ建議ス

○二十四番 大鳥圭介

本官ハ性質遲鈍ニシテ紛紛タル議論ヲ聞キ爲メニ

適從スル所ニ惑フ只今四十番モ云フ如ク枝葉タル議事規則ノ爲メニ根幹タル重大法案ノ議決ヲ遲緩ナラシムルハ甚タ遺憾ナルヲ以テ本官モ特別ニ建議セントス其旨趣ハ四十番ト大同小異ニシテ即チ三説ニ歸著スルモ議長ノ報告案ヲ三分シテ決ヲ取ルト云フニハ同意スル能ハス實ニ十一番ノ云フ如ク三案ヲ連帶スルハ第一讀會以來今日ニ至ルマテ敢テ變セス然ルヲ報告案ヲ三分シテ決ヲ取ル

ト云フハ新創ノ考案ニ屬ス十一番ノ體裁ヲ誤ルト云ハルハ蓋シ謙遜ノ言ナラン若シ各別ニ報告ス可キ者ナラハ當初調査委員ニ付託スルニ際シテ其旨ヲ明示シ議長モ其時ニ於テ各別ニ調査ス可キコトヲ明告スルヲ要ス然ルニ既ニ其事ナカリシヲ觀レハ其連帶タルヤ推ス可シ況ヤ報告案ヲ三分シテ決ヲ取ルハ能ハサル所ナルヲヤ縱令ヒ「又ハ」等ノ接續詞ニ據テ之ヲ分截スルヲ得ルト爲スモ其抑揚照應ハ分截ス可ヲサルヲヤ故ニ議論ハ三案ヲ連帶シ決議ハ三案ヲ分別センコトヲ望ム蓋シ此議ヲ決スレハ枝葉ノ紛議ヲ解クノ捷徑タル可キヲ信スレハナリ

○議長 十一番ニ問フ第三次ノ調査委員ヲ設クル建議ハ未タ賛成者ヲ得サレトモ各位モ時機尙早シト説ク有リ知ラス十一番ハ今ニ於テ直ニ建議ノ決ヲ取ルヲ望ムヤ將タ時機ヲ待テ之カ決ヲ取ルヲ望ムヤ

○十一番 楠本正隆

本官ハ全ク連帶取決ヲ欲スル精神ナルモ異論者ノ多數ナルト議事規則ニ反クト云フヲ聞ケルトヲ以テ已ムヲ得ス前陳

ノ建議ヲ爲セリ此建議ヲ決スル緩急ハ議長ノ裁度ニ委セントス

○議長 十一番ハ其建議ヲ決スル緩急ヲ本席ノ裁度ニ委セリ四十番ハ取決ノ議論三派ニ分レリト云モ本官ハ二派ニ分レリト信ス即チ其一ハ本席ノ説即チ三案各個ニ決ヲ取り之ヲ詳言スレハ報告案ヲ三分シテ決ヲ取ルト其一ハ報告案ニ據テ一時ニ取決スル説是ナリ然レトモ後説ノ如キハ議事規則ニ悖戾スト信ス大凡ソ各議案ヲ各別ニ討議スルモ彼此相ヒ關連スル事項ハ此ヨリ彼ニ論及スルハ妨

ケ無シ故ニ各號各別ニ決ヲ取ルモ何ノ混雜カ之レ有シ然ルモ仍ホ各位ニ於テ同時ニ取決スルヲ要セハ其可否ヲ議場ニ問フ可キノミ然レトモ特ニ各位ニ告ク此取決法ハ變例ニシテ本則ニ非サルコトヲ本席ハ第四百二十八號議案ノ布告案ハ之ヲ朗讀セシメタルモ第四百二十九號及ヒ第四百三十號ノ二議案ハ未タ其布告案タモ朗讀セサルニ第二讀會ノ逐條議ヲ爲ス可キ場合ニ於テ之カ存廢ヲ決スル如キハ實ニ規則ニ反クヲ知レトモ先ツ議場ニ問フニ八番ノ建議ノ可否ヲ以テス可キナリ

○八番井田讓 過刻議長ハ報告案ヲ以テ問題ト爲ストノ演告ニ從ヒ即チ連帶取決スルコトヲ建議セシモ只今ノ演告ニ據レハ現問題ハ第四百二十八號議案ナリト云ヘリ知ラス前後其孰レニ適從ス可キヤ

更ニ明示スルヲ煩ハス

○議長 現問題ト云ヘル一語ヲ誤解セハ紛雜ヲ來サン只今ノ現問題ハ報告案中ノ第四百二十八號議案ヲ廢棄ニ付スルト論セル一節是ナリ

○外一番安場保和 本案ノ急施ヲ要スル事情ハ屢之ヲ陳述セシニ不幸ニシテ議論紛出セリ其議論ノ紛出スルハ素ヨリ喜フ所ナレトモ只恨ム議事規則ノ議論ノ爲メニ兩三日ヲ費シ今日モ既ニ晩景ニ向ントスルニ亦尙ホ本題ノ議論ニ及ハス今ヤ本官等ノ本席ニ在ルハ無用ナルニ似タリ各位ノ規則如何ヲ論スルハ當然ナレトモ本官輩ニ關係セサルヲ以テ此議論ノ完結スルマテハ他ニ負荷スル公務ヲ理スル爲メニ本院ヲ退キ更ニ通牒ヲ待テ出席セント欲ス然レトモ此ノ

如キ例規アルヤ否ヤヲ知ラサルヲ以テ敢テ議長ニ質ス

○議長 本院ノ議事規則ニ關シテ紛議ノ生シタルナレハ先ツ之ヲ決スルニ非サレハ本案ヲ討議スル能ハス然レトモ只今ノ建議ノ決ヲ取ラハ大抵本案ヲ討議スルニ至ル可シト信ス果シテ然ラハ必シモ退席シテ通牒ヲ待ツヲ要セサラン

○四十番 三浦安 本官ノ建議ハ三派ノ說ヲ舉ケ而シテ其取決ノ順序ハ議長ノ裁度ニ存スルコトヲ述ヘシニ只今議長ノ演告セル所ニ據レハ第二說即チ一併取決說ハ規則ノ禁スル所ト做シテ之ヲ收銷セルニ似タレトモ本官三十番等ハ皆此ノ如クシテ可ナリト信スルヲ以テ第一說第二說ヲ束閣シテ第三說ノミヲ取決セントスルハ甚タ喜ハサル所トス故ニ第二說ハ他日別ニ大ニ議定セル有ル可シト信ス

レトモ今日ハ先ツ便宜ヲ圖リテ此建議ヲ爲スノミ實ニ本官ハ三說

○共ニ議決ニ付センコトヲ切望ス

○三十番 柴原和 八番ノ建議セル取決方法ニ關シテハ本官甚タ其去就

ニ惑フ即チ本官ハ報告案ノ消滅シテ原案ニ復センコトヲ望メル論者ナリ今若シ八番ノ建議ノ決ヲ取ラハ其建議ノ或ハ勝ヲ制センコトヲ恐ル故ニ本官ハ議長ヨリ調査委員ニ問フニ三案連帶ノ取決ヲ

望ムヤ否ヤヲ以テシ而ル後ニ八番ノ建議ノ決ヲ取ンコトヲ望ム

○四十二番 長岡護美 四十番ノ建議中ニ他日其規則ヲ議ス可シト云ヘリ故ニ本日ハ議長ノ意見ヲ以テ毎案ニ決ヲ取ラハ可ナラン敢テ之ヲ建議ス

○四十番 三浦安 三様ニ取決セスト爲サハ請フ其處置方法ヲ聞シ

○議長 八番ノ建議セル如ク三案連帶シテ取決スルニ可決セハ更ニ
其他ヲ問フヲ要セス又若シ否決セハ更ニ毎案ニ取決スルコトヲ演
告ス可キナリ

○二番 渡邊 洪基 八番ノ建議ハ三案連帶シテ取決スルニ在リヤ

○議長 然リ

○二番 渡邊 洪基 然ラハ八番ノ建議ニシテ否決セハ三議案毎個ニ決ヲ取
ル可キモ其各案ニ對シテハ復タ廢案說ヲ發スルヲ得サルヤ

○議長 固ヨリ然リ建議ニ可決セハ三案ヲ合セテ廢棄シ否決セハ各

案ニ對シ修正說ヲ提出スルヲ得ルノミ

○二十八番 箕作 麟祥 本官ハ取決方法ノ如何ヲ論セス故ニ必シモ三案連
帶ノ取決ヲ望マス到底本案ノ存廢ハ議場ノ多數ニ決スルナレハ取

○決方法ノ如何ニ因テ或ハ存シ或ハ廢スル如キ意外ノ結果ヲ來ス可
キニ非ス公然タル議場ノ決議ヲ待ンノミ從來一修正說ヲ提出セル
場合ニ於テ分段取決セル事例ハ多ク之レ有リ故ニ三說ノ取決順序
ハ何様ニ之ヲ定ムルモ多數ノ意見ノ歸スル所ニ委ス可キナリ調査
委員ハ一致シテ以テ強テ三案連帶ノ取決ヲ望ムニ非ス

○二番 渡邊 洪基 只今報告案ヲ議題ト爲スノ可否決ヲ取ルハ可ナレトモ

若シ報告案ヲ三原案ニ對シテ可否決ヲ取り而シテ報告案ニ可決セ

○ハ三原案ハ既ニ議ス可ラサル者ト爲ル故ニ四十番ノ動議ヲ先ツ議
場ニ間ンコトヲ望ム此二說ナレハ三案存廢ヲ異ニスルヲ得レハ願

○クハ八番ノ建議ノ取決ヲ後ニセンコトヲ

○議長 八番ノ建議ハ最先ニ提出シタル者ナレハ先ツ之カ決ヲ取ル

○可シ要スルニ其結果ハ同一ニ歸センノミ
○三十番柴原和八番ノ建議ニシテ消滅セハ原案ニ復シテ之ヲ議スル

○議長 決シテ然ラス連帶セル者ヲ三分セス三案ヲ合シテ一案ト看

做スヲ可トスルヤ否ヤヲ議場ニ問フナリ

○二番渡邊洪基 然ラハ三案ヲ連帶議題ト爲スヤ否ヤノ決ヲ取ルニ在ル

乎

○議長 然リ八番ハ三議題三取決ト爲ストキハ混雜ヲ生シ且是レ報告案ノ精神ニ反ス故ニ合併シテ一議題一取決ト爲ス可キヲ建議セ

ルナリ

○四十二番長岡護美 本官ハ四十番ト意見ヲ異ニシ又八番トモ意見ヲ異

ニス

○議長 四十二番ハ取決方法ヲ本席ノ意見ニ委セハ可ナレトモ然ラ

サレハ後ニ至リ又混雜ヲ生セントス

○四十二番長岡護美 本官ハ唯好ム所ニ起立スルコトヲ言フノミ

○二番渡邊洪基 連帶シテ問題ト爲ス可否決ヲ取ルナレハ本官モ之ヲ是

認ス

○議長 報告案ヲ連帶取決ニ付スルヤ否ヤヲ問フナリ

○二番渡邊洪基 唯今ノ取決ハ報告案ヲ三議題ニ分ツヤ又ハ一案ト爲ス

ヤニ係ル可シ然ルモ連帶ノ一議題ト爲シ而シテ可否決モ之ニ從ハ

ントスルヤ將タ可否決ヲ取ルニ非サルヤ

○議長 然リ可否決ヲ取ルニ非ス

○二番 渡邊 洪基 其可否決トハ問題ノ可否決ナリヤ

○議長 八番ノ建議ヲ決スルナリ

○議長 八番ノ建議即チ第一讀會以來三案ヲ連帶シ調査委員モ連帶

シテ報告案ヲ提出シタルヲ以テ一議題一取決ト爲ス可シトスル建

議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十三人

○議長 多數ナルヲ以テ八番ノ建議ニ決ス蓋シ第四百二十九號第四

百三十號議案ハ未タ朗讀ヲ經サレトモ既ニ八番ノ建議ニ決シ且數

日來討論ヲ經タル者ナレハ三案ノ存廢ヲ一時ニ決ス可シ故ニ既ニ

朗讀セシ者ト看テ報告案ニ對シ發議セヨ即チ報告案ヲ以テ問題ト

爲ス

議長退席三十六番 細川 潤次郎 議長席ニ就ク

○議長 議長ハ所勞ニ因テ退席セリ故ニ本官之ニ代理ス

○四十番 三浦 安 只今問題ノ始メテ確定セシハ喜フニ堪タリ報告案ニ

對スル反對論ハ過日以來既ニ之ニ答辨シ併セテ本官ノ一己ノ思想

ヲ陳タルニ反對者ノ駁撃ヲ來セリ然ルニ一己ノ思想ヲ陳タル爲メ

ニ報告案ニ瑕疵ヲ與フルハ本意ニ負ク因テ更ニ一己ノ資格ヲ以テ

辨明セサル可ラス本官ハ我カ國體ハ上ヨリ下ニ及ホシ下ヨリ上ニ

及ホサス區町村議會ノ會議ハ協議ト性質ヲ同ウスト云ヒシニ十二

番ハ之ヲ駁難セリ見ニ本官ノ住居スル本府下京橋區ノ如キハ戸

協議費ヲ出セリ蓋シ區町村會ヲ開設セル地方ハ其會議ニ於テ公共

ノ費用ヲ決定スルモ其他ハ協議ヲ以テ之ヲ決定スルハ府縣皆然ラ

サル無シ到底會則ノ存スレハ會議ト云ヒ會則ノ存セサレハ協議ト云フノミ但タ祭禮ノ費用ノ如キハ公共ノ費用ニ非ス本官ノ所謂協議ハ公共費用ヲ決定スル爲メニスル協議是ナリ是等ハ名ノ異ナルヲ以テ實モ亦異ナリト云ハハ然ク云フヲ得ヘキモ皆是レ協議ナルノミ十二番ハ政制ハ上ヨリ下ニ及ホスモ凡ソ施政ノ要ハ民ヲ治ムルニ外ナラスト云フハ實ニ然リ然レトモ本官ハ國會ト云ヒ政府ト云フモ皆其下ヨリ上ニ及ホスハ外國ノ制度ニシテ我カ日本ハ決シテ然ラス我邦ニ議會ヲ設ケ議長ヲ置キ議案ヲ發スルハ西洋ノ例法ニ倣ヘル者ニシテ即チ新創ノ制度ナリ且夫レ常衣ヲ脱シテ遽カニ禮服ニ換フルトキハ甚タ嚴肅ニ失セン即チ嚴肅ノ法律ヲ區町村會等ニ施スハ不可ナラン今日ニ在テハ地方長官ノ伸縮ニ委スルヲ民

度ニ適當ナリトス町村會ノ弊害ヲ矯正スルハ本官モ是認スル所ナレトモ之ニ法律ヲ加フルハ嚴肅ニ失ス故ニ地方官ノ檢束スルニ止メテ可ナリ明治十三年ノ改正府縣會規則ハ三十六條ナリシニ十四五年ニ至リ凡ソ十七八條ヲ改正セリ是等ノ改正ハ實ニ修繕ニ止マリ其基礎ハ依然存立ス之ヲ譬フルニ在來ノ家屋ヲ毀撤シテ新ニ建築スルト在來ノ家屋ニ修繕ヲ加フルトノ差異ノ如シ是ヲ以テ今日ハ在來ノ家屋ニ修繕ヲ加フル如ク見行區町村會法ノ第一條第三條第八條ヲ改正シテ其缺漏ヲ補ヘハ足ル之ヲ毀撤シテ新ニ建築スル如キハ見行法ノ主義ニ反ス斯ノ如ク論到シテ原案ヲ廢棄セント云フモ決シテ現在ノ弊害ヲ矯正セスト云フニ非ス其旨趣ハ報告案ニ詳具ス且此三原案ハ互ニ相ヒ關連スル者ナルヲ以テ一ヲ存シテ二

ヲ廢ス可キニ非ス戸長ヲ官選スルヨリ之ヲシテ町村會ニ議長タラシメ隨テ區町村費ニ及フナレハ三原案其存廢ヲ同ウセサル可ラス以上聊カ十二番ノ駁說ニ答辨ス

○十二番榎村正直 本官ハ強テ四十番ヲ駁撃スルニ意アリシニ非サレトモ四十番ノ說ク所ハ日本ノ國體ト外國ノ國體ト元來其大本ヲ異ニスルカ故ニ町村會ノ如キハ却テ整肅ナラサルヲ善シトスト云フニ似タルヲ以テ本官ハ國體ハ彼此之ヲ異ニスルモ施政ノ要ハ安民ニ外ナラスト云ヒシノミ又其協議ノ事タル原案ニ町村費ト言ヘル者ヲ調査委員ハ協議費ト爲スコシト云フニ在リ抑モ町村費ト言ヘハ其費目自ラ明白ニシテ戸長役場費衛生費學校費等ヲ分別スルヲ得レトモ協議費ト言ヘハ千差萬別タル町村費中即チ町村神社祭禮ノ

費用等敢テ公共ニ關セサル費用ノ怠納ノ爲メニ或ハ公賣處分ニ遣フ無キヲ保セス思フニ町村神社祭禮ノ費用ハ從來一町村ノ負擔スル所ナレハ其性質或ハ會議ニ付スコキニ似タレトモ原案ニハ是等ノ費目ヲ削去セリ故ニ此費用ヲ出ササルモ公賣處分ニ遣フコト無シ要スルニ是等ノ費用ハ協議ニ委シ他ノ公共費用ハ法律ヲ以テ確定スルヲ可トス

○四十五番神山郡廉 本官ハ此三議案ニ對シテハ第一讀會以來未タ嘗テ一言ヲ發セサルモ下付原案ヲ贊成ス其理由ハ各位既ニ詳陳シ復タ餘蘊ヲ留メサルヲ以テ本官ノ贅辨ヲ要セサルモ抑モ此三議案ニ對スル廢棄說ハ本官ノ解セサル所トス蓋シ此ヲ廢棄セン乎必ス地方議會ニ關係ヲ及ホササル可ラス既ニ府縣會ノ設ケ有リ何ソ區町村

會ノ設ケ無ル可ケンヤ但タ其弊害ハ必ス之ヲ矯正セサル可ラサル
 ノミ明治十三年ニ在テ其廢棄說ヲ提出セス今ニ及テ之ヲ爲スハ時
 既ニ晚シトス且ヤ國會ノ開設モ近キニ在ルナレハ若シ地方議會ノ
 弊害ヲ見ルヤ縱令屢々法律ヲ改正スルトノ物議ヲ招クモ亦已ム可
 キニ非ス或ル地方ニ於テハ其地方議會ノ行政議會タルコトヲ知ラ
 スシテ立法議會ナリト思惟シ隨テ國會ノ準備ヲ爲ス如キノ弊害ヲ
 見ル此弊害ヲ矯正スルハ法律ノ力ニ非サレハ能ハス明治十四年ニ
 ハ府縣會ノ弊害ヲ觀テ其規則ヲ改正セリ然ラハ則チ今日區町村會
 ノ弊害ヲ觀ハ亦宜ク其規則ヲ改正スヘキナリ且夫レ地方稅ト區町
 村費トノ區別ハ必ス明白ナラシムルヲ要ス然リ而シテ町村費ト協
 議費トヲ區別スルニハ議會ヲ措キテ何者カ能ク之ヲ爲ス可キヤ是

ニ由テ之ヲ觀レハ現行法既ニ不可ナリ又些少ノ修正ヲ之ニ加フル
 モ亦不可ナリ必ス原案ノ如クセサル可ラス論者ハ下付原案ハ禮服
 ヲ着ケタル如キ莊嚴ナル者ノ看ヲ爲スト論スレトモ焉ソ知ラン地
 方議會中ニハ或ハ甲冑ヲ着クル如キ者ノ在ル有ルヲ試ニ看ヨ民間
 ノ事情ハ大ニ進歩シ復タ昔日ノ團樂會ヲ以テ協議スルヲ得ヘキニ
 非ス區町村會ノ施政ニ便ナル一例ヲ舉レハ從來或ハ人民ト戸長ト
 ノ間ニ謂レ無キ疑ヲ起シ戸長私ヲ行フ等ノ飛語ヲ造リ竹槍席旗以
 テ戸長役場ヲ毀壞スル有リシモ區町村會ヲ開設セル以來ハ若シ疑
 フ可キ有レハ議員之ヲ戸長ニ質スノミナラス戸長ハ會計年度毎ト
 ニ其町村費用ノ支出收入ヲ町村人民ニ公告スルヲ以テ復タ謂レ無
 キ疑ヲ起スコト無シ彼ノ土木費等ノ課收ノ爲メニ關係人民ノ互ニ

軋轢スルコト有ルモ其之ヲ調和スルハ實ニ議會ニ賴ル論者或ハ下
 付原案ヲ布告スルトキハ費用ヲ増加スル如ク論スレトモ之ヲ既往
 ニ徴スレハ決シテ其虞ナキヲ保ス可シ且夫レ人民ハ敢テ悉ク戸長
 ノ發案ニ同意スル者ニ非ス今日以前ニ在テハ七圓ノ費用金ヲ徵收
 スル爲メニ議會ヲ開テ三十六圓ヲ費セシ等ノコト有リシナランモ
 本案ヲ布カハ是等ノ弊害ハ一掃センノミ
 ○十一番楠本正隆 既ニ取決ノ時機ニ迫リ各位ノ意見ハ確定セシナラン
 モ本官ハ本問題ヲ提出セシ一人ナルヲ以テ聊カ其理由ヲ陳述セン
 抑モ本官ノ執ル所ノ意見ハ行政ト財政ト並行ス可ラスト云フニ在
 リ今日下付原案ヲ布カハ必ス財政上ニ困難ヲ來タサントス協議費
 ノ名義ヲ以テスレハ同一事物ニ對シテ一年ニ兩三回モ課徴スルヲ

得レトモ苟モ法律ヲ以テ費目科目ヲ確定スルトキハ然スル能ハス
 例スルニ隄防費ヲ地方ニ負擔セシメンカ之ヲ地方ニ負擔セハ人民
 ノ困難ヲ致ス可キヲ以テ現ニ國庫ヨリ補助セルニ非スヤ假令國庫
 ヨリ補助スト云フモ其資本ハ之ヲ地方人民ニ取ラサル可ラスト財政
 上ノ現況此ノ如クナレハ必ス地方ノ逋債ヲ増サントス然ルニ今日
 實際支障ヲ見ル無キニ戸長ヲ新選シ會法ヲ改更シ區町村費ノ課目
 等ヲ確定スルトキハ必ス隨テ費用ヲ増加ス可シ我邦ノ人民ハ小作
 人其多數ヲ占ム然ルニ此小作人ニシテ協議費ヲ出スヲ得ルハ甚々
 怪ム可キ如クナレトモ是レ蓋シ協議費ナルカ故ナリ然ルヲ法律ヲ
 以テ費目ヲ定メ即チ地方ノ負擔ヲ動カス可ラスト基礎ニ定ムルハ
 其不可ナル知ル可シ凡ソ嚴密ナル法律モ時ニ或ハ必要ナレトモ本

官ハ今日少シク檢束ヲ加ヘハ足ル可シト信ス本官等ノ廢棄說ヲ提出セル理由ハ一國ノ財政上ニ基ケリ又凡ソ行政ノ施設ハ務メテ簡易ナルヲ要ス今ヤ遠カラス國會ヲモ開設セントスルニ際シ政府ノ憂フル所ハ一ニシテ足ラサレトモ蓋シ人民ノ意思ヲ採取セントスルニ外ナラス論者ハ見時ノ町村會ノ景況ハ青年書生ノ横行スル所ト爲レハ充分ニ規則ヲ嚴肅ニシ以テ之ヲ防禦セントスルモ凡ソ人ノ感觸ハ各自各様ニシテ本官ハ今日以前ノ實驗ニ據ルニ規則ヲ嚴肅ニセハ反テ種種ノ弊害ヲ來サン寧ロ寛和以テ之ヲ處センコトヲ欲ス蓋シ規則ヲ嚴肅ニセハ却テ惡感觸ヲ青年書生ニ起サシメ以テ騷擾ヲ招ク可キノミ又町村ハ協議ヲ以テ辨理スルヲ得ハ宜ク協議ニ委スヘシ軍團ノ制度ヲ町村ニ施スハ一將ニシテ十旅團ヲ率フル

ト同一ナリト謂ハントス故ニ人民ハ此法律ニハ屈從ス可キモ地方町村ニハ軍團政治ヲ施ス可キニ非ス元來原案ハ修正スルヲ得ヘクハ修正ヲ加ヘント欲セシモ其主義全ク反對ニ在ルヲ以テ遂ニ之ヲ廢棄スルニ決シタルナリ

○議長 既ニ本問題ノ決ヲ取ル可キ機會ト信ス本問題ハ連帶取決ナレハ三案連帶ノ廢棄說ナリ之ニ同意スル者ハ起立セヨ
起立者九人

○議長 少數ナルヲ以テ報告案ハ消滅シ即チ原案ニ復ス因テ修正等ノ發議アル可キモ本日ハ會議ヲ此ニ止メ明日例刻ヨリ之ヲ開カン散會セヨ

午後第四時閉場

元老院會議筆記明治十七年三月二十五日

禁傍聽

○第四百二十八號議案

地方稅規則第三條第二讀會三月二十四日ノ續會

○第四百二十九號議案

區町村會法改正ノ儀 同

○第四百三十號議案

區町村費規則制定ノ儀 同

議長代理細川潤次郎

出席議官

二番 渡邊 洪基

七番 官本 小一

九番 神田 孝平

十二番 榎村 正直

十三番 大久保一翁

十四番 田邊 太一

十七番 福原 實

二十番 林 友幸

二十一番 伊丹 重賢

二十五番 西村 貞陽

二十七番 渡邊 清

二十八番 箕作 麟祥

三十一番 上杉 茂憲

三十五番 鍋島 直彬

三十七番 津田 眞道

四十一番 西 周

四十二番 長岡 護美

四十五番 神山 郡廉

内閣委員 番外二番 参事院議官補牧 朴眞

午前第九時五十分開場

○議長 本日議長ハ他ノ公用アリ副議長ハ疾病ノ故ヲ以テ本官之ニ代理シ第四百二十八號以下三議案第二讀會ノ續會ヲ開ク三案廢棄說ハ昨日消滅ニ歸シタルヲ以テ原案ニ復シテ順次ニ之ヲ議ス可シ

出席 三十番 柴原 和

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

明治十三年 四月 第拾六號布告地方稅規則第三條第十五項左ノ通改正

ス

一戸長及戸長役場書記給料旅費

右奉 勅旨布告候事

出席

四十番 三浦 安

同 三十三番 關口 隆吉

同 十一番 楠本 正隆

同 二十四番 大鳥 圭介

○二番 渡邊 洪基 本官ハ本案ニ對シテ修正說ヲ有ス本案ハ前日モ陳辨セ

シ如ク畢竟戸長ノ制度ヲ改良スルニ在ルモ昨日消滅セシ報告案ニ
論スル如ク町村ヲ聯合シテ戸長ヲ置クハ不可ナリ尙ホ之ヲ細論ス
レハ本案ノ旨趣タル戸長及ヒ書記ノ給料旅費ヲ舊ニ仍テ地方税ノ

負擔ト爲シ其職務取扱費ヲ割キテ町村費ニ屬シ且法律ヲ以テ新ニ
町村用掛ナル者ヲ置キ其給料ヲ町村費ニ歸セントスルニ在リ從前
ハ戸長ノ管轄區域ヲ一町村ニ限り若クハ變則トシテ數町村ニ涉ラ
シメタルヲ改メ今後ハ六七町村即チ平均二方里半許ヲ一管轄區域
ト爲シ一町村ノ事務及ヒ天然ニ聯合ス可ラサル町村ノ事務ハ町村
用掛ヲシテ之ヲ管理セシメントス故ニ實際ニ在テハ從前ノ戸長ノ
上位ニ新ニ戸長ヲ置クニ均キ結果ヲ生シ而シテ其效用ノ如何ヲ問
ヘハ到底八目十耳ヲ具フル人ニ非サル以上ハ六七町村ヲ合セテ管
理スル能ハサラン見ニ今日スラ我邦戸長ノ事務ハ之ヲ佛國戸長ノ
事務ニ比スレハ其繁多ナル幾ント十八倍セリト云フ事務ノ整頓セ
サル亦宜ヘナラスヤ今日且然リ今後町村ヲ聯合スルトキハ其煩雜

愈ヨ甚キヲ加フルヤ必セリ加之本案ニ據レハ町村吏員ノ數ヲ増セ
 ハ其費用モ亦隨テ増ス可シ但シ本案ハ實ニ已ム可ラサル者ナルモ
 之ヲ措テ他ニ方途ナシト謂フニ非ス本官ノ希望スル所ハ費用ヲ加
 ヘサルト吏員ヲ増ササルトノ二點ニ外ナラス蓋シ吏員ヲ増セハ他
 日減員ヲ要スルニ際シ其措置ニ困ム可キヲ以テ務テ現員ヲ用ヒテ
 町村ノ事務ヲ處理シ且能ク政府ノ旨趣ヲ貫徹セシムル方法ヲ講究
 セサル可ラス因テ本官ハ本案ヲ修正シテ布告案明治十三年四月第拾
 六號布告地方稅規則第三條第十五項削除ス右奉勅旨云云ト爲シ
 戸長及ヒ戸長役場書記ノ給料ト戸長役場ノ費用トヲ二項ニ分チ以
 テ區町村費中ニ加ヘント欲ス抑モ戸長及ヒ書記ノ給料ヲ地方稅ノ
 支辨ニ屬シ而シテ戸長ヲ官選ト爲セハ當ニ郡區長ノ成例ニ違フ支

障ヲ見ルノミナラス其職務取扱ノ費用ハ町村會之ヲ議スル爲メニ
 一管内ニ種種ノ決議ヲ生シ且其戸長及ヒ書記ノ給料ニ關シテハ府
 知事縣令ト府縣會ト意見ヲ異ニシ戸長役場ノ費用ニ關シテハ戸長
 ト町村會ト意見ヲ異ニシ猶ホ前日郡區長ノ給料ヲ地方稅ニ取タル
 コトキ混雜ヲ生シ其決議ヲ不認可ニ付スル場合ノ必ス多カル可キ
 ヲ信ス然レトモ若シ本修正案ニ據テ二項共ニ町村會ノ議決ヲ取ル
 者ト爲セハ能ク此困難ヲ避ルヲ得ントス論者或ハ云ン郡區長ノ給
 料ハ國庫ヨリ支給スルモ郡區役所ノ費用ハ之ヲ地方稅ニ取ル彼此
 相類スルニ非スヤト本官ハ之ニ答ヘテ云ントス郡區役所ノ費用ハ
 府縣會之ヲ議スルヲ以テ管轄内ヲ通シテ一樣ナルモ戸長役場ノ費
 用ハ町村會之ヲ議スルヲ以テ決シテ一樣ナル能ハス是レ其大ニ異

ナル所ナリト論者又或ハ云フ本修正ノ如クセハ人民ノ負擔ヲ増ス可シト本官又之ニ答ヘテ云ントス今日戸長役場ノ事務ノ舉ラサルハ畢竟其極メテ煩雜ナルニ由ルト人民ハ其事務ノ如何ニ注意セサルノミナラス甚キハ之ニ乗シテ自己ヲ利セントスル有リ今夫レ戸長ノ職務中徴兵ナリ收税ナリ地籍ナリ往往ニ整頓ヲ缺キ時ニ不正ノ所爲ヲ見ルハ之ニ委ス可ラサル事務ヲ之ニ委スルニ由ル是レ獨リ本官ノ私言ニ非ス巡察使等ノ皆目撃セル所ナリ然レハ則チ其職務中徴兵收税地籍等ノ事務ハ之ヲ除キ爲メニ別ニ當該官吏ヲ設ケシ乎郡區町村編成法ヲ改正スルニ非サレハ能ハス郡區役所ノ事務ヲ觀ルニ東京ハ區長ニシテ戸長ノ職務ヲ兼ルモ純然タル郡區長ノ職務ハ府知事縣令ノ特任セル條件ヲ執行スルヲ主トシ他ハ府縣廳

ト戸長トノ中間ニ立テ傳達ヲ爲スニ過キス彼ノ收税逃亡身代限等ノ事務ニ關シテハ戸長ノ處理ヲ監視スルニ在リ郡區役所ノ書記ノ如キハ戸長ノ事務ノ舉ラサル爲メニ之ヲ要スル者多キニ居ルト云フ因テ思フ戸長ノ職務中戸籍地籍收税徴兵ニ關スル事件ヲ割テ郡區役所ノ專任ニ付シ其他土木衛生等ノ事務ハ舊ニ仍テ之ヲ戸長ニ委セハ今日ノ戸長ニシテ之ヲ處理スルニ足ル可シ但シ以上ノ事務ヲ郡區役所ニ委任スレハ人民ハ其役所ノ隔遠ナル爲メニ不便ヲ感スルハ或ハ之レ有シ然レトモ此ノ如キハ其支廳ヲ設ルモ可ナリ全國郡區役所ノ吏員ハ郡區長五百名屬員一萬一千一百人許郡區役所ノ費用ハ一百二十三萬圓許ニシテ之ニ其吏員ノ俸給ヲ合算スレハ實ニ三百萬圓ニ上ル巨額ト謂フ可シ又全國内戸長ノ屬員ハ一戸

長ニ一人五分許ノ比例ナルモ前陳ノ如ク其事務ヲ割テ郡區役所ニ委任セハ一人ノ屬員ニシテ足ル可シ故ニ其餘ル所ノ費用ヲ以テ郡區役所ノ費用ヲ補ヘハ郡區役所ノ費用モ乏少ナルヲ憂ヘサラントス其レ此ノ如クナラハ今日見在ノ人員ヲ増減セスシテ其弊害ヲ矯正スルヲ得ン且設令ヒ戸長ヲ官選ト爲シ之ヲシテ町村會ノ議長ヲ兼子シムルモ支障ヲ見サル可シ數町村ヲ聯合シテ一戸長ヲ置キ以テ其數町村ノ内部ニ屬スル事務ヲモ處理セシメハ重沓煩雜ニ困ムノミナラス隨テ冗費ヲ増シ冗員ヲ加ヘントス蓋シ若シ此修正說ニシテ行ハレサルトキハ前陳ノ如キ支障ヲ致ス可キニ因リ各位ノ之ニ同意センコトヲ切望ス

○三十番柴原和

本官ハ建議ヲ爲ス昨日原案ニ復セシ時ニ於テ起立ヲ

表シタレトモ日晷既ニ移レルヲ以テ散會ヲ告ルニ會ヒ本日又發言ノ機ヲ失シテ今ニ追ヘリ抑モ本官ノ建議スル所ハ十一番ノ昨日ノ建議ト相類スル者トス意フニ當時其建議ノ行ハレサリシハ廢案說ノ否決セル以上ハ原案ヲ是認スル歟將タ之ニ修正ヲ加フル歟二者其一ヲ擇フノ外ニハ他ノ方途ナキヲ以テ廢案ノ報告ヲモ爲スコトヲ得ル調査委員ヲ設ルノ失當ナルカ爲メナリ只今二番ヨリ修正說ヲ提出セルモ亦之カ爲メナラン本官モ內閣委員ノ辨明セル如ク現時ノ情況ハ實ニ等閑ニ付ス可ラサルヲ信スレトモ本案ヲ發スルハ弊害ヲ矯正セント欲シテ却テ之ヲ增長セシメンコトヲ恐ル故ニ本案ヲ把テ直ニ發布スルニ比スレハ寧ロ之ヲ發布セサルヲ優レリトス然リ而モ見ニ區町村會ノ設ケ有リテ之ヲ廢止ニ付スル能ハサル

以上ハ時宜ヲ斟酌シテ其會法ヲ改良スルハ亦是レ要用ナラサルニ非ス本官等前日修正案ヲ提出セシモ議場ノ斥クル所ト爲レリ因テ前修正ヨリモ一層善美ナル修正ヲ加フルヲ要ス然レトモ議場ニ於テ修正ヲ加ヘントセハ事端繁雜ニ涉リテ恐クハ好結果ヲ得サル可シ是ヲ以テ今回ハ調査委員ニ非サル修正委員ヲ選定シ以テ之ニ三案ノ修正ヲ付託スルヲ希望ス若シ夫レニ番ノ修正説行ハレ而ル後ニ此建議ヲ爲セハ既ニ議場ニ可決セル修正モ爲メニ消滅ニ屬スル遺憾アルヲ以テ今敢テ之ヲ建議ス

○十一番 楠本正隆 三十番ノ建議ヲ賛成ス本官等前日調査委員トシテ三案廢棄ノ報告案ヲ提出セシモ行ハレス原來本官等ノ廢案ヲ望メル理由ハ此三案ハ普通提轄法案ト同シカラス即チ民政ト財政トニ關

係スル法案ニシテ利害ノ繫ル所殊ニ大ナルヲ以テ十分ニ稽查スルヲ要ス本院ニ於テ修正スル能ハサルニ非サルモ前陳ノ理由ナルカ故ニ先ツ之ヲ廢棄シ以テ行政官ノ反省ヲ促カスヲ欲セシナリ然ルニ既ニ其報告案ノ否決セル以上ハ原案ニ據テ逐條ニ討議セン乎三十番モ云ヘル如ク頗ル繁雜ヲ招キ恐クハ好結果ヲ收ムル能ハサルン然レハ則チ本官ハ本ト修正ヲ欲セサルモ今日ニ在テハ修正委員ヲ置キテ本案ノ修正ヲ付託スルノ外ニ方途ナキナリ

○三十三番 榎村正直 本官ハ三十番ノ建議ニ同意セス抑モ此三案ハ初メ調査委員ニ付託スルニ決シ本官モ委員ノ一人トシテ反覆審議セル後チ修正ヲ加ヘ以テ其報告案ヲ提出セリ然ルニ議場ニ在テハ之ヲ非視スル者頗ル多ク乃チ再ヒ修正ヲ加ヘテ之ヲ補ンコトヲ陳タル

ニ衆議之ヲ不可トシ原案ニ復シテ討議セル後チ復タ調査委員ヲ置クニ決セリ其時本官再ヒ委員ノ選ニ當リ委員中ノ多數意見ヲ以テ遺憾ニモ原案ヲ廢棄スル報告案ヲ提出セシニ亦復タ議場ノ斥クル所ト爲レリ是ニ由テ之ヲ觀レハ今又修正委員ヲ置キテ修正案ヲ提出スルモ其議場ニ行ハレサルヤ必セリ然レハ則チ之ヲ爲スモ徒勞ノミ寧口議場ニ在テ逐條ニ之ヲ議シ原案ヲ採ルモ將タ修正ヲ加フルモ衆議ノ在ル所ニ從フヲ得タリトス委員ヲ設クルハ議事ノ速進ヲ欲シテ却テ妨阻スルノ恐レ有リ故ヲ以テ縱ヒ夜陰ニ迫フモ本官ハ原案ニ據テ逐條ニ之ヲ議スルヲ欲ス

○四十番 三浦安

三十番ノ建議ハ甚タ善シ原來此三案ハ人民ノ休戚ニ直接ノ關係ヲ及ホス者ナルヲ以テ當初調査委員ヲ置タルモ其修正

報告案ハ嫌タラサル所アリテ行ハレス爾後本官等再調査委員ト爲リ各官ノ議論ヲ斟酌シテ廢棄報告案ヲ提出セシモ亦行ハレス蓋シ是レ初メハ修正ヲ不可トシ後ニハ廢棄ヲ不可トスル如キ首尾貫徹セサル有ルニ似タルモ善ニ從フ流ルカ如シトノ格言ノ意ニ出テ各官中ニ持説ヲ變セシ者アルニ由ル可レハ敢テ批難スルヲ須ヒス今ヤ本案ニ據テ討議スルニ方リ少小ノ修正ヲ加フルニ止マラハ議場ニ於テ逐條ニ之ヲ議ス可キモ數多ノ修正ヲ加ヘサル可ヲサルヲ奈何セン特ニ委員ヲ選フニ如カス然ラサレハ大ニ混雜ヲ生シ意外ノ結果ヲ見ル有ル可シ要スルニ此三案ハ數回之ヲ委員ニ付託セシモ仍ホ紛議ヲ免レサル如キ困難ノ法案ニ係ルノミナラス兩三日以來議論他事ニ涉リ各官爲メニ厭倦ノ色ナキニ非サレハ此際委員ヲ選

定スルハ實ニ事ノ宜キヲ得タル者ト信スルナリ

○九番 神田孝平

三十番ノ建議ヲ賛成ス

○二番 渡邊洪基

本官ハ三十番ノ建議ニ左袒スル能ハス抑モ委員ヲ設ルハ原案ニ據テ逐條ニ之ヲ議シ紛議ヲ生セル後ニ於テスルモ未タ晩カラス否ナ帝ニ晩カラサルノミナラス之ニ先タチテ委員ヲ設ルハ寧口無用ナリト謂フ可シ蓋シ本官ノ提出セル修正說ノ地ヲ爲スニハ三十番ノ建議ハ便利ナルニ似タルモ是レ私情ナリ今ヤ一場ノ紛議タモ無キニ委員ヲ設ルハ恐クハ條理ニ反セン況ヤ本案ノ急施ヲ要スルニモ拘ラス數回委員ヲ選定シ爲メニ決議ノ澁滯ヲ致ス如キハ本院ノ失體タルヲ免レサルヲヤ故ヲ以テ本官ハ本案ニ據テ逐條ニ之ヲ議スルヲ可トス

○四十二番 長岡護美

三十番ノ建議ヲ賛成ス昨日消滅セル報告案ニモ載

見スル如ク現行區町村會法第一第二第三第八ノ各條ハ斷然ニ改正ヲ加ヘサル可ラス今若シ下付三案ヲ否決セハ行政上ニ支障ヲ致スヲ奈何セン是レ蓋シ第二次報告案ノ消滅セシ所以ナル可シ是ヲ以テ本官ハ本案ヲ修正シテ今日行政上ノ障礙ヲ除却スルニ足ラシムル法案ト爲スヲ望ム因テ修正委員ヲ置クコトニ同意ス

○二十四番 大島圭介

本官モ修正委員ヲ選定スルニ同意ス抑モ此三案ハ重大ノ關係ヲ有スル者ナルヲ以テ反覆討議ヲ經テ而ル後ニ委員ヲ置キ以テ之ニ調査ヲ付託シ而シテ其修正報告案ハ議場ニ否決セルヲ以テ再ヒ調査委員ヲ設ケシニ其廢棄報告案モ亦行ハレス抑モ急施ヲ要スル本案ニシテ下付以來荏苒日子ヲ經過スルハ頗ル憾ム可

キモ是レ本案ノ改正ハ激變ニ過キ人民ニ惡感觸ヲ生セシムルヲ恐
 ルルノ故ニ由ル畢竟各官ノ鄭重視スル爲メニ議決ノ澁滯ニ坐スル
 ハ寧ロ美事ト謂フ可キノミ三十三番并ニ二番ハ更ニ修正案ヲ作ル
 モ其結果亦前回ト同シカル可シト云フモ初メ修正報告案ノ成レル
 時ト今日トハ各官ノ思想モ異ナル有リ見ニ本官ノ如キハ前日ハ以
 爲ク這般ノ改正ハ行政官ニ便宜ヲ與フ可キモ然ク町村ノ施治ニマ
 テ干涉スルハ得策ニ非ス彼ノ未丁年者ヲ議員ト爲シ若クハ會場ニ
 在テ云フ可ラサル激論ヲ吐ク如キノ弊害ハ今日或ハ之レ有ルモ全
 國一般ニ通觀セハ是等ハ稀ニ有ル所ノ者ニシテ所謂ル例外ノ事ノ
 ミ本案ニ據ルモ亦他ニ弊害ヲ來ス無キヲ保セス故ニ本案ハ徹頭徹
 尾廢棄セサル可ラスト然ルニ昨日ハ廢棄報告案ノ取決ニ起立セサ

リシ是レ町村會法ヲ改正スルハ幾分カ今日ニ要用ナルヲ以テ若シ
 修正其宜キヲ得ハ必シモ廢棄スルヲ要セストスル念慮ヲ起シタル
 ニ由ル議場ノ景況ノ前日ト異ナル此ノ如シ然ルヲ逐條原案ニ據テ
 之ヲ議スルトキハ前後其旨趣ヲ異ニシ或ハ條理ノ貫徹セサル修正
 ニ決スルモ亦未タ知ル可ラス委員ヲ設レハ此顧慮ヲ要セス然レハ
 則チ先ツ委員ヲ設ケ其修正案ニ據テ更ニ幾分ノ修正ヲ施サハ庶幾
 クハ行政官ニ便宜ヲ與ヘ且人民ニ惡感觸ヲ生セサラシムルヲ得ン
 是レ本官ノ三十番ニ同意スル所以ナリ

○二十八番 麟祥 本官モ三十番ヲ賛成ス議場ノ景況ハ千變萬化實ニ
 窮極スル無シ第一讀會ニハ廢案說幾ト十ノ七八ヲ占メ而シテ當時
 選定セル調査委員ノ修正案ハ頗ル議場ノ意想ヲ斟酌セシ者タルモ

之ヲ問題ニ付スヤ乍チ否決スルニ會フ然ルニ其消滅セシハ各官ノ
 原案ヲ是認セシニ由ルニ非ス廢棄ヲ欲セシニ由ルヤ疑ヒ無シ然ル
 ○ニ再調査委員ヲ選定シ本官モ其選ニ當レルヲ以テ廢棄報告案ヲ提
 出セシニ又否決スルニ會フ蓋シ第一報告案ノ消滅セル以上ハ第二
 報告案ノ必ス行ハル可キニ昨日ニ至テハ却テ多數ノ意見ハ原案ヲ
 維持シ若クハ修正スルヲ欲スル者ノ如シ其レ然リ今日若シ前日消
 滅セシ第一報告案ヲ提出セハ或ハ多數ヲ占ルナル可シ想フニ修正
 委員ヲ設クレハ徒ラニ日子ヲ費スト駁スル有ルモ某議官ノ辨スル
 如ク條數頗ル多キ本案ニ對シ各官議場ニ修正ヲ提出スルトキハ前
 後齊整ナラサル修正ニ決スル無キヲ保セス但シ第三讀會ニ於テ補
 繕スル能ハサルニ非サレトモ第二讀會ニ在テモ齊整ナル修正ヲ期

セサル可ラス且今委員ヲ選定スルモ委員ハ第一報告案ヲ斟酌シテ
 原案ヲ修正スルニ過キサル可シ然レハ則チ其修正ハ三四日ヲ出テ
 スシテ脱稿シ而シテ其修正案ノ議場ニ成立スルヤ必セリ是ニ由テ
 之ヲ觀レハ委員ヲ設ルト否ヲサルト其孰レカ時日ヲ徒費スルヤヲ
 知ルニ足ラン本官ハ寧ロ委員ヲ選定スルヲ可トス

○議長 取決ノ時機既ニ至レリ三十番ノ建議ニ同意スル者ハ起立セ
 ヨ

起立者十二人

○議長 多數ナルヲ以テ三十番ノ建議ニ決ス乃チ投票ヲ以テ五名ノ
 全部付託修正委員ヲ選定セヨ

此間投票ヲ行フ

八番 井田 八護

九番 神田 孝平

十一番 楠本 正隆

十二番 横村 正直

十四番 田邊 太一

十七番 福原 實

十九番 河田 景與

二十番 林 友幸

二十四番 大鳥 圭介

二十五番 西村 貞陽

二十六番 野村 素介

二十七番 渡邊 清

二十八番 箕作 麟祥

三十番 柴原 和

三十一番 上杉 茂憲

三十二番 鷺尾 隆聚

三十三番 關口 隆吉

三十六番 細川 潤次郎

三十七番 津田 真道

三十九番 伊集院 兼寛

四十番 三浦 安

四十一番 西 周

四十二番 長岡 護美

四十五番 神山 郡廉

内閣委員 番外 一番 参事院議官安場 保和

同 番外 二番 参事院議官補牧 朴眞

同 番外 三番 参事院員外議官補白根 專一

午前第十時十五分開場

○議長 本日ハ第四百二十八號第四百二十九號第四百三十號三議案
第二讀會ノ續會ヲ開ク然ルニ此三議案ハ前會ニ於テ修正委員ニ付
託シ其報告案ハ既ニ各位ニ配賦セリ因テ之カ朗讀ヲ省キ今先ツ議
題ニ付スル本案ヲ定メン

布告案

明治十三年^四月第拾六號布告地方稅規則第三條第十五項左ノ通改正
ス

一戸長及戸長役場書記給料旅費

右奉 勅旨布告候事

布告案

明治十三年^四月第拾八號布告區町村會法左ノ通改正ス

區町村會法

第一條 區町村會ハ區町村費ヲ以テ支辨スヘキ事件及其經費ノ支
出徵收方法ヲ議定ス

第二條 區町村會ノ會期、議員^{選舉}ノ員數、任期、改選及其他ノ規則ハ府